敦賀発電所2号炉
調査会社から当社に提出された柱状図資料

令和2年5月13日

日本原子力発電株式会社

余白

目　次

No.	資料名	頁
1	委託報告書（平成19年） ボーリング柱状図	5
2	委託報告書（平成20年） ボーリング柱状図	105
3	委託報告書（平成25年） ボーリング柱状図	157
4	委託報告書（平成27年） ボーリング柱状図	173
5	委託報告書（平成30年） ボーリング柱状図	207
6	設置許可申請書案　ボーリング柱状図	313
7	審査資料案（第536回審査会合（平成29年12月22日）） ボーリング柱状図	405
8	審査資料案（第657回審査会合（平成30年11月30日）） ボーリング柱状図	525
9	審査資料案（第833回審査会合（令和2年2月7日）） ボーリング柱状図	787

余白

1. 委託報告書（平成19年） ボーリング柱状図

余白

ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNo.	

ボーリング名	No.2	調査位置						北　緯	
発注機関				調査期間				東　経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	＋ 127.40 m	角度	180° 上 90° 下0° 48°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 59.75°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機 / エンジン / ハンマー落下用具 / ポンプ
総掘削長	220.00 m								

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
10	124.26	4.70		花崗斑岩	灰黄 / にぶい黄	Eg	VIg	dg	ε		深度0.00～10.20m:花崗斑岩。径3～10mm程度の石英，長石，黒雲母斑晶を10～30%程度含み，石基は径0.5mm程度である。深度0.12～4.70m：マサ状強風化岩，原岩組織不明。	D'	[D]			12/14 5.70	228	140／ケーシング	ダブルコアチューブ／メタルビット	20.0				
	122.05	8.00		アプライト		Dg	IIIg	cg	δ	2	アプライト，上位との境界不明瞭。深度4.70～8.00m：強風化アプライト。節理に沿って植物根を挟む。					12/15 9.70	280				80	0.0	泥水10	10
	120.57	10.20		花崗斑岩	灰白 / にぶい黄褐	Eg / Dg / Eg	VIg	dg	ε		花崗斑岩，上位との境界不明瞭。深度8.00～10.20m：強風化花崗斑岩。節理に沿って酸化マンガンを挟む。					12/16 14.00	215			10.0				
	118.70	13.00		アプライト	灰白	Dg	IIg / IVg / Vg / IIIg / IVg	cg	δ		アプライト，上位との境界不明瞭。深度10.20～90.62m：アプライト。アプライト主体で，所々に花崗斑岩とペグマタイトを挟む。アプライトの石基は径0.1mm以下であり，径5mm程度の石英，長石及び黒雲母の斑晶が点在する(0.5%以下)。傾斜25～50度の不明瞭な流理が認められる。ペグマタイトは深度13.00～13.45m，15.21～15.35m及び87.68～87.90m間に分布する。径20～50mmの石英，カリ長石の巨晶からなり，アプライトとの境界は傾斜10～45度である。	CL'				12/18 16.50	125		ダブルコアチューブ／ダイヤビット	20.0	100	0.0	泥水5	5
	118.40	13.45			明褐灰											12/19 17.40	90							
	117.22	15.21		アプライト	にぶい黄 / 灰白	Cg	IIIg	bg	β	1		CM'					76		ダブルコアチューブ／メタルビット	10.0	80	0.0	泥水10	10
20	117.11	15.38			明褐灰	Dg / Eg / Dg	IVg / IIIg / IVg / IVg / VIg / IVg	cg / dg / cg	γ / δ / γ	2	アプライトは少量の石英の斑晶を含む。節理に沿って酸化マンガンを挟む。アプライトの傾斜は40～50度程度。	CL' / D' / CL'	[CL]			12/20 19.70	84	115／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	20.0	100	0.0	泥水5	5
					にぶい橙	Dg	IVg / IIIg / IVg	cg	γ							12/21 21.10	114							
						Eg	VIg	dg	δ	3 / 4 / 3	深度22.58～24.38m:変質帯。上盤6度，下盤55度。網目状，全体に粘土化する。深度23.47～23.49m：幅10～18mm，明褐色シルト及び礫状を呈する。	D'												
					橙 / 明褐灰 / 明黄褐 / 明褐灰	Dg	IIIg	cg	γ	2	深度24.38～24.46m：破砕帯(Hc)。上盤55度，下盤43度。幅65mm，砂質シルト状。	CL'				12/23 25.10	53							
					灰黄褐	Cg	IIg	bg	β	1	深度26.14～29.62m：節理少なく，柱状硬質のコア。節理に沿って褐色化が見られる。	CM'	[CM]											

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

原位置試験（孔内水平載荷）　室内試験

No.2(1/7)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
	108.23	28.65		アプライト	灰黄褐	Cg Bg Cg Bg Cg Bg Cg	IIg IIIg Ig IIIg IIg IIIg	bg	β	1	花崗斑岩，上位との境界漸移的。 深度28.65～30.30m：花崗斑岩。径3～5mm程度の長石，石英及び黒雲母の斑晶を3～5%程度含み，石基は径0.1mm以下である。	CM'						12/24 27.20	53						
30	107.13	30.30		花崗斑岩	灰黄	Dg	IVg	cg			深度29.89～30.00m：ドレライト。								71	115/ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット					
					灰黄褐	Cg		bg		2	花崗斑岩とアプライトの境界，漸移的。	CL'														
					にぶい黄橙	Dg Eg	VIg	cg		3	深度31.10～31.44m：変質帯。上盤3度，下盤2度。灰白色粘土を網目状に挟む。												0.0	泥水5	5
							IIIg	bg			深度31.44～36.21m：全体に風化するが褐色化弱く，割れ目に沿ってのみ黒褐色化する。							12/26 32.90							
					灰黄褐		IIg IIIg IIg	cg		2									72						
					にぶい黄橙		IIg IIIg IVg	bg										12/27 35.80							
					明黄褐	Cg	IIIg IVg IIIg IIg	cg		3	深度36.21～36.48m：変質帯。上盤22度，下盤77度。粘土化。 深度36.48～41.20m：全体に風化し，褐色化している。								70						
					にぶい黄橙		IIIg IIg	bg				CM'						1/10 38.60							
					明黄褐		Ig	cg																		
40					明赤灰		IIIg Ig			2																
					灰白	Dg	IIIg IVg IIg		γ		深度41.20～42.90m：灰白色を呈し，弱く変質を受けている。節理に沿って褐色化している。								109						
					明赤灰	Cg	IIIg IIg IVg IIIg IIg						[CM]													
					淡黄	Eg	VIg	dg		3	深度44.90～44.95m：破砕帯(Hc)。上盤32度，下盤40度。幅20～60mm，礫混じりシルト質砂状とシルト状の混在。 深度44.95～45.34m：破砕帯(Hb)。上盤40度。角礫状，暗褐色砂状を挟む。 深度45.34～45.75m：破砕帯(Hj)。下盤50度。節理密集部。 深度45.75～49.77m：風化を受け部分的に褐色化している。	D'		1/27 45.70													
					灰白		IIIg	bg										1/11 46.20							
					明赤灰																					
					にぶい黄橙	Cg	IIg			2		CM'							135						
						Dg	IIg IIIg	cg																		
50					明赤灰	Eg	VIg	dg		3	深度49.77～50.42m：変質帯。上盤46度，下盤33度。砂状，網目状にシルトを挟む。 深度49.81m：シーム。傾斜53度。幅1～5mm，暗褐色粘土状。 深度50.42～54.44m：風化を受け部分的に褐色化している。	D'																
						Eg	VIg	cg																		
						Cg	IIIg IIg IIIg IIg IIIg	bg		2		CM'														
					にぶい黄橙	Eg	VIg	dg	δ		深度54.44～55.56m：風化帯。上盤67度，下盤6度。砂状化している。	D'		1/15 54.80 55.20				1/12 55.40							
					明赤灰	Dg	IVg IIg	cg	γ			CL'														
						Eg	IVg	dg	δ		深度56.49～56.78m：風化を受けている。 深度56.78～60.49m：弱風化し，部分的に褐色帯びる。								60						
						Cg	Ig IIg IIIg Ig	bg	β	1		CM'						1/13 59.10							
60					灰白 明赤灰	Dg	IVg	cg			深度60.49～65.15m：やや変質をうけ，白色を帯び，軟質化している。								50						
					灰白 明赤灰		IIIg IIg		γ	2		CL'	[CL]					1/15 61.60							
					灰白	Eg	IVg			3	深度62.46～63.04m：変質帯。下盤30度。黄灰色砂状化。	D'							92						

コア採取率 ☆（%） 最大コア長 cm RQD [%]

No.2(2/7)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
70				アプライト	灰白	Dg	Ⅳg	cg	γ	2	深度64.65～65.15m：黒褐色顕著。 深度65.00～66.87m：風化を受け全体に褐色化している。	CL'	[CL]	1/29 67.40		1/16 68.50	92	76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	20.0	100	0.0	泥水5	0
					明赤灰	Cg	Ⅲg	bg																
					灰白	Dg	Ⅳg	cg																
							Ⅱg																	
							Ⅰg																	
					明褐灰		Ⅱg		β	1	深度67.60～68.08m：径0.3cm程度の斑晶を3～5%程度含む。	CM'	[CM]										
					灰白	Cg	Ⅰg	bg																
					明褐灰		Ⅱg				深度68.75～69.20m：斑晶が散在する。													
							Ⅲg																	
					灰白	Dg	Ⅳg	cg		2				2/23 70.80										
						Cg	Ⅲg																	
							Ⅳg																	
						Eg	Ⅵg				深度71.14～78.32m：やや変質うけ，軟質化している。			79.60										
					にぶい橙	Cg	Ⅲg																	
						Eg																		
						Dg	Ⅳg										104							
						Eg																		
					灰白		Ⅴg		γ	3	深度73.17～73.67m：変質帯。上盤86度，下盤54度。土砂状。 深度73.67m：シーム。傾斜54度。幅2～4mm，灰白・暗褐色粘土状。													
							Ⅳg																	
					明褐灰	Dg	Ⅲg					CL'	[CL]											
					にぶい橙		Ⅱg																	
							Ⅲg									1/17 75.80								
							Ⅳg				深度76.00～78.32m：割れ目多い。開口した割れ目にペントナイトが流入している。割れ目は黒褐色顕著。													
					灰白	Eg	Ⅵg																	
						Dg	Ⅳg																	
							Ⅲg																	
							Ⅳg				深度78.22～82.82m：わずかに褐色化した新鮮岩。節理に沿って黒褐色帯びる。													
80					にぶい橙		Ⅲg																	
							Ⅱg										112							
						Cg	Ⅲg																	
							Ⅰg																	
							Ⅱg					CM'												
							Ⅲg	cg	β		深度82.28～82.78m：変質受け溶脱する。 深度83.00～87.68m：全体に褐色化顕著，黒褐色の部分も見られる。			2/26 83.20										
							Ⅱg	bg								1/18 85.20								
					灰黄褐																			
							Ⅰg										75							
					灰白	Bg	Ⅱg					B'												
					にぶい黄橙																			
							Ⅰg									1/19 86.20								
					灰白																			
					灰黄褐	Cg	Ⅲg																	
							Ⅰg																	
68.73	87.68																							
68.58	87.90			ペグマタイト	灰白	Dg	Ⅳg	cg	γ		深度87.68～87.90m：ペグマタイト。径10mm程度の石英の巨晶が見られる。													
				アプライト			Ⅰg	bg																
					にぶい黄橙		Ⅲg										104							
							Ⅱg						[CM]											
							Ⅲg	cg																
90					黄褐		Ⅱg																	
						Cg	Ⅵg					CM'												
					にぶい黄橙		Ⅰg	bg	β		花崗斑岩，上位との境界は傾斜74度，部分的に同方向の節理に沿って変質受ける。 深度90.62～114.85m：花崗斑岩。 斑晶がやや細粒な花崗斑岩である。 径3～10mm程度の石英，長石及び黒雲母の斑晶を10～40%程度含み，石基は0.1～0.5mm程度である。石基の組織は均質である。 深度90.62～93.70mおよび深度98.00～100.70m間は斑晶が多い。 深度93.00～95.20m：やや変質が見られ，脱色している。													
							Ⅲg									1/20 91.60								
					黄褐		Ⅱg																	
						Dg	Ⅳg		γ								98							
					にぶい黄橙	Cg	Ⅲg																	
							Ⅳg																	
							Ⅲg																	
						Dg	Ⅳg					CL'												
							Ⅲg																	
					浅黄橙	Eg	Ⅵg			3	深度95.20～95.70m：変質帯。上盤28度，下盤30度。土砂状。 深度95.54m：シーム。傾斜39度。幅5mm，明褐色粘土状。	D'													
						Cg	Ⅳg	cg	β	2						1/22 96.00								
					黄褐		Ⅱg																	
							Ⅲg										58							
							Ⅱg					CM'												
					青灰		Ⅰg																	
					黄褐		Ⅱg																	
							Ⅲg																	

コア採取率 ☆（%）　最大コア長 ⊸ cm　RQD ┐［%］

（標準貫入試験）試験：（N値～深度 0 10 20 30 40 50）

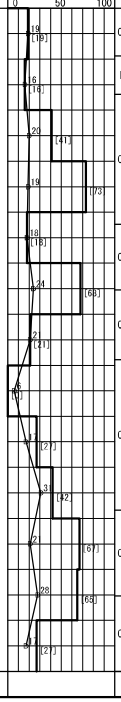
原位置試験（孔内水平載荷）　室内試験

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
100				花崗斑岩	浅黄橙	Cg	Ⅲg	cg	β	2	深度99.70～101.00m：全体に褐色化顕著。	CM'				1/23 99.80	58							
					黄褐		Ⅱg Ⅲg	bg																
					灰白		Ⅳg					CL'												
					にぶい黄橙	Dg Cg Dg	Ⅱg Ⅳg				深度101.82m：幅1～2mm，黄褐色固結シルト状。 深度102.00～112.00m：全体にわずかに褐色化している。高角度な節理が多く， 節理に沿って黒褐色化している。開口割れ目あり。						83							
							Ⅱg									1/24 105.60								
							Ⅲg Ⅰg Ⅲg Ⅰg Ⅳg				深度107.00～107.40m：やや斑晶が少ない。													
					明褐灰		Ⅱg					CM'												
110					にぶい黄橙	Cg	Ⅳg Ⅲg										135							
					灰白		Ⅱg				深度110.09～111.95m：全体に褐色化した柱状コア。節理に沿って砂～シルトを挟む。													
					にぶい黄橙		Ⅲg Ⅳg Ⅰg	bg																
					明褐灰		Ⅱg				深度113.00～114.48m：褐色化弱くなる。					1/25 113.70								
							Ⅲg Ⅳg Ⅲg	cg	1		アプライト，上位との境界漸移的。 深度114.85～136.85m:アプライト。 アプライト主体で，花崗斑岩を挟む。 アプライトの石基は径0.1mm以下であるが，一部径0.2mm程度で，組織は全体に不均質である。	CL'							ダブルコアチューブ／ダイヤビット	20.0	100	0.0	泥水 5	0
	50.55	114.85		アプライト	にぶい褐	Dg	Ⅳg Ⅰg	bg										76						
					にぶい黄橙	Cg	Ⅳg Ⅰg Ⅱg	cg bg				CM'	[CM]				109							
					灰白		Ⅳg	cg	γ	2	深度118.78～120.00m：全体に変質うけ，岩質が脆くなる。	CL'												
120					にぶい黄橙	Dg Cg	Ⅱg Ⅰg Ⅱg	bg cg	β		深度120.00～122.00m：全体に褐色化し，縞状をなす。	CM'				1/26 121.30								
						Bg Cg																		
	45.57	122.30		花崗斑岩	灰白	Bg	Ⅰg	bg	α	1	花崗斑岩，上位との境界漸移的。 深度122.30～123.70m：花崗斑岩。 径3～5mmの石英，長石及び径0.5～2mmの黒雲母の斑晶を10～40%程度含み，石基は径0.1～0.2mm程度。 深度118.20m付近には，幅4cm傾斜約40度の緻密なアプライト脈を挟む。 アプライト，上位との境界漸移的。	B'												
	44.63	123.70			にぶい黄橙		Ⅲg Ⅱg	cg bg	β								69							
				アプライト	明黄褐	Cg	Ⅳg	cg	γ	2	深度125.00～125.47m：全体に変質をうけ，岩質が脆くなる。 深度125.47～128.29m：わずかに褐色化した柱状コア。	CM'				1/27 125.20								
					灰白		Ⅲg	bg	β	1														
					にぶい黄橙		Ⅱg																	
					灰白	Bg						CH'												
					明黄褐		Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅲg Ⅱg	cg			深度128.29～129.35m：全体に褐色化している。節理に沿って黒褐色を呈し，褐色シルトを挟む。						100							
					にぶい黄橙		Ⅲg Ⅳg	bg																
130					灰白	Cg	Ⅱg Ⅳg Ⅲg	cg			深度131.45～131.90m：斑晶散在。	CM'				1/29 131.20								
					褐灰		Ⅳg Ⅱg Ⅱg Ⅰg Ⅳg	bg cg		2	深度134.30～134.50m：斑晶散在。 深度134.77～135.30m：節理多く，角礫状。節理に沿って砂～シルトを挟む。	CL'					90							

コア採取率 ☆（%） 最大コア長 cm RQD [%]

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
				アプライト	灰黄褐	Cg	Ⅳg, Ⅱg, Ⅲg, Ⅰg, Ⅱg	cg, bg, cg, bg	β	2	花崗斑岩，上位との境界傾斜20度。 深度136.55～141.70m：花崗斑岩。 径3～15mmの石英，長石の斑晶を主体に少量の黒雲母を含む。斑晶の混入量は20～40%程度，石基は径0.2～0.5mm程度である。
	36.03	136.55		花崗斑岩							
140					灰白						
	32.58	141.70		アプライト	にぶい黄橙		Ⅲg, Ⅱg, Ⅲg, Ⅱg, Ⅲg, Ⅱg, Ⅲg, Ⅰg, Ⅲg	cg, bg			アプライト，上位との境界漸移的。 深度141.70～169.30m:アプライト。 アプライト主体で，所々に厚さ0.6～1.3m程度の花崗斑岩を挟む。 アプライトの石基は径0.1～0.5mmであり，組織は全体に不均質である。斑晶は少ない。下位との境界付近は黒雲母が多い。 深度141.88～144.00m：高角度な節理が多くなる。
	31.73	142.97		花崗斑岩							
	31.07	143.97		アプライト							
	30.66	144.57		花崗斑岩							
	29.82	145.83		アプライト	灰白		Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg, Ⅲg, Ⅳg	cg			
	28.82	147.32		アプライト	にぶい黄橙	Cg, Eg, Dg, Dg	Ⅳg, Ⅵg, Ⅵg, Ⅳg	cg	γ	2, 3, 2, 3	深度146.29～146.32m：破砕帯(Hc)。 上盤31度，下盤62度。幅20～30mm，橙色シルト混じり粗粒砂状。 深度146.32～146.45m：変質帯。上盤62度，下盤45度。砂状～礫状。 深度146.45m：シーム。傾斜45度。幅2mm，褐色シルト状。 深度147.04～147.06m：破砕帯(Hc)。 上盤23度，下盤34度。幅23mm，明灰色シルト質砂状。 深度147.06～147.20m：変質帯。上盤34度。砂状～砂質シルト状。
	28.44	147.90		花崗斑岩							
150						Eg, Eg, Dg	Ⅵg, Ⅵg, Ⅳg	dg, cg		4, 3, 2	深度147.25m：シーム。傾斜25度，幅2～4mm，灰白色礫混じりシルト状。 深度147.25～147.58m：変質帯。上盤25度，下盤38度。灰白色網目状。
					明褐灰	Dg, Eg, Eg	Ⅳg, Ⅵg, Ⅵg	dg, cg, dg		4, 3, 4	深度149.71～149.84m：破砕帯(Hc)。 上盤45度，下盤54度。幅80mm，灰白色・褐色粘土状。正断層的構造有り。条線方向70度右。
					灰白						
	25.48	152.32		アプライト	明褐灰	Dg, Cg	Ⅴg, Ⅲg	cg, bg	β	2	深度149.84～150.34m：変質帯。上盤54度，下盤41度。節理密集部，砂状化。 深度150.59～150.80m：変質帯。上盤69度，下盤43度。礫混じり砂質シルト状。 深度151.03m傾斜18度。幅0.02cm，暗褐色砂質シルト状。軟質。正断層的センスのずれあり。 深度151.31～151.50m：変質帯。明褐～明黄灰色シルト状。
	25.02	153.00		花崗斑岩							
	24.52	153.75		アプライト							
	23.82	154.80		花崗斑岩							
160					にぶい黄橙	Dg, Cg, Dg, Cg, Cg, Cg, Cg, Cg, Dg, Cg, Cg, Cg, Cg, C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
180				花崗斑岩	褐灰	Cg	Ⅰg	bg	α	2	深度169.59～170.18m：節理多く、岩片～短柱状コア主体。変質により溶脱。							2/9 172.80	87	76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	20.0	100	0.0	泥水 10	0
					にぶい黄橙		Ⅱg		β		深度170.18～174.47m：全体に変質を受けているが、節理少なく柱状～長柱状コア主体。		CM'													
					褐灰		Ⅲg		α																	
							Ⅱg																			
					にぶい橙		Ⅲg	cg	β		深度174.74m：シーム。傾斜35度。幅5mm，礫～シルト状。		CL'					2/10 176.90	95							
							Ⅳg				深度175.96m：シーム。傾斜15度。幅3～5mm，明褐灰色砂質シルト状。		CM'													
							Ⅱg				深度177.49～178.40m：節理多く、短柱状コア主体。		CL'					2/12 180.40	78							
							Ⅳg						CM'													
							Ⅲg				深度180.38～181.80m：全体に変質を受け、溶脱している。							2/13 183.20	99							
					橙		Ⅰg				深度181.21～181.25m：幅2～7mm，明緑色シルト状。		CL'													
					明褐灰		Ⅲg				深度183.61m：シーム。傾斜42度。幅2～4mm，砂混じり黒褐色シルト状。白色筋状の構造有り。正断層的センス。		CM'					2/14 189.40	103							
							Ⅳg																			
					灰白		Ⅰg		α		深度185.61～185.64m：幅12～24mm，砂・礫状部。 深度186.53～186.54m：破砕帯(Hc)。上盤46度，下盤48度。幅7～13mm，明褐灰色礫混じりシルト状。正断層的センス。軟質。 深度186.54～186.58m：破砕帯(Hb)。上盤48度，下盤47度。幅26～40mm，明橙色シルト混じり砂・礫状。		CL' [CM] CH'					2/15 193.40	89							
					にぶい黄橙		Ⅲg				深度189.00～191.10m：高角度な節理が連続する。		CM'					2/16 197.40	83							
190					明褐灰		Ⅳg		β		深度191.10～191.14m：破砕帯(Hb)。上盤46度，下盤54度。幅25～30mm，にぶい橙色シルト混じり礫状。 深度190.93～191.80m,192.93～193.40m,193.80～194.22m:溶脱し岩片は粗しょう。		CL'					2/19 201.50	88							
							Ⅲg	bg																		
							Ⅱg																			
							Ⅲg																			
							Ⅳg	cg																		
							Ⅲg																			
							Ⅳg																			
							Ⅱg																			
							Ⅲg																			
							Ⅱg				深度194.61m：柱～長柱状コア主体。															
					褐灰		Ⅰg		α									2/20 206.50	115							
							Ⅲg	bg																		
					にぶい黄橙	Bg	Ⅱg						CM'													
							Ⅲg																			
					明褐灰		Ⅰg	cg	β		深度198.50～199.70m：高角度な節理発達する。															
							Ⅳg																			
							Ⅲg																			
							Ⅳg																			
200							Ⅲg	bg																		
							Ⅳg																			
							Ⅲg

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（標準貫入試験）試験 （N）値	（N値～深度 0 10 20 30 40 50	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
210	-11.49 -17.60 -19.81	207.57 216.70 220.00		アプライト 花崗斑岩 アプライト	明褐灰 にぶい橙 にぶい褐 明褐灰 にぶい黄橙 明褐灰	Dg Cg Eg Cg Dg Cg Cg Dg Cg Cg Dg Cg Cg Dg Cg Cg Dg Cg Cg Dg Cg Cg Dg Cg Cg	Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅱg Ⅲg Ⅳg Ⅴg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg	cg dg cg bg cg bg cg bg cg	γ β	2 3 2	花崗斑岩，上位との境界は傾斜52～62度の破砕帯 深度207.57～216.70m：花崗斑岩。 径5～10mmの石英，長石，一部径2～3mmの黒雲母の斑晶を3～25%程度含み，石基は径0.1～0.2mm程度で組織は不均質である。斑晶の多い部分と少ない部分とが20～30cm程度の互層をなす。 深度207.94～208.06m：破砕帯(Hc)。 上盤52度，下盤62度。幅70mm，灰白色礫混じりシルト状。 深度208.06～208.66m：破砕帯(Hj)。 上盤62度，下盤52度。砂状～シルト質砂状。 深度208.33m：傾斜72～82度。幅1.5mm，褐色シルト状。 深度208.66～208.69m：破砕帯(Hc)。 上盤52度，下盤59度。幅20mm，灰白色砂質シルト状。 深度212.00～212.07m：破砕帯(Hc)。 上盤55度，下盤41度。幅35～40mm，礫混じり黒色シルト質砂状。 深度215.42～215.46m：破砕帯(Hc)。 下盤55度。幅35mm，灰白色礫混じりシルト状。逆断層的構造有り。条線方向30度右。 深度215.98m：シーム。傾斜37度，幅5～7mm，灰白色砂質シルト状。 深度216.15～216.24m：破砕帯(Hb)。 上盤53度，下盤63度。幅35～60mm，褐色シルト混じり砂・礫状。下盤条線方向50度右。 深度216.70～220.00m：アプライト。 上位の花崗斑岩との境界は不明瞭。 石基は径0.1～0.2mm程度で，径5～10mm程度の石英主体の斑晶が点在する（0.5%以下）。		CL' [CL] D' CM' [CM] CL' CM' CL' [CL] CM' CL'																			

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNo.

ボーリング名	No.3	調査位置						北緯	
発注機関				調査期間				東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	+ 37.31 m	角度	180° 上 90° 下0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機 / ハンマー落下用具
総掘削長	200.00 m								エンジン / ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
	37.19	0.12	黄土		にぶい黄褐						径10～30mmの亜角～亜円の花崗岩礫混入。基質はシルト質細～中砂。			9/16 1.00			120		貫入式サンプラー					
	36.11	1.20	現泥リシルト質砂													9/13 1.20								
	35.83	1.48	礫		明褐									10/22 2.30			40							
	35.49	1.82	現泥リシルト質砂		にぶい黄褐											9/14 2.40								
				アプライト	黄褐	Dg	Ⅳg				深度1.82～5.90m：アプライト。石基は径0.1mm以下であり，部分的に黒雲母が多い。流理は不明瞭である。深度2.78～2.79m：灰白～黄褐色流入粘土～砂。深度3.08～4.26m：風化強く，節理多い。節理に沿って褐～灰白色流入粘土を挟む。深度4.74～4.76m：幅15～17mmの流入粘土，砂を挟む。			9/25 4.80			60	115／ケーシング						
					褐灰	Cg	Ⅱg							10/5 5.80		9/15 4.50								
					黄褐	Dg	Ⅲg	cg	γ			CL'												
					明黄褐	Cg	Ⅱg																	
					褐灰		Ⅲg																	
	31.41	5.90			黄褐		Ⅱg				花崗斑岩，上位との境界傾斜20～40度。深度5.90～22.70m：花崗斑岩，一部アプライト。花崗斑岩主体で，厚さ1.0～2.3m程度のアプライトを挟む。花崗斑岩は径3mm程度の石英，長石，一部黒雲母の斑晶を3～30%程度含み，石基は径0.2～0.5mm程度である。花崗斑岩に挟在するアプライトの境界は漸移的～不明瞭，流理は不明瞭。深度6.20～6.40m：幅8～12mmの白色～褐色粘土を挟む。深度7.50～10.0m：節理に酸化マンガンを挟む。深度9.60～10.97m：節理多く，節理に沿って変質顕著。深度10.00m：シーム。傾斜75度，幅0.5mm，粘土状。深度10.00～10.08m：幅30mmの黄・黒色粘土～砂状を呈し，軟質。深度10.08m：シーム。傾斜75度，幅0.5mm，暗褐色粘土状。節理多く，節理に沿って黒褐色シルト～砂を挟む。													
				花崗斑岩	灰黄褐	Dg	Ⅳg									9/16 8.10								
					明黄褐	Dg	Ⅱg																	
					灰黄	Cg	Ⅲg																	
					明黄褐	Dg	Ⅱg	bg				CM'												
					灰黄	Cg	Ⅲg																	
					明黄褐	Dg	Ⅳg									9/19 9.50	93							
					橙		Ⅳg																	
10					黄褐	Dg	Ⅴg	cg				CL'												
							Ⅵg																	
						Dg	Ⅳg																	
							Ⅲg																	
						Cg	Ⅳg																	
					黄灰	Bg	Ⅱg	bg				[CL]					60							
					黄褐	Cg	Ⅳg	cg				CH'												
						Dg																		
	24.51	12.80					Ⅱg		γ			CL'		10/6 13.30		9/20 12.70								
				アプライト	黄褐																			
					灰白	Bg	Ⅲg		β			CM'												
							Ⅱg																	
					褐灰		Ⅲg																	
	22.21	15.10					Ⅱg										71							
				花崗斑岩	にぶい橙	Cg	Ⅳg	cg			深度15.54～15.85m：角礫～土砂状，石英の巨晶が多い。	CL'												
						Eg	Ⅲg	dg																
						Cg	Ⅳg	cg	δ															
	20.74	16.57		アプライト	にぶい黄橙	Cg	Ⅳg																	
						Bg	Ⅱg	bg								9/21 17.20								
	19.77	17.54		花崗斑岩	にぶい黄	Cg	Ⅳg		γ		深度18.33～20.20m：変質帯。上盤4度，下盤48度。黄灰色土砂状。	CM'												
							Ⅱg																	
					明黄褐	Eg	Ⅳg	cg																
					灰黄	Eg	Ⅵg	dg	δ			D'					66							
					にぶい橙	Bg	Ⅴg	cg																
					にぶい黄橙	Cg	Ⅲg					CL'												
					灰白				γ															
					灰黄褐	Bg	Ⅱg					CH'				9/22 21.90								
					褐灰				β															
	14.61	22.70			灰黄褐	Cg		bg			アプライト，上位との境界傾斜50～60度。深度22.70～31.40m：アプライト。石基は径0.1mm以下であり，部分的に黒雲母が多い。流理は不明瞭である。深度23.00～24.19m：やや節理多く，節理に細粒物質を挟む。節理は高角度（60～80度）と低角度（30～50度）が卓越する。深度24.19～25.00m：節理少なく柱状コア。節理に沿って赤褐色化が見られる。深度25.32～27.24m：節理に沿って褐色化顕著。節理不規則。													
					明黄褐	Dg																		
				アプライト	にぶい橙	Cg	Ⅳg			2			[CM]	10/5 25.00			65							
					明褐灰		Ⅱg		γ			CM'												
							Ⅲg																	
							Ⅱg																	
					明黄褐	Cg	Ⅳg	cg																
					明褐灰		Ⅱg																	
					明黄褐	Dg	Ⅲg									9/23 26.10								
					灰白	Cg		bg									64							
						Bg	Ⅳg					CH'												

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

No.3(1/6)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
30				アプライト	灰	Bg	Ⅲg Ⅱg	bg	α	2 1	深度27.24～28.06m：新鮮なアプライト。	CH' [CM]		10/10 28.10		64					0.0	泥水5	5
					にぶい黄橙	Cg	Ⅲg				深度28.06～28.82m：全体に褐色化顕著。	CM'											
					黄褐	Dg	Ⅱg Vg		γ	2	深度29.35～30.38m：変質帯。灰白色帯び原岩組織不明。網目状に白色シルトを挟む。				9/25 29.00								
						Cg	Ⅳg			3	深度30.38～30.48m：破砕帯（Hc）。上盤50度，下盤63度，幅40～50mm。桃色粘土状。	CL'								0.0	泥水5	3
					にぶい黄橙	Dg	Ⅱg			4 3	深度30.48～31.25m：変質帯。上盤63度，下盤26度。全体に灰白色帯びる。網目状に灰白色シルトを挟む。					63							
	5.91	31.40			灰褐		Ⅳg	cg			花崗斑岩，上位の境界は変質帯で不明瞭。												
				花崗斑岩	明褐灰		Vg	bg	δ	2			[CL]										
					灰黄	Eg	Ⅵg	cg		3	深度31.40～54.60m：花崗斑岩，一部アプライト。	D'								0.0	泥水5	4
					にぶい橙	Dg Eg Dg	Ⅳg Ⅵg Ⅲg Vg	dg			花崗斑岩主体で，厚さ1.3m程度のアプライトを挟む。				9/26 33.00					0.0	泥水5	3
					明黄褐	Cg	Ⅳg Ⅱg	bg	γ		花崗斑岩は，径5mm程度の石英，長石の斑晶を主体とし，少量の黒雲母の斑晶を含む。斑晶の割合は3～5%程度である。石基は径0.1～0.5mmで組織は全体に不均質である。斑晶の混入は少ないが，部分的に多くなる。	CL'										
					にぶい橙		Ⅰg				深度32.00～33.00m：変質帯。砂～細礫状，一部砂混じりシルトを挟む。32.14m，32.30m，幅10～20mm灰白色シルト状。					64						
					にぶい黄橙						深度33.60～34.23m：砂～角礫状を呈する。岩片は硬い。	CM'	[CM]		9/27 36.50								
					灰黄褐		Ⅱg				深度34.23～38.47m：節理少ない柱状コア。硬さは中硬質で，コア表面はややざらつく。												
					明黄褐						岩芯まで風化し，節理に沿って褐色化顕著。やや高角度な節理が多い。												
					灰黄	Dg Eg	Ⅳg Vg	cg			深度38.47～39.00m：角礫状を呈し，全体に脆い。					57							
40					明黄褐	Cg	Ⅳg		δ		深度39.40～40.63m：全体に強風化岩で，岩質脆い。高角度の密着した節理多い。	CL'	[CL]		9/28 40.60								
					灰黄	Eg Dg	Vg				深度40.63～42.75m：角礫～土砂状を呈する。												
					明黄褐	Cg	Ⅳg Vg																
					黄褐	Cg	Ⅳg Vg	bg			深度42.81m：シーム。傾斜20度，幅7mm，黒褐、褐灰色主体、一部黄灰色粘土状。傾斜52度の変質部と交差する。	CM'				68				0.0	泥水5	5
					浅黄	Dg Eg	Ⅲg Ⅵg	cg															
					にぶい橙	Cg	Ⅳg Ⅲg					CL'			9/29 45.00		76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	30.0	100			
						Dg	Ⅳg																
	-8.24	45.55		アプライト	明褐灰		Ⅱg	bg		2	アプライト，上位との境界傾斜20～30度。												
					にぶい黄褐						深度45.90～48.78m：比較的新鮮，節理からの風化が進行し，節理面は黒褐色化している。												
	-9.59	46.90									花崗斑岩，上位との境界不明瞭。												
				花崗斑岩	にぶい褐		Ⅳg	cg			深度46.90～54.60m：花崗斑岩。径5～10mmの石英、長石の斑晶を主体とし，一部黒雲母の斑晶を多く含む。石基は径0.1～0.2mmで黒雲母を散在する。	CM'				78							
								bg															
					灰白																		
					にぶい橙		Vg Ⅳg	cg	γ		深度48.92～50.48m：やや風化著しく，角礫～細礫状をなす。	CL'			9/30 49.40								
					浅黄	Dg	Vg																
					明黄褐			bg			深度50.48～52.00m：節理の少ない柱状コア。節理に沿って褐色を帯びる。												
					褐灰		Ⅱg																
					にぶい黄褐								[CM]			85							
						Dg	Ⅳg	cg			深度52.00～54.20m：全体的に風化を受けているが，岩片は硬い。高角度な節理発達。	CM'											
					褐灰		Ⅲg Ⅱg	bg															
					にぶい黄褐	Cg	Ⅳg								10/2 53.80								
						Dg	Ⅵg	cg			アプライト，上位との境界不明瞭。									0.0	泥水7	7
	-17.29	54.60		アプライト	灰黄褐	Bg	Ⅱg	bg			深度54.60～57.80m：アプライト。石基は径0.1mm以下である。	CH'								0.0	泥水10	10
							Ⅳg				深度54.60m：シーム。傾斜70度，幅5mm，暗褐色粘土状。上盤に幅0.7cmの灰白色砂状変質部を伴う。												
						Hc Cg	Vg Ⅳg	cg			深度55.95～56.60m：砂～角礫状をなす。高角度な節理に沿って砂を挟む。	CL'				85							
						Dg	Vg																
						Cg	Ⅳg	bg															
					褐灰	Dg	Vg	cg	δ		深度57.10～57.60m：高角度な節理に沿って，砂～シルトを挟む。									0.0	泥水5	5
	-20.49	57.80				Cg	Ⅳg				深度57.60～60.00m：新鮮岩。やや節理が多く，一部角礫状。節理に沿って表面のみ弱く酸化する。	CM'											
				花崗斑岩	にぶい黄橙		Ⅱg Ⅳg	bg			花崗斑岩，上位との境界不明瞭。												
60							Ⅱg				深度57.80～65.95m：花崗斑岩。斑晶がやや組粒な花崗斑岩である。				10/3 58.50								
							Ⅳg Ⅱg				径3～10mmの石英，長石の斑晶を主体とし，一部に黒雲母の斑晶を1～40%程度含み，石基は径0.1mmで一部径0.5mm程度をなす。斑晶の多い部分と少ない部分が50～100cmの互層を呈する。												
						Bg	Ⅱg	bg				CH'								0.0	泥水5	5
							Ⅳg Ⅱg																
					褐灰		Ⅰg			1	深度60.00～63.50m：節理少なく柱状コアをなす。	B'	[CH]			83				0.0	泥水10	10

コア採取率 ☆（%） 最大コア長 ⊖ cm RQD ⊓［%］

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
				花崗斑岩	黄褐	Bg	Ⅰg				深度63.50～63.60m：節理に沿って細礫状。幅7mmの灰黄～灰赤色シルトを挟む。	B'										0.0	泥水10	10
					明黄褐	Cg	Ⅱg					CM'												
					にぶい橙	Bg					深度64.15～65.18m：柱状コアをなすが，節理に沿って褐色化している。						83					0.0	泥水10	0
					明褐	Cg	Ⅲg					CH'												
					にぶい黄褐		Ⅳg																	
					黄褐	Bg	Ⅱg									10/4 65.60								
	-28.64	65.95		アプライト	にぶい橙	Cg	Ⅳg				アプライト，上位との境界不明瞭。深度65.95～70.17m:アプライト。石基は径0.1mm程度であり，径3mm程度の石英，長石の斑晶及び径1mm程度の黒雲母の斑晶が点在する（0.5%以下）。	CM'										0.0	泥水10	5
					にぶい橙	Bg	Ⅱg					CH'										0.0	泥水10	0
					にぶい橙	Cg	Ⅳg				深度66.00～69.04m：やや節理多く，節理に沿って褐色化する。深度68.10m：幅5～10mmの灰白色シルトを挟む。	CM'					60							
							Ⅲg																	
					明褐		Ⅳg																	
							Ⅱg																	
					にぶい橙		Ⅳg				深度69.04～69.49m：やや節理多く，短柱状コアをなす。					10/5 69.50								
					褐灰		Ⅱg																	
					明褐		Ⅲg																	
70	-32.86	70.17		花崗斑岩	にぶい橙	Bg	Ⅰg	bg	1		花崗斑岩，上位との境界傾斜15～20度。深度70.17～81.50m：花崗斑岩。径3～15mmの石英，長石，黒雲母の斑晶を50%程度含み，石基は上部が径0.1mm程度，下部が径0.5mm程度である。	B'	[CH]				82					0.0	泥水10	5
					橙		Ⅱg				深度72.40～73.30m：節理に沿って褐色化が見られる。	CH'												
					明褐灰	Cg	Ⅲg				深度73.30～75.00m：やや節理多くなり，節理に沿って褐色化している。	CM'				10/6 74.00								
					にぶい橙	Bg	Ⅱg				深度75.00～82.00m：節理少なく柱状コアをなす。	CH'												
							Ⅰg																	
					橙		Ⅱg																	
					にぶい橙		Ⅰg		α			B'					101							
							Ⅱg				深度78.40m：幅10～20mmの砂を挟む。					10/7 79.20								
80																		76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	30.0	100	0.0	泥水10	0
					褐灰	Cg	Ⅳg				深度81.50～94.40m：花崗斑岩。径3～5mmの石英，長石，黒雲母斑晶を1～5%程度含み，石基は径0.1～0.2mm程度である。斑晶の多い部分と少ない部分が50～130cm程度で互層を呈する。深度81.80～81.90m：固結し密着した節理が多く，柱状コアをなす。深度82.00～83.71m：節理多く，短柱状コアをなす。深度82.80m以深，節理に沿って褐色化著しい。深度84.45～86.50m：節理多く，褐色化著しい。	CM'					120							
						Bg	Ⅱg					CH'												
					橙		Ⅳg	cg				CL'				10/10 85.60								
							Ⅴg																	
					にぶい橙	Cg	Ⅳg					CM'												
								bg																
							Ⅱg																	
							Ⅳg	cg																
						Bg	Ⅱg	bg	β	2		CH'	[CM]											
					橙	Cg	Ⅳg	cg			深度87.75～88.14m：節理多く，一部角礫状，節理に沿って褐色化著しい。													
					にぶい橙	Bg	Ⅱg	bg									89							
							Ⅳg				深度89.00～90.00m：節理多く，高角度な節理あり。節理に沿って砂，シルトを挟む。													
90						Cg	Ⅲg				深度90.00～92.25m：やや節理多く，節理に沿って褐色化。砂～シルトを挟む。	CM'										0.0	泥水10	3
							Ⅳg																	
							Ⅲg																	
							Ⅳg									10/11 91.80								
					にぶい黄褐	Dg	Ⅴg	cg			深度92.25～93.18m：高角度な砂～細礫状破砕部あり。	CL'												
						Dg																		
					にぶい橙	Cg	Ⅳg	bg			深度93.18～94.12m：やや節理多く，高角度な節理あり。	CM'												
							Ⅱg																	
					灰		Ⅰg			1	深度94.12～96.70m：新鮮柱状コア，黒雲母を多く含む花崗斑岩。深度94.40～113.00m：花崗斑岩。径3mm程度の石英，長石，黒雲母の斑晶を3～15%程度含み，石基は径0.1～0.5mm程度。黒雲母を含み全体に組織は均質である。						87					0.0	泥水10	4
							Ⅱg		α															
						Bg	Ⅲg				深度96.70～98.85m：全体に褐色化著しい。硬質で節理少ない柱状コア。	CH'	[CH]											
					にぶい黄橙		Ⅱg		β	2						10/12 97.60								
					灰褐	Bg	Ⅳg	cg				CL'					101					0.0	泥水10	3

コア採取率 ―△―（%）　最大コア長 ―○― cm　RQD ┐[%]

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
100				花崗斑岩	灰褐	Cg	Ⅳg	cg		2	深度98.85～99.60m：高角度な節理発達。節理に沿って砂を挟む。	CL'							ダブルコアチューブ／ダイヤビット	30.0	100			
					にぶい黄橙	Bg	Ⅰg Ⅱg	bg	β	1	深度100.00～102.70m：硬質，柱状コアであるが，全体に褐色化している。	B' CH'	[CH]			10/13 04.70	101	76			0.0	泥水10	3
					にぶい橙	Cg Bg	Ⅲg Ⅱg Ⅱg			2	深度102.70～105.00m：高角度な節理あり，やや節理多くなる。上位に比べやや変質・風化進む。	CM'	[CM]										
						Cg Bg	Ⅳg Ⅱg				深度105.00～105.40m：高角度な節理発達，節理に沿って細礫を挟む。 深度105.40～106.66m：節理に沿って褐色化，低角度な節理が多くなり，節理は密着し，柱状コアをなす。													
					にぶい橙		Ⅲg																	
					灰	Bg	Ⅱg		α		深度106.66～112.00m：灰色花崗斑岩。褐色化弱く比較的新鮮。低角度の節理多く発達。	CH'					100							
110										1	深度109.30～110.00m：高角度な節理あり。 深度110.60m以深，節理に沿う褐色化顕著。					10/14 110.80							
							Ⅰg																	
					明褐	Cg	Ⅳg Ⅲg	cg	β		深度112.00～113.00m：全体に褐色化顕著。高角度な節理多く，一部角礫状をなす。													
					灰	Bg Cg	Ⅳg Ⅲg		α		深度113.00～162.89m:花崗斑岩。 斑晶は粗粒，上位の細粒な花崗斑岩との境界は明瞭であり傾斜は10～20度である。 径5～20mmの石英，長石，黒雲母を10～50%程度含み，石基は0.1～0.5mm程度である。一般に斑晶は多いが，厚さ1～2m程度の斑晶の少ない部分を挟む。一般に流理は傾斜20度程度を示す。組織は均質であるが，漸移的に変化する。157.00m以深カリ長石を多く含む。	CM'	[CH]				144							
					にぶい黄橙	Bg	Ⅱg	bg	β	2		CH'												
					灰		Ⅰg				深度114.80～117.50m：全体的に褐色化している。硬質柱状コアで，高角度な節理あり。					10/16 116.80							
					にぶい黄橙		Ⅱg				深度117.97～119.15m：高角度な節理に沿って，赤褐色・黒褐色の固結シルトを挟む。	B'												
							Ⅳg	cg				CH'												
120					灰		Ⅱg Ⅰg Ⅱg	bg	α	1	深度119.15～121.07m：変質を受けていない新鮮花崗斑岩。節理に沿ってわずかに褐色化する。	B' CH'					146				0.0	泥水10	5
					にぶい黄橙	Cg	Ⅲg Ⅳg	cg			深度121.07～122.54m：高角度な節理が発達し，全体に褐色を帯びる。節理に沿って砂を挟む。	CM' CL'												
							Ⅲg Ⅳg	bg	γ		深度122.54～125.25m：全体に褐色化し，やや節理多い。	CM'				10/17 123.60								
						Bg	Ⅱg					CH'												
							Ⅲg	cg			深度125.25～126.67m：全体に褐色化し，岩質やや脆い。幅10～20mmの砂～シルトを挟む。高角度な節理が卓越。						107							
						Cg	Ⅳg Ⅲg	bg		2	深度126.67～129.17m：全体に褐色化する。高角度な節理あり。所々節理が密集する。	CM'	[CM]											
					明褐		Ⅱg									10/18 128.40								
							Ⅳg				深度129.17～130.60m：わずかに褐色を帯びた新鮮岩。						69							
130						Bg	Ⅲg																	
						Cg	Ⅳg		β							10/20 130.60								
					にぶい褐	Bg	Ⅱg				深度130.60～132.74m：新鮮な柱状コア。節理少ない。 深度131.74m以深は，全体にわずかに褐色を帯びる。	CH'												
							Ⅰg					B'												
						Cg	Ⅱg										83							
						Bg					深度132.74～136.63m：高角度な節理発達し，節理に沿って細礫状をなす。全体に褐色化顕著。	CM'												
							Ⅲg									10/21 133.50								
							Ⅱg	cg																
					にぶい橙	Cg	Ⅳg		γ			CL'					103							

コア採取率 ☆（%） 最大コア長 cm RQD [%]

原位置試験（孔内水平載荷）　室内試験

No.3(4/6)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験)試験 (N値)	(N値～深度)	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
140				花崗斑岩	にぶい橙	Cg	Ⅳg	cg	γ	2	深度135.15～136.07m：節理多く，角礫状をなす。	CL'															
					にぶい褐		Ⅲg	bg			深度136.63～139.47m：高角度な節理発達。全体に角礫～細礫を呈する。節理に沿って褐色化顕著，砂を挟む。	CM'						10/23 [37.10]	103							
							Ⅳg	cg				CL'	[CM]														
							Ⅲg	cg			深度138.45～138.80m：節理密着し，柱状コアをなす。																
					にぶい橙		Ⅳg				深度139.47～141.31m：全体に褐色を帯びる。節理はやや少ない。	CM'							97							
							Ⅱg																				
					橙		Ⅲg																				
							Ⅱg																				
						Bg	Ⅱg	bg																			
						Cg	Ⅳg				深度141.31～143.17m：柱状コアをなす新鮮花崗斑岩。節理に沿って弱く褐色を帯びる。							10/24 [141.30]								
					褐灰	Bg	Ⅱg	bg	α	1		CH'															
							Ⅰg													74							
					にぶい黄橙	Cg	Ⅱg	cg	β	2	深度143.17～145.14m：全体に褐色化した花崗斑岩。柱状コアをなし節理少ない。節理に沿って黒褐色砂を挟む。	CM'	[CH]														
																			10/25 [145.00]								
					褐灰	Bg	Ⅰg		α	1	深度145.14～146.91m：新鮮な柱状コア，節理少ない。節理に沿って一部褐色化。	B'															
								bg			深度146.91～148.31m：全体に褐色化著しく，節理多い。高角度な節理を主として，一部に角礫状部を挟む。								78							
					にぶい黄橙	Cg	Ⅳg																				
							Ⅲg																				
					褐灰		Ⅰg				深度148.31～149.00m：節理に沿って褐色化著しい。	CM'															
					にぶい黄橙		Ⅲg	cg			深度149.00～149.66m：全体に褐色化著しい。節理に沿って砂～シルトを挟む。																
							Ⅳg																				
150					褐灰		Ⅲg											10/26 [150.10]									
					灰白	Bg	Ⅱg				深度150.00～151.62m：柱状コアを呈する。節理に沿って褐色を帯びるが，一部に新鮮岩を残す。	CH'															
							Ⅲg																				
							Ⅳg				深度151.62～152.10m：細礫～角礫状を呈する節理密集部。																
						Cg	Ⅲg				深度152.10～153.00m：節理に沿って褐色化著しい。	CM'	[CM]						80							
							Ⅳg				深度153.00～153.70m：不規則に節が理発達し，角礫状コアをなす。																
					明褐灰		Ⅱg				深度153.70～154.90m：全体に褐色化著しい。							10/27 [154.10]									
							Ⅲg																				
											深度154.90～155.45m：新鮮岩を残すが，節理に沿って褐色化している。	CM'															
					赤灰		Ⅱg				深度155.45～157.13m：全体に褐色化著しく，高角度な節理多い。								105							
							Ⅳg																				
							Ⅲg																				
							Ⅳg					CM'															
							Ⅳg																				
					灰赤	Eg	Ⅵg				深度157.13～157.54m：砂～細礫状をなす。一部粘土を挟む。																
						Cg	Ⅳg				深度157.54～161.17m：比較的節理の少ない柱状コア。節理に沿って褐色を帯びる。							10/28 [158.30]								
						Bg	Ⅱg		β	2																	
							Ⅲg					CH'	[CH]						78								
							Ⅱg																				
160							Ⅲg																				
							Ⅱg																				
							Ⅲg																				
						Cg	Ⅳg																				
					灰白	Bg	Ⅱg				高角度な節理が発達した花崗斑岩。全体に褐色を帯びる。							10/30 [161.40]								
						Cg	Ⅱg					CM'															
							Ⅳg				深度162.89～200.00m:花崗斑岩。径5～15mmのカリ長石，石英の斑晶及び径2mm程度の黒雲母の斑晶を30～80%程度含み，石基は径0.5mm程度。																
					灰赤	Dg	Ⅲg																				
						Cg																					
						Bg	Ⅱg					CH'								100							
					にぶい赤橙		Ⅲg				深度165.00m以深，高角度な節理が多くなり，節理に沿って砂～細礫を挟む。																
							Ⅳg																				
						Cg	Ⅲg						[CM]														
												CM'															
							Ⅳg											10/31 [167.40]									
						Bg	Ⅲg																				
					明赤灰						高角度な節理を中心に，網目状に節理が発達し，節理に沿って褐色化する。	CH'															
							Ⅳg																				
						Dg																					
						Cg														118							
170					にぶい赤橙	Bg	Ⅲg				深度169.50～175.00m：全体に高角度な節理発達。	CM'															
						Cg	Ⅳg																				
						Dg						CL'															

コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]

No.3(5/6)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験)試験 (N)値	N値～深度	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
180				花崗斑岩	にぶい赤橙	Dg Dg Cg Bg Dg Cg Bg Dg Cg Dg	Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅴg Ⅳg Ⅴg	bg cg bg bg ag	β	2	深度170.82～172.13m：網目状に節理が発達し，やや軟質である。 深度171.50～172.70m：節理に沿って褐色化する。 深度172.73～173.35m：高角度な節理に沿って細礫を挟む。 深度175.00～175.55m：高角度な節理発達。 深度175.55～179.00m：節理の少ない柱状コア。深度177.65m以深，節理に沿って白色粘土を挟む。 深度179.00～180.00m：高角度な節理が発達し，一部角礫～細礫状をなす。 深度180.16～180.24m：180.76～180.89m：角礫～細礫状をなす。	CL' CM' CH' CM'	[CM] [CH] [CM]				118 102 96						
					明赤灰	Cg Cg Bg Cg Dg Cg Bg Cg Bg Cg B

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNo.

ボーリング名	No.4	調査位置						北緯	
発注機関				調査期間				東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	＋36.89 m	角度	180°上 90° 0°下 45°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南 59.75°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機 / ハンマー落下用具
総掘削長	250.00 m								エンジン / ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
	36.25	0.90		表土	褐						深度0.90～1.49m：礫径は1～3cm。															
	35.84	1.49	粘土質砂質シルト		にぶい褐																					
					黄橙						深度1.49～53.35m：アプライト。花崗斑岩及びアプライトの互層。アプライトは，石基の径が0.1mm以下で，一部に径0.2mm程度。斑晶は径3mm程度で石英，長石を主体にわずかに黒雲母を含む。全体に点在する程度である（0.5%以下）。深度1.49～23.83m間はアプライトであるが，斑晶を比較的多く含み（0.5～1%程度），やや花崗斑岩に近い。深度2.86～3.40m：高角度の粘土を挟む節理あり。深度4.90～4.92m：幅15mm，明褐色砂質シルト（流入粘土）を挟む。																	
					浅黄橙		IVg VIg																			
					灰白	Eg	IVg VIg		δ			D'						148								
					黄橙		II g						[D]													
					明褐		VIg																			
					にぶい橙	Cg	IIIg	cg	γ			CM'														
					明黄褐	Eg	VIg																			
					橙													12/1 5.90				35.0	110			
					淡黄																					
					灰白	Dg	IVg Vg		δ	2												25.0				
					橙																		135			
					浅黄橙	Cg	IVg		γ																	
					灰白													115								
					にぶい黄橙	Dg	Vg																110			
					にぶい橙		IVg		δ			CL'						12/2 8.20								
						Eg	VIg																			
						Dg	IVg																			
							IIIg																			
					淡橙	Eg	VIg							12/7 10.20								15.0	75	0.0	泥水3	3
					淡黄	Cg	II g		γ		深度10.48～10.58m：破砕帯(Hc)。上盤40度，下盤44度。幅65mm，上盤から幅4mm黄灰色シルト状，幅20mm暗褐灰色砂質シルト状，幅25mm暗橙灰色礫シルト混じり砂状，幅15mm暗褐灰色シルト状。															
					灰白	Eg	IIIg VIg		δ	3								78								
					淡黄		IIIg																			
							Vg																			
					淡橙	Dg	IVg		γ	2	深度10.58～11.21m：破砕帯(Hj)。上盤44度，下盤49度。軟質化，節理密集部。深度11.21～11.52m：破砕帯(Hj)。上盤49度，下盤35度。砂状～シルト状。深度11.21m：傾斜49度。幅0.5～3mm，暗褐色シルト状。深度11.25m：傾斜6度。幅0～2mm，灰白色シルト状。深度11.52～11.53m：破砕帯(Hc)。上盤35度，下盤不明。幅12mm，暗褐灰色シルト状。	D'	[CL]	12/6 12.60						12/4 12.30								
							IIIg																			
							IVg																			
							IIIg																			
							IVg																			
							II g																			
							IIIg																			
					灰白		IIIg							12/8 14.60												
					浅黄	Eg			ε	4																
					にぶい橙	Dg	IVg		γ			CL'						95								
							IIIg																			
							IVg							12/9 17.40												
							IIIg																			
							IVg																			
							IIIg																			
							II g																			
							IIIg																			
						Cg	IIIg			2																
							IVg																			
							IIIg																			
							IVg																			
							IIIg																			
							II g																			
							IVg							12/12 21.20												
							IIIg																			
						Dg	IVg																			
							IIIg																			
						Cg	II g		γ									101								
							IVg																			
						Eg				3	深度20.00～20.20m：ペグマタイトを挟む。	CM'	[CM]													
						Dg	IVg																			
						Cg																				
						Dg																				
						Cg	IIIg																			
							IVg																			
						Dg	VIg																			
							IVg																			
						Cg	II g																			
							IIIg																			
							IVg																			
						Dg	VIg																			
							IVg																			
						Cg	II g																			
							IIIg																			
							IVg																			
						Dg	IVg																			
							IIIg																			
						Cg	IVg																			
							IIIg																			
							IVg																			
							IIIg																			
							II g																			

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
30	15.68	30.00		花崗斑岩	淡黄	Dg Cg Dg Cg	Ⅳg Ⅱg Ⅲg Ⅴg Ⅲg	bg cg bg	γ	2	深度28.25～28.80m：岩片～細礫状をなし，軟質化している。 深度28.80～34.24m：節理に沿って褐色化し，一部砂を挟む。	CM CL CM	[CM]	1/8 28.30 1/27 30.10			95		ダブルコアチューブ／ダイヤビット	25.0		0.0	泥水5	5
				アプライト	淡黄	Cg Cg Dg Cg	Ⅳg Ⅱg	cg			アプライト，上位との境界不明瞭。 深度30.00～53.35m：アプライト主体で，厚さ0.8～4.2m程度の花崗斑岩を挟む。花崗斑岩は，径3mm程度の石英，長石主体の斑晶を1～3%程度含み，斑晶が少なくアプライトに近い岩相である。	CL		3/15 32.20											
	12.67	34.25		花崗斑岩	灰白	Cg	Ⅳg	bg				CM		1/31 34.20		12/7 32.70								
						Cg Dg	Ⅲg Ⅳg	cg bg cg		3	花崗斑岩，上位との境界は変質帯，傾斜68度。 深度34.24～34.38m：変質帯。上盤68度，下盤56度。砂状化し，脆くなる。 深度34.38m：シーム。傾斜56度。幅3mm，灰褐色と灰白色シルトの互層状。 深度34.38～36.38m：やや節理多く，角礫状コアをなす。	CL CM CL		2/7 36.30			94				0.0	泥水5	5
	9.70	38.45		アプライト	赤灰 橙 浅黄橙 淡橙 淡赤橙 淡黄 浅黄橙 明赤灰	Cg	Ⅰg Ⅳg Ⅱg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅰg Ⅲg Ⅱg	bg cg bg	β		アプライト，上位との境界不明瞭。 深度38.86m：幅20～25mmの石英脈を挟む。 深度41.19～41.70m：傾斜50～60度の節理多く，全体に褐色化する。	CM CL	[CM]	2/13 42.10		12/8 39.30					110			
40	6.06	43.60										CM		1/18 45.20		12/9 44.70	90	90／ケーシング		25.0				
	5.48	44.42		花崗斑岩 アプライト	淡黄 灰白	Cg	Ⅳg Ⅱg	cg																
					浅黄橙	Dg Cg Dg Cg Dg Cg Dg Cg	Ⅲg Ⅴg Ⅲg Ⅴg Ⅲg Ⅳg Ⅴg Ⅳg	bg cg bg	γ	2	深度46.13～46.38m：破砕帯(Hb)。上盤55度，下盤54度。径3～15mmの礫を主とするシルト混じり礫状。下盤幅10mmの褐色粘土を挟む。 深度48.00～49.92m：高角度な節理が発達する。 深度49.00～59.22m：全体に褐色化し，節理に沿って黒褐色化している。 深度51.38m：シーム。傾斜16度。幅1mm，明褐色シルト状。 深度52.24m：シーム。傾斜48度。幅3mm，褐色シルト状。	CL CM		1/22 47.80		12/11 50.90	103									
50	-0.83	53.35		花崗斑岩		Cg	Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg				花崗斑岩，上位との境界傾斜60度。 深度53.35～65.10m：花崗斑岩 径5mm程度の石英，長石の斑晶を1～5%程度含む。 深度57.10～58.10m：やや斑晶が少なく，アプライト様。	CM				12/12 58.00	101				135	0.0	泥水5	0
60					淡黄 浅黄橙	Dg Cg Dg Cg Dg Cg	Ⅳg Ⅴg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg	cg bg	δ γ	3 2 3 2	深度59.22～59.59m：破砕帯(Hj)。上盤30度，下盤70度。全体に脆く軟質，一部シルト質礫状。 深度59.22m：傾斜30度。幅5mm，褐灰・黄灰色シルト状。 深度59.59m：傾斜70度。幅2mm，黄灰色シルト状。 深度60.32～60.36m：破砕帯(Hb)。上盤71度，下盤71度。幅10～20mm，黒色砂礫状。礫径5～15mm。 深度60.36～60.57m：変質帯。上盤71度，下盤61度。幅120mm，礫状～葉片状，全体に脆い。	CL CM	[CL] [CM]				101								

コア採取率 ☆（%） 最大コア長 cm RQD [%]

原位置試験（孔内水平載荷）　室内試験

No.4(2/8)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（標準貫入試験）試験 （N値）	（N値～深度）	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
	-9.14	65.10		花崗斑岩	橙	Cg	Ⅰg	bg	γ	2										101				135	0.0	泥水5	0
					浅黄橙		Ⅳg				アプライト，上位との境界不明瞭。 深度65.10～70.70m：アプライト。 石基は径0.1mm以下であり，径3mmの石英，長石の斑晶が点在する（0.5%以下）。 深度65.58～66.85m：変質帯。上盤42度，軟質化。深度66.80～66.85mに暗褐色粘土を挟む。 深度67.00～70.70m：節理に沿って褐色化著しく，やや割れ目多い。		CM'														
				アプライト		Cg													12／13 66.10								
					灰白			cg	δ	3			CL'														
						Dg	Ⅴg																				
					明褐灰	Cg	Ⅳg	bg	γ																		
70					灰白		Ⅲg													98				125			
	-13.10	70.70									花崗斑岩，上位との境界傾斜40～50度。 深度70.70～84.18m：花崗斑岩。 径3～5mmの石英，長石，径1～2mmの黒雲母の斑晶を3～40%程度含み，石基は径0.1～0.2mm程度で組織は比較的均質である。斑晶は下方に向かって多くなる。 深度70.70～78.80m：節理に沿って褐色化し，斑点状の褐色化も見られる。																		
				花崗斑岩			Ⅳg																				
					明褐		Ⅱg																				
							Ⅲg																				
							Ⅳg												12／14 72.90								
							Ⅲg				深度74.80付近～81.00m付近まで，節理に沿って黄鉄鉱を挟む。		CM'														
							Ⅳg			2																	
							Ⅱg																				
							Ⅳg													80							
							Ⅲg																				
							Ⅳg																				
							Ⅲg			γ																	
							Ⅳg												12／15 78.90								
							Ⅲg																				
							Ⅱg																				
80							Ⅳg																				
							Ⅱg	cg			深度80.25～84.25m：やや風化し，全体に褐色化している。																
							Ⅲg																				
							Ⅳg																				
						Cg	Ⅲg	bg													90／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	25.0		0.0	泥水5	5
							Ⅳg													102							
							Ⅴg	cg					CL'														
	-22.63	84.18				Dg				3	アプライト，上位との境界不明瞭。 深度84.18～122.70m：アプライト。 深度84.18～96.80mの間は，アプライトを主体とし，厚さ0.4～1.4mの花崗斑岩を挟む。 アプライトは石基の径が0.1mm以下であり，径3mm石英，長石の斑晶を主体として，径1mm程度の黒雲母の斑晶が点在する（0.5%以下）。 深度84.25～84.33m：破砕帯(Hc)。上盤55度，下盤63度。幅20～30mm，暗褐色シルト状，灰白色砂質シルト状。 深度84.33～84.49m：変質帯。上盤63度，下盤29度。橙褐色を帯び軟質化し脆い。 花崗斑岩，上位との境界不明瞭。																		
				アプライト			Ⅳg												12／18 85.00								
							Ⅲg																	135			
							Ⅳg																				
	-25.12	87.70					Ⅱg																				
				花崗斑岩			Ⅳg																				
							Ⅱg																				
							Ⅲg																				
	-26.15	89.15					Ⅳg													100							
					淡赤橙		Ⅲg				アプライト，上位との境界漸移的。 深度89.50付近～94.10m付近，節理に沿って黄鉄鉱を挟む。																
							Ⅳg																				
							Ⅲg						CM'														
							Ⅳg																				
				アプライト		Cg	Ⅱg																				
							Ⅴg																				
							Ⅲg												12／19 92.50								
					明赤灰		Ⅱg			β																	
							Ⅳg																				
							Ⅲg																				
					にぶい橙		Ⅳg																				
	-30.06	94.68					Ⅲg																				
				花崗斑岩							花崗斑岩の上位，下位との境界漸移的。 深度95.12～96.78m：変質帯。全体に淡緑灰～暗緑灰色を呈する。																
	-30.50	95.30								3			CL'							100							
				アプライト	淡緑灰		Ⅳg	cg																			
	-31.56	96.80									花崗斑岩，上位との境界不明瞭。 深度96.80～100.80m：花崗斑岩。 径3～5mmのカリ長石，石英，一部黒雲母の斑晶を15%程度含み，石基は径0.1mm程度である。 深度96.80～99.60m間はカリ長石の斑晶が多い。		CM'														
							Ⅲg																				
				花崗斑岩	にぶい赤橙	Bg	Ⅰg	bg	γ	2			B'														
							Ⅱg						CH'														
						Cg	Ⅳg						CM'														

コア採取率 ☆（%） 最大コア長 cm R Q D ［%］

No.4(3/8)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
100	-34.39	100.80		花崗斑岩	にぶい赤橙	Bg Cg Dg Eg	IVg Ⅲg Vg	bg cg	γ	2	深度100.21m：シーム。傾斜37度。幅7～10mm，黒褐・明褐色シルト状。 深度100.21～100.43m：変質帯。上盤37度，下盤不明。全体に軟質化し脆い。 深度100.43～100.67m：変質帯。上盤不明，下盤48度。シルト混じり礫状～礫混じりシルト状。 深度100.67m：シーム。傾斜48度。幅6mm，灰色シルト状。 深度100.67～100.75m：変質帯。上盤48度，下盤56度。軟質化する。 アプライト，上位との境界不明瞭。 深度100.80～122.70m:アプライト。 石基は0.1～0.2mm程度であり，径3mmの石英の斑晶が点在する（0.5%以下）。	CM'	[CM]				100							
					淡黄					3						12/20 100.50								
				アプライト		Cg Vg	IVg	bg	δ			CL'					90				135			
					淡橙					2		CM'						90／ケーシング						
								cg	γ			CL'				12/21 105.60								
						Dg Vg			δ													0.0	泥水5	5
						Cg Dg	IVg		γ		深度107.54～107.62m：破砕帯(Hc)。 上盤58度，下盤53度。幅20～30mm，明桃色砂質シルト状。やや硬い。 深度107.62～108.23m：破砕帯(Hb)。 上盤53度，下盤38度。礫状破砕部，径0.5～1.5cmの角～亜角礫状。 深度108.23～108.35m：破砕帯(Hb)。 上盤38度，下盤不明。明桃色礫混じり砂質シルト状。 深度108.35～108.63m：破砕帯(Hj)。 上盤不明，下盤47度。原岩組織を残す。 高角度な割れ目(82度)に沿って幅0.5～5mmの灰白色粘土を挟む。 深度108.63～108.69m：破砕帯(Hb)。 上盤47度，下盤33度。礫状化している。 深度108.69～108.73m：破砕帯(Hb)。 上盤33度，下盤不明。幅0～55mm，礫混じりシルト状。 深度108.73～108.87m：破砕帯(Hb)。 上盤不明，下盤63度。礫状化している。 深度108.87～109.48m：破砕帯(Hj)。 上盤63度，下盤28度。原岩組織を残す。 深度109.48～109.94m：破砕帯(Hc)。 上盤28度，下盤20度。径1～2cmの亜角礫を含む砂質シルト状。 深度114.85～122.70m：やや変質を受け，全体に褐色化している。節理多く角礫状をなす。												
					灰白	Eg	VIg	dg	δ	3		D'					79				125			
							IVg									12/22 110.50								
						Cg	Vg	cg				CL'	[CL]											
							IVg										106				135			
							Vg																	
							IVg					CM'				12/23 114.20								
							Vg	bg																
							Ⅲg																	
							IVg																	
					浅黄橙	Dg Cg	Ⅲg IVg										93					0.0	泥水10	10
							Ⅱg	cg								1/9 116.90								
						Dg Cg	Vg IVg					CL'												
						Dg Cg	Vg IVg																	
						Cg	IVg Vg		γ								92					0.0	泥水5	5
							IVg																	
					灰白	Bg Cg Dg	IVg Vg			2														
					明褐灰	Cg	IVg	bg								1/10 122.40		76／泥水						
	-49.87	122.70			黄褐		Ⅲg Ⅱg				花崗斑岩，上位との境界傾斜50～60度。 深度122.70～131.25m:花崗斑岩。 径5～15mm程度の石英，長石の斑晶及び径1～3mmの黒雲母の斑晶を50～70%程度含み，石基は径0.1～0.2mm程度である。斑晶の密集部と散在部とが1～3m間隔で繰り返す。 上部に黒雲母の斑晶を多く含む。 深度125.39～130.42m：全体に変質著しく，軟質化し，節理に沿ってシルト～粘土を挟む。	CM'											
					明黄褐	Dg	IVg	cg				CL'												
						Cg	Ⅲg	bg																
					黄橙		Ⅱg					CM'									110			
						Dg	IVg										97					0.0	泥水10	10
				花崗斑岩	浅黄	Cg	Ⅲg																	
						Dg	Vg																	
						Cg	IVg	cg				CL'				1/11 128.20								
						Dg	Vg																	
						Cg							[CM]											
						Dg	IVg																	
130							Ⅱg	bg																
	-55.92	131.25		アプライト	にぶい橙	Cg	IVg				アプライト，上位との境界傾斜20～30度。 深度131.25～152.32m:アプライト。 石基は径0.1～0.2mm程度であり，斑晶は少ない。 深度132.32～132.68m：変質帯。上盤53度，下盤26度。全体に軟質化している。						100					0.0	泥水5	5
							Ⅲg																	
						Dg	Vg	cg	β	3		CM'												
						Cg	IVg	bg		2						1/12 134.20								
	-58.29	134.60			花崗斑岩		Ⅲg				花崗斑岩，上位との境界漸移的。						100							

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

（標準貫入試験）試験：（N値～深度 0 10 20 30 40 50）

原位置試験（孔内水平載荷）　室内試験　ダブルコアチューブ／ダイヤビット

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験) 試験 (N値)	(N値～深度)	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l／分)	排水量 (l／分)
140	-62.42	140.45		花崗斑岩	にぶい黄橙	Cg	Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅲg Ⅱg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅳg	bg cg bg cg			深度134.60～140.25m：花崗斑岩。径5mm程度の石英，長石の斑晶を1～2%程度含み，石基は径0.2mm程度である。斑晶が少なく，アプライトに近い花崗斑岩である。 深度135.86～136.59m：節理多く，岩片～短柱状コア。 深度136.59～141.80m：節理に沿って褐色化しているが，岩芯部分は新鮮部を残す。 深度140.14～140.51m：灰白色を帯びる。 アプライト，上位との境界不明瞭。		CM' CL' CM' CH'					100							
					明褐灰	Bg Cg	Ⅰg Ⅲg													1/13 138.20	102							
					灰褐	Bg Cg	Ⅳg Ⅰg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅱg	bg			深度142.45～146.00m：全体に褐色を帯び，節理に沿って黒褐色化している。 深度144.00～144.75m：やや節理が多くなる。		CM'							1/15 144.30					0.0	泥水5	5
				アプライト	明褐灰	Cg	Ⅲg Ⅱg Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅲg	cg bg			深度146.87～148.59m：節理に沿って黄鉄鉱を挟む。		[CM]								103							
					灰白	Bg	Ⅰg			2			B'														
					にぶい黄橙	Cg	Ⅳg Ⅲg Ⅳg						CM'															
150					灰白	Bg	Ⅱg	cg bg		β										1/16 150.50							
					にぶい黄橙	Cg	Ⅲg						B'															
	-70.82	152.32			にぶい黄橙	Cg Dg Bg Cg	Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅰg Ⅱg	cg bg cg			花崗斑岩，上位との境界傾斜25～30度。 深度152.32～171.65m:花崗斑岩。 径3～20mmの石英，長石，黒雲母の斑晶を50%程度含み，石基は径0.5mm程度である。一般に黒雲母の斑晶が多く，下部ほどカリ長石の斑晶が多くなる。 深度153.12m：シーム。傾斜30度，幅1mm，黄灰色シルト状。 深度154.08～154.22m：節理密集部。 深度154.00～157.00m：全体に弱く褐色化している。		CM' CL' B' CM' CH'					102							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Cg Bg Cg	Ⅱg Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅲg	bg cg bg cg					CM'							1/17 156.60							
160					明褐灰	Bg Cg Cg	Ⅰg Ⅲg Ⅲg	bg cg		3	深度159.77～159.88m：変質帯。上盤63度，下盤67度。灰白色粘土が網目状に入る。		B' CM'								95							
					にぶい黄橙	Bg Cg	Ⅰg Ⅲg				深度160.10～162.88m：節理周辺の幅5～15mmが珪化している。		B' CM'	[B]														
					明褐灰	Bg	Ⅰg						CH'							1/18 162.30							
					にぶい黄橙	Cg	Ⅳg						B'															
					明褐灰	Bg	Ⅱg						CH'															
					にぶい黄橙		Ⅳg Ⅱg Ⅲg	cg bg			深度164.08～164.74m：やや節理が多くなる。										98							
					明褐灰	Cg	Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅲg	cg bg cg		2	深度165.43～169.61m：新鮮岩。		CM'	[CM]						1/19 168.20							
170					にぶい黄橙		Ⅳg	bg		α	深度169.61～171.69m：節理多く，全体に褐色化している。									1/20 170.10	95 93							
					灰褐		Ⅱg			β																		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験)試験 (N値)	(N値～深度)	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
					灰褐	Cg	Ⅱg Ⅲg	bg	β	2	深度171.69～171.83m：破砕帯(Hc)。上盤57度，下盤42度。幅140mm，灰白色シルト，黄灰～褐色砂質シルト，黄灰色礫混じりシルト状。	CM'	[CM]														
					褐灰	Eg	VIg	dg	δ	3	深度171.83～174.28m：破砕帯(Hj)。上盤42度，下盤60度。全体に礫混じりシルト質砂～砂質シルト状，一部土砂状。	D'	[D]							93						
					明黄褐						深度174.28～174.33m：破砕帯(Hc)。上盤60度，下盤54度。幅18～20mm，灰黄色シルトと褐色シルトの互層状。																
					橙						深度174.33～174.85m：破砕帯(Hj)。上盤54度，下盤62度。礫混じりシルト質砂状。																
					灰黄						深度174.85～174.88m：破砕帯(Hc)。上盤62度，下盤66度。幅12～15mm，黄灰色シルト状。																
				花崗斑岩	黄橙	Cg	Ⅳg	cg			深度171.65～187.92m:花崗斑岩。径2～5mmの石英，長石，黒雲母の斑晶を10～20%程度含み，石基は上部が径0.1mm以下，下部が径0.1～0.2mmである。部分的に径2～4mmの石英，長石の斑晶が密集し，黒雲母が散在する。	CL'	[CL]														
					橙	Dg	Ⅴg				深度175.27～175.28m：破砕帯(Hc)。上盤33度。幅8～13mm，黄褐色シルト状。																
					淡赤橙		Ⅳg	bg			深度175.64～175.65m：破砕帯(Hc)。上盤49度。幅10mm，礫混じり砂質シルト状。	CM'								100						
					灰白	Cg	Ⅲg Ⅱg																				
180					橙		Ⅳg Ⅲg	cg			深度180.51～182.22m：やや変質し，軟質化している。全体に黒褐色化する。	CL'														
	-91.45	181.50		アプライト	灰白	Dg Cg	Ⅳg Ⅴg				アプライトの上位，下位の境界不明瞭。																
	-92.07	182.38		花崗斑岩	橙	Dg	Ⅲg Ⅱg	bg				CM'								95							
					にぶい黄橙		Ⅳg Ⅱg																				
					淡赤橙		Ⅲg Ⅳg			2	深度184.80～186.00m：節理に沿って黒褐色化している															
	-94.60	185.96		アプライト			Ⅲg Ⅳg				アプライトの上位，下位の境界不明瞭																
				花崗斑岩			Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅰg Ⅳg Ⅰg				深度186.63～188.09m：節理多く，角礫状をなす。															
	-95.99	187.92					Ⅳg				花崗斑岩，上位との境界漸移的。深度187.92～210.00m:花崗斑岩。径3～20mmのカリ長石，石英，斜長石，黒雲母の斑晶を10～50%含み，石基は径0.1～0.5mmである。斑晶の多い部分と少ない部分とが互層を呈する。深度188.90～199.72m：全体に褐色化し，風化を受けている。																
190					にぶい橙		Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅰg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅰg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅱg Ⅲg Ⅳg Ⅱg						深度192.75～199.72m：やや節理多く，部分的に角礫状をなす。		[CM]							98						
												CL'															
												CM'															
												CL'															
											深度195.63～195.68m：変質帯。上盤36度，下盤46度。淡褐白色を帯び軟質化。上下盤に粘土を挟む。	CM'								100						
												CL'															
					灰赤						深度199.40～199.51m：淡緑灰色を呈し，節理に沿って，雲母粘土鉱物を挟む。深度199.72～207.69m：新鮮岩。節理に沿ってのみ黒褐色を帯びる。									100						
					にぶい橙					2		CM'															
200					灰赤				β																		
					にぶい橙																						
					灰赤															100							

No.4(6/8)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験) 試験 (N値)	(N値～深度)	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l／分)	排水量 (l／分)
				花崗斑岩	にぶい橙	Cg	Ⅳg	bg	β	2	深度207.69～207.72m：破砕帯(Hb)。上盤39度，下盤61度。幅10mm，礫混じりシルト状。礫は径0.5～1.0cmの亜円礫。		CM'															
						Dg	Ⅴg	cg	γ		深度207.72～209.00m：砂礫状をなす。		CL'							3/7 208.90	100						
210					灰赤	Cg	Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅳg Ⅲg Ⅳg	bg			深度210.00～250.00m：花崗斑岩。径3～10mmのカリ長石，石英，斜長石，黒雲母の斑晶を60～70%含み，石基は径0.2～0.5mmである。径10mm程度のカリ長石の斑晶を散在し，黒雲母の斑晶が多く，組織は全体に塊状均質で，斑晶の割合が高い。深度210.00m以深，節理に沿ってのみ褐色化する。		CM'															
						Bg	Ⅱg Ⅳg Ⅲg														86			0.0	泥水10	10
						Cg	Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg													3/8 213.20							
							Ⅴg	cg			深度215.47～215.74m：節理に沿って変質を受けている。																
						Bg	Ⅰg	bg					B'								107						
						Cg	Ⅱg Ⅳg																				
						Bg	Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg																				
						Cg	Ⅳg				深度218.73～218.74m：破砕帯(Hc)。上盤62度，下盤不明。幅15mm，暗灰色礫混じりシルト状。		CM'							3/9 219.10							
220							Ⅱg Ⅳg Ⅱg				深度221.28～224.46m：長柱状の硬質コア。										105						
						Bg	Ⅰg Ⅳg	bg					B'														
					明赤灰	Cg	Ⅱg Ⅳg Ⅰg				深度223.00m，223.47m付近，節理に沿って淡緑灰色に変質する。		CM'							3/10 223.30							
					灰赤	Bg	Ⅳg Ⅰg Ⅱg						B'														
					明赤灰								CH'	[CM]													
					淡赤橙	Cg	Ⅱg														103	76／泥水	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	25.0	110			
					明赤灰		Ⅳg Ⅱg													3/12 227.40							
					淡赤橙		Ⅳg	cg			深度228.30m：シーム。傾斜69度，幅5～7mm，礫状。深度228.30m以深，褐色化顕著。														0.0	泥水10	0
230						Cg	Ⅳg Ⅱg						CM'														
					明赤灰		Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅰg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅲg Ⅳg	bg													103						
						Dg	Ⅴg	cg			深度234.32～236.15m：全体に変質をうけ，軟質化している。一部砂状をなす。		CL'							3/13 233.60							
						Cg	Ⅱg Ⅳg																				
						Dg	Ⅴg																				
					淡赤橙	Cg	Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg	bg			深度236.15m以深，全体に柱状コアをなす。節理に沿って褐色を帯び，全体に弱く変質している。										100						
240											深度239.72m：幅4mmの石英脈を挟む。		CM'							3/14 238.60							
					明赤灰		Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅰg Ⅲg				深度242.73m：幅2～5mm，傾斜30度の石英脈を挟む。										102						

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験) 試験 (N)値	(N値～深度)	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
-139.89		250.00		花崗斑岩	明赤灰 淡橙 明赤灰 淡赤橙 明赤灰	Cg	Ⅳg Ⅱg Ⅳ/Ⅱ Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅲ/Ⅱ Ⅱg Ⅲg Ⅳg Ⅱg Ⅲ/Ⅱ Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅰg Ⅲg Ⅱ/Ⅲ Ⅱg Ⅳg	bg bg	β	2	深度243.29～243.72m：全体に褐色化する。 深度243.67mに幅1cmの石英脈を挟む。 深度245.31m, 246.08mに幅2～3cm程度の淡緑灰色変質脈を挟む。黄鉄鉱を伴う。	0 50 100 22 [21] 17 [31] 2 [49] 29 [29] 18 [26] 76 [76] 20 [44]	CM	[CM]							3/15 244.70 3/16 250.00	102 76	76／泥水	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	25.0	110	0.0	泥水 10	0

ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNo.	

ボーリング名	No.5	調査位置						北　緯	
発注機関				調査期間				東　経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	+ 3.30 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機 / エンジン / ハンマー落下用具 / ポンプ
総掘削長	150.00 m								

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	(標準貫入試験) N値～深度	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
				埋土							砕石、コンクリート片、玉石など。下部シルト質砂。				9/12 1.25						86	140／ケーシング	ダブルコアチューブ／メタルビット	50.0	90	0.0	泥水 0	0
															9/14 2.85	5										0.0		10
	0.15	3.15																						30.0		0.0	泥水 0	0
	-0.22	3.52		有機質シルト	オリーブ黒						植物片や木片を含むシルト層。					2				9/6 3.50				20.0				
	-0.55	3.85		有機質砂	灰色						中～細粒砂主体で所々に腐植物混入。																	
	-1.15	4.45		腐植土	黒色						砂，シルトの混入少ない腐植土層。					2					600			15.0				
	-1.29	4.59		粘土質砂	黒褐						腐植質な細～中粒砂。									9/7 5.00								
					暗灰黄											34												
				砂	黄灰						粗粒砂～中粒砂。 粒子は円磨されておらず角張っている。					33										0.0	泥水 24	23
					灰黄						やや褐色を帯びた中粒砂。 粗粒砂，細粒分少なく，軟質。 酸化の進んだ中～粗粒砂。					20												
					暗灰黄											15					514							
																19												
10					黄褐											20												
																15				9/8 11.00								
	-8.48	11.78		腐植混り砂	灰色						粗粒砂を主体として，所々に炭片を含む。 炭質物は炭片～木片まで，炭化が進んでいないものも見られる。					9								20.0				
	-10.05	13.35														13												
				砂	黄褐						中～粗粒砂で上位より粗粒砂の割合が低い。					18					600	116／ケーシング				0.0	泥水 12	12
																21												
	-12.70	16.00														16				9/9 17.00								
				シルト混り砂	灰色						シルト分を含む砂層。砂は粗粒砂を不規則に混入する中～細粒砂。 貝殻片が全体的に混入する。					13												
																8												
	-15.45	18.75														13					480							
				砂	灰オリーブ						細粒分少ない粗粒砂主体。所々に中粒砂を挟む。					13												
20	-17.20	20.50														50				9/11 21.00								
				礫混り砂	黄灰						砂は細～中粒砂，所々に細礫を含む。 礫は径1～3cmの花崗岩の亜角礫。クサリ礫を含む。					38								25.0		0.0	泥水 4	4
	-18.15	21.45														27												
	-18.55	21.85		礫	灰黄褐						花崗岩の玉石，やや風化進む。					50												
	-19.20	22.50		礫混り砂	灰褐						上位との境界部は礫の混入多い。 下位ほど礫の混入少ない。					50					240		ダブルコアチューブ／メタルビット	10.0	90	0.0	泥水 8	8
				砂	黒褐						細～中粒砂の互層。全体に炭片を含む。上方細粒化する。					50								50.0				
	-19.95	23.25														50				9/12 25.00								
				砂礫	灰褐						径1～4cmの花崗岩角礫を含む砂礫層。 基質は花崗岩質の細礫～砂。不規則に礫を含む。					50								10.0				
	-21.13	24.43														50					212	97／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	30.0	120	0.0	泥水 3	3
				玉石混り砂礫	灰褐						礫は径3～6cm，最大径10cmの花崗岩礫を含む砂礫層。 礫は亜角～亜円礫，一部にクサリ礫を含む。 所々に砂層を挟む（深度24.43～24.51m，24.72～24.92m）。 深度27.38m以深，礫の混入少なくなる。																		
					黄褐																							
					灰褐																							
					褐灰																							

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
30	-25.20	28.50		玉石混り砂礫	黄褐						礫混じり中～粗粒砂。 礫は径1～3cm，花崗斑岩，アプライトの角～亜角礫を含む。 砂の粒子は石英主体，角礫主体でやや淘汰されている。 深度31.80～31.92m：砂層を挟む。				50	9/13 30.00	212	97／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	33.0	135	0.0	泥水3	3
				礫混り砂	明赤灰										50					35.0				
															50					30.0				
															40					20.0	150			
															50					25.0		0.0	泥水5	5
					灰褐										50		167			38.0				
	-29.14	32.44													50						90			
				礫混りシルト質砂	黄灰						深度32.44～32.76m：砂とシルトが均質に混じる。				50					10.0				
	-30.13	33.43													50	9/14 34.60								
	-30.95	34.25		シルト混り砂礫	明黄褐						径3～5cm，最大径10cmの礫を含む砂礫層。 基質はシルト質砂～中粒砂，淘汰悪い。				25						120			
	-31.45	34.75		礫混り砂質シルト	オリーブ黄						シルトと細粒砂が均質に混じる。 全体に還元色でアプライトのクサリ礫や硬質礫を含む。				50		206			20.0				
40				シルト混り砂礫	にぶい黄橙						径3～5cm，最大径25cmの礫を含む砂礫層。 礫はアプライト，花崗斑岩の亜角礫を主体とする。 礫は全体に風化し，10cm以下の礫はほとんど半クサリ状態。 礫の表面は褐～黄褐を帯びるが，径10cm以上の礫は硬質主体。 礫率は20～40%。基質はシルト混じり細粒砂で，淘汰悪い。 深度39.91m以深，基質に径0.1～0.4cmの石英粒子多く含む。 礫径は10～20cm，最大径30cm，礫率は60%。					9/15 37.60									
																9/23 38.80				30.0		0.0	泥水8	8
																					360			
	-38.05	41.35			黄褐		Ⅳg				全体に著しく風化を受け褐色化し非常に脆い。 深度41.35～54.30m：花崗斑岩。 径5～10mm程度の石英，長石，黒雲母の斑晶を10～50%程度含み，石基は径0.5mm程度である。斑晶は部分的に密集する。						267							
					にぶい橙		Ⅱg																	
					明褐		Ⅲg	cg																
							Ⅱg																	
						Eg	Ⅲg																	
							Ⅱg																	
							Ⅳg						D'											
							Ⅱg	bg			全体に風化を受け，褐色を帯び，岩質は脆い。 全体に10～20cm間隔で傾斜30～40度の節理が発達し，一部に明褐色粘土を挟む。													
							Ⅲg	cg																
							Ⅱg	bg																
					にぶい黄橙	bg																		
						Eg	Ⅲg																	
						Dg	Ⅱg	cg		δ														
							Ⅱg						CL'											
						Eg	Ⅳg				深度49.29m：傾斜82度の節理，幅0.5～1.5mmの灰白色粘土を挟む。 節理の周辺幅5～20mmが変質により緑灰～灰白色を帯び軟質化する。 深度50.0～52.0m：節理面が全体に褐～暗褐色を帯びる。													
							Ⅰg						D'											
						Dg		bg																
						Eg																		
						Dg																		
						Eg																		
						Cg	Ⅲg				深度52.24～54.16m：節理は厚さ1mm以下の橙白色粘土を挟む。		CL'											
						Dg		cg																
					にぶい黄	Eg																		
						Dg																		
						Eg	Ⅳg	bg			深度54.30～76.20m：花崗斑岩。 径5～10mm程度の石英主体の斑晶を1～3%程度含み，石基は径0.1mm程度である。		D'	[CL]											
							Ⅲg																	
						Dg																		
						Cg	Ⅳg	cg			深度56.21～57.67m：傾斜30～40度の節理が5～15cm間隔で発達。													
						Eg	Ⅲg						CL'											
						Cg	Ⅳg				深度57.11～57.15m：傾斜75度及び30～90度の節理に沿って，厚さ2～3mmの暗褐色を帯びた礫混じり固結シルトを挟む。													
						Dg	Ⅲg																	
						Cg																		
						Dg																		
						Eg																		
							Ⅱg																	
						Cg				γ			CM'											
60							Ⅲg																	
						Eg	Ⅵg	bg			深度60.61～61.05m：土砂状～角礫状。 深度61.40～61.45m：砂混じり細片状。		CL'	[CM]										
						Dg	Ⅳg																	
					灰褐		Ⅱg																	
						Cg	Ⅳg						CM'											
							Ⅰg																	

コア採取率 ☆（%）　最大コア長 cm　R Q D [%]

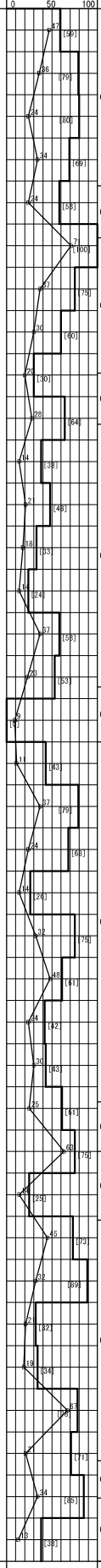
（標準貫入試験）試験　（N値～深度　0 10 20 30 40 50

原位置試験（孔内水平載荷）　室内試験

掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
9/16 39.80	267	97／ケーシング	ダブルコアチューブ／メタルビット	10.0	136	0.0	泥水13	13
9/17 40.80				25.0	130			
9/18 41.80	355			15.0				
9/19 42.80			ダブルコアチューブ／ダイヤビット	30.0	245	0.0	泥水7	7
9/20 43.80			ダブルコアチューブ／メタルビット	20.0	132	0.0	泥水13	13
9/21 44.80			ダブルコアチューブ／ダイヤビット	30.0	360	0.0	泥水7	7
9/22 45.80	219			35.0				
9/23 46.80				40.0		0.0	泥水10	10
9/24 47.80				50.0				
9/25 48.80				30.0	130	0.0	泥水7	7
9/26 53.10								
9/27 60.05	167							
9/28 62.00	199	97／ケーシング						

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
70				花崗斑岩	灰褐	Cg	Ⅳg Ⅰg Ⅲg Ⅱg Ⅲg	bg	γ	2	深度63.06～63.27m：傾斜70～80度の節理に沿って，幅1.5～2.0cmが角礫状を呈する。 深度65.0～67.2m：柱状コア主体，傾斜25～30度の節理が5～15cm間隔で発達。 深度67.21m以深，密着した節理が多く，岩質やや脆い。	CM'						199		30.0 35.0	130			
					にぶい褐 灰褐		Ⅲg Ⅳg																245	0.0	泥水7	7
					橙	Dg	Ⅲg	cg			深度67.52m：シーム。傾斜80度，幅4～8mm。黄灰色礫混じりシルト混じり砂状。下盤側部分的に幅2mmの石英脈を挟む。 深度67.52～68.32m：変質帯。岩質脆い。	CL'										360			
					にぶい橙	Cg	Ⅰg	bg		3	深度67.90m：傾斜76度の節理に沿って，幅0.8mmの灰白色粘土を挟む。	CM'		9/29 67.64				200					泥水7	6
					にぶい褐	Dg Cg	Ⅲg Ⅱg Ⅲg																	0.0		
					にぶい黄褐 明黄褐	Dg	Ⅴg Ⅳg	cg			深度71.13～71.63m：傾斜80～85度の節理発達。上盤側は，幅5mmの石英脈を挟む。 深度71.66m：シーム。傾斜50度，幅1～3mm暗褐色粘土状。逆断層センスの構造有り。 下盤側深度72.98mまで，傾斜65～85度の節理発達，黄白色粘土を挟む。	CL'													
					にぶい黄褐 にぶい褐	Cg	Ⅲg	bg				CM'		9/30 73.65						40.0	130			
	-72.90	76.20		黒雲母花崗岩	明褐灰	Dg Cg	Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅲg	cg			黒雲母花崗岩，上位との境界不明瞭。 深度76.20～90.05m:黒雲母花崗岩。 径3～10mm程度の石英，長石，黒雲母の斑晶からなり，径0.2～0.5mm程度の石基を含み，花崗斑岩に近い岩相である。 深度76.30～80.00m：斜長石は完全に粘土化，軟質。 深度76.43～78.44m：傾斜30～45度の節理が7～25cm間隔で発達。節理及び節理周辺は，黒色を帯びる。 深度78.44～80.00m：傾斜30度，70度前後の節理，密着節理が3～5cm間隔で発達。節理面は全体に褐色化する。							163								
					褐灰		Ⅳg	bg				CL'		10/2 79.65										
80					明褐灰 にぶい黄橙 褐灰 にぶい黄橙 明褐灰	Cg	Ⅱg Ⅲg				深度80.00～80.49m：傾斜10～25度の密着した節理が1～2cm間隔で発達，指圧で開口しやすい。 深度80.50～85.00m：傾斜30度程度の節理が7～30cm間隔で発達。 節理面は酸化鉄付着し，一部は暗緑色のシルト質砂～砂質シルトが付着する。		[CM]							76／泥水	ダブルコアチューブ／ダイヤビット		245			
							Ⅳg Ⅱg Ⅲg			2		CM'						142							
						Bg Cg Bg Cg Bg Cg Bg Cg	Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg				深度85.94～86.39m：傾斜20～35度の節理及び密着した節理が発達。 深度86.85～87.08m，87.38～88.35m，88.81～89.00m：傾斜20～35度の節理及び密着した節理が発達。 深度86.14～86.31m:傾斜80～85度の密着した節理が正断層的に数mmずれる。											45.0	360	0.0	泥水6	6
								cg				CH'		10/3 88.55											
90	-86.75	90.05		花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	Ⅲg Ⅳg	cg			花崗斑岩，上位との境界不明瞭。 深度90.05～99.50m:花崗斑岩。 厚さ1.4mのアプライトを挟む。 花崗斑岩は，径3～5mm程度の石英，長石，黒雲母の斑晶を1～3%程度含み，基質は径0.1mm程度である。 深度90.20～91.09m：傾斜15～30度の平行した節理及び密着した節理が発達。 深度91.54m：傾斜35度の節理，厚さ6～10mmの礫混じり砂を挟む。 深度91.93m：傾斜13度の節理，厚さ4mmの砂を挟む。 深度92.32m：傾斜30度の節理，厚さ1mmの礫を挟む。 深度92.63～92.65m：破砕帯(Hb)。傾斜12度，幅15mm，暗灰色砂質シルト状，一部砂状。軟質。正断層的構造有り。 深度93.09～95.00m：傾斜15～35度の平行した節理が3～15cm間隔で発達。 アプライトの上位，下位境界不明瞭。 深度95.15～95.25m：ペグマタイト。 深度96.46～96.49m：破砕帯(Hb)。上盤16度，下盤52度。 幅35mmで暗灰色シルト混じり礫状～砂質シルト状，軟質。	CL'																
						Cg	Ⅱg	bg																		
							Ⅳg					CM'														
							Ⅲg																			
	-91.75	95.05		アプライト		Dg	Ⅳg	※																		
	-93.11	96.41		花崗斑岩	灰褐	Cg	Ⅰg Ⅲg	bg															360			
						Bg Cg	Ⅱg Ⅳg					CH'		10/4 96.90												
												CM'						166				35.0	245	0.0	泥水7	7

コア採取率 ☆（%） 最大コア長 ⊖ cm RQD ⊓［%］



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
	-96.20	99.50		花崗斑岩																35.0	245			
100				黒雲母花崗岩	灰褐	Bg Cg Dg Cg Bg Cg Bg Cg Dg Dg Cg Dg Cg Bg Cg Bg Cg Dg Cg Dg Cg Dg Cg Bg Cg Bg Cg B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験) 試験 (N)値	N値～深度	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
140	-146.70	150.00		花崗斑岩	にぶい黄橙	Cg, Cg, Bg, Cg, Bg, Cg, Dg, Cg, Dg, Cg, D

ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNo.	

ボーリング名	No.6	調査位置						北　緯	
発注機関				調査期間				東　経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	+ 3.31 m	角度	180° 上 90° 下0° 40°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 240°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機 / ハンマー落下用具
総掘削長	175.00 m								エンジン / ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	(標準貫入試験) N値～深度	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
				盛土	灰黄褐						盛土 シルト混じり砂礫及び礫混じりシルト質砂。				1/15 1.75 2/27 3.00 4.00					1/13 2.00	400	140／ケーシング	ダブルコアチューブ／メタルビット	20.0 50.0 20.0 10.0 20.0	30	0.0	無水 0	0
					にぶい黄橙																							
					にぶい黄褐																							
					明黄褐																							
	0.46	3.72		有機質シルト	黒褐						腐植質シルト。																	
	0.12	4.16		砂混じり高有機粘土							繊維質，少量の砂が混入。																	
	-0.01	4.33		粘混り高有機質土	黒						全体に繊維質で水分多い。下部ほど礫の含有多い。										352			10.0		0.0	泥水 13	13
	-0.61	5.12		有機質土混り砂							木片，腐植物を不規則に挟む。																	
	-0.90	5.49		砂礫	黄灰						礫は径0.2～0.7cmの石英粒子。基質は粗粒砂。																	
	-1.59	6.40		礫混り砂	灰白						細粒砂を主体とし中～粗粒砂を含み淘汰悪い。									1/15 7.00				20.0		0.0	泥水 13	10
											深度8.31m以深，径0.3～0.7cmの細礫・粗粒砂からなり，淘汰良好。										316			15.0		0.0	泥水 16	16
10					にぶい黄橙																					0.0	泥水 16	12
	-5.34	11.29		砂	BG白						淘汰された砂。																	
	-5.49	11.49		砂	浅黄						礫は径0.3～0.5cm，最大径1.5cmの亜角礫。砂は淘汰された中粒砂。														60	0.0	泥水 16	12
	-5.65	11.70		礫混り砂																1/16 13.35		116／ケーシング		17.5				
	-7.72	14.40		礫混り砂							淘汰された粗粒砂。																	
	-8.03	14.80		砂							淘汰された砂・礫。礫は径0.7cm以下の石英・長石粒主体。全体に均質。													10.0				
	-8.07	14.85		礫混り砂	にぶい黄橙																169			20.0		0.0	泥水 16	14
	-10.84	18.47		礫混り砂	オリーブ黒						礫は径0.3～0.7cm，最大径5cmの亜角礫。基質はシルトを含む細粒砂。木片，炭片を含む。													15.0				
	-11.41	19.22		礫混り砂	灰						礫は径0.2～1.0cmの亜角礫～角礫。砂は細～中粒砂。炭質物をわずかに含む。									1/17 20.80				20.0				
20	-12.79	21.02		礫混り砂	灰黄						礫は径0.3～0.5cm，最大径1.0cm。石英・長石粒を主体。砂は風化したカリ長石・長石・石英粒。													15.0				
	-13.71	22.22		礫混り砂質シルト	灰						礫は径0.3～0.5cmの石英粒。基質は細粒砂質シルト。径0.5cm以下の貝化石を含み，炭化した木片も含む。																	
	-14.68	23.48		砂混じりシルト							礫は径0.3～0.7cmの石英粒，全体に貝化石を多く含む。木片点在。下位ほど礫の混入多くなる。										227			22.5	70	0.0	泥水 16	16
	-16.09	25.33		シルト混り砂礫							礫は径0.3～0.7cmの石英粒。全体に貝化石，木片を含む。下位ほど腐植物混入多くなる。																	
	-16.92	26.41		有機質土混り砂	灰白						腐植物及び中粒砂を薄層に挟む。腐植土は厚さ2～6cm程度。全体に傾斜30度の葉理発達。																	

No.6(1/6)

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
30	-18.48	28.45		有機質土混り砂	灰白											27.05								
	-20.15	30.63		砂礫	褐灰						深度28.45～28.80m：細礫主体。深度28.80m以深：礫は径3～4cm，最大径8cm，アプライト主体，一部花崗斑岩含む。全体に新鮮硬質であるが，一部にアプライトのくさり礫を含む。基質は中～粗粒砂。					1/19 29.05	241	116／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	15.0	70	0.0	泥水16	16
	-20.68	31.32		礫混り砂	灰						礫は径0.5～0.5cm，最大径3cmのアプライト亜角礫。基質はシルト混じり砂。					1/22 30.70	99			17.5				
	-20.99	31.72		砂礫																20.0	130	0.0	泥水5	5
	-21.23	32.03		シルト質礫	灰黄褐															35.0	60	0.0	泥水5	0
	-21.43	32.29		礫混りシルト質砂																30.0	130	0.0	泥水5	0
	-21.76	32.73		礫混り砂	黄灰												105							
	-22.64	33.88		礫混り砂質シルト	灰黄褐						礫は径3～5cm，最大径15cmのアプライト，花崗斑岩。一部にくさり礫を含む。基質は砂混じりシルト。					1/23 34.65				20.0		0.0	泥水5	4
	-23.14	34.53		シルト混り砂	オリーブ黒						細～粗粒砂を含み，全体に淘汰不良。細粒砂質シルトを薄層状に挟む。砂はやや淘汰された細～中粒砂。										60	0.0	泥水16	16
	-23.52	35.03		礫混り砂質シルト	暗オリーブ黒															22.5	130	0.0	泥水5	5
	-25.11	37.10		礫混り砂	灰白						径20～35cmの巨礫を含む。礫はアプライト，花崗斑岩。基質はシルト混じり砂。					1/24 38.05	146				60	0.0	泥水16	16
					灰黄															27.5		0.0	泥水5	5
	-26.94	39.49		砂礫	明黄褐						礫は径1～3cm，最大径20cmのアプライト，花崗斑岩。一部にくさり礫を含む。基質は砂。						82							
40	-27.65	40.41		シルト混り砂礫	浅黄						礫は径8～10cm，最大径16cmの亜角礫。くさりアプライト礫主体。くさり礫が多くなる。					1/25 40.85				25.0				
	-27.96	40.82		礫混り砂質シルト	明黄褐						礫は径0.5cm以下の半くさり礫主体。						134							
	-29.80	43.22		シルト混り砂礫	にぶい褐						礫は径3～7cm，最大径37cm。アプライト，花崗斑岩の亜角～角くさり礫主体。基質はシルト質砂。					1/26 45.10				17.5				
	-30.89	44.65		砂礫	褐						礫は径3～5cm，最大径55cm。アプライトのくさり礫主体。一部に花崗斑岩の風化礫を含む。亜角礫主体。						149			25.0	130			
50				花崗斑岩	にぶい黄褐	Dg	Ⅲg	cg	δ	2	深度44.65～96.00m：花崗斑岩。径3～5mmの石英，長石，一部黒雲母の斑晶を1～3%程度含み，石基は径0.1mm程度である。深度69.60～76.25m間は径5～15mm程度の石英斑晶を40%程度含む。深度44.65～49.35m：変質により岩質脆くなる。深度46.49mまで節理に沿って流入粘土が認められる。	CL'	[CL]											
					灰黄褐	Cg																		
					明褐灰	Dg	Ⅰg													22.5		0.0	泥水3	3
							Ⅱg																	
							Ⅲg																	
							Ⅳg																	
						Eg	Ⅲg																	
						Dg	Ⅱg																	
						Cg	Ⅲg				深度50.82～51.08m，51.84～53.05m：変質により溶脱。コア粗しょう。	CM'												
						Dg																		
						Cg	Ⅳg				深度51.53～53.05m：節理に沿って白色粘土を挟む。	CL'												
						Dg																		
						Dg	Ⅲg										117							
						Cg	Ⅱg	bg				CM'								32.5				
							Ⅳg	cg																
								bg																
						Dg		cg		3	深度55.10～55.60m：変質帯。上盤80度，下盤58度。岩質脆く灰白色粘土を挟む。	CL'								40.0				
							Ⅲg		γ		深度55.27m，傾斜70度，幅3～5mmの灰白色粘土を挟む。		[CM]			1/29 55.55					245			
							Ⅳg																	
							Ⅲg													35.0				
						Cg	Ⅱg	bg																
								cg																
							Ⅲg	bg																
								cg																
60							Ⅳg			2	深度59.06～59.20m：節理多く，一部砂～礫状をなす。	CM'					177							
						Cg	Ⅲg	bg																
						Dg	Ⅳg	cg												45.0	360	0.0	泥水10	10
						Cg	Ⅲg	bg																
							Ⅱg				深度60.80～60.83m：傾斜57～60度の節理の空隙を非晶質の石英が充填。石英は厚さ0.3～2.0cmで累帯(級化)を生じる。													
							Ⅳg	cg																
						Cg	Ⅲg	bg														0.0	泥水10	5
							Ⅱg																	

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（標準貫入試験）試験 （N値）	（N値～深度 0 10 20 30 40 50）	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
											深度63.00～63.22m：傾斜75度程度の節理に沿って変質著しい。								1/30 63.83	177			45.0		0.0	泥水10	5
											深度64.80～66.10m：やや斑晶少なくなる。 深度64.92～66.36m：傾斜50～60度の平行した密着及び開口した節理が1～数cm間隔で発達。									105			42.5	360	0.0	泥水10	0
											深度69.57～69.78m：傾斜60～75度の節理に沿って変質を受ける。 深度69.60～76.25m:径0.5～1.5cmの石英の斑晶を多く含む。								1/31 70.63				50.0 37.5 32.5		0.0	泥水5	0
70																							25.0	150			
	-52.02	72.23		アプライト	にぶい黄橙						深度71.62m：シーム。傾斜72度。幅5～10mm，明灰色シルト中に厚さ1mm以下の暗褐色シルトが挟在。 アプライト，上位との境界傾斜80度。																
	-52.96	73.45									花崗斑岩，上位との境界破砕帯，傾斜63度。 深度73.43～73.45m：破砕帯(Hc)。上盤63度，下盤63度。幅12mm，浅黄・黄褐色シルト状。									111			35.0 32.5	130	0.0	泥水3	0
											深度76.65～76.75m,79.26～79.37m:部分的に斑晶多い。								2/1 76.11					245			
											深度77.58～79.73m：傾斜70～90度の高角度な密着した節理が連続する。									80			50.0				
																			2/2 79.03						0.0	泥水5	0
											深度80.00～82.10m：変質受け珪化している。									70			45.0 55.0	360	0.0	泥水7	0
80																			2/5 81.55		76／泥水	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	40.0				
											深度82.10～83.10m:変質により岩質やや粗しょう。												42.5	150	0.0	泥水5	0
	-61.04	84.00									深度83.63～90.00m：珪化変質受け，岩片硬質。 アプライト，上位との境界不明瞭。									70			45.0				
				アプライト															2/6 85.65								
					褐灰				β		深度86.78～88.94m:珪化変質受け、硬質。												67.5	245			
	-64.23	88.17									花崗斑岩，上位との境界漸移的。																
											深度88.94m：シーム。傾斜51度。幅3～10mm，礫混じり黒褐色シルト状。 深度88.94～94.80m：高角度な節理が多く，節理に沿って褐色化している。									105			55.0				
90																							45.0				
																			2/7 91.82						0.0	泥水7	0
																				82			57.5	360			
											深度95.00～98.12m：節理少なく，柱状コア。								2/8 94.70				50.0				
											深度96.00～101.65m:花崗斑岩。 径3～15mmの石英，長石，黒雲母の斑晶を50～60%程度含み，石基は径0.1～0.5mm程度で，下部に黒雲母を多く混入する。									63			60.0				
											深度98.12～98.65m：数cm間隔で節理発達。								2/9 98.78	136			45.0		0.0	1	0

コア採取率 ☆（%） 最大コア長 ⊖ cm RQD ⌐［%］

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
100				花崗斑岩	明褐灰	Cg	Ⅱg Ⅲg Ⅳg Ⅲg	bg	γ	2	深度101.12～101.53m：変質帯。上盤62度，下盤8度。幅1～2cm以下の節理密集。	CM'							ダブルコアチューブ／ダイヤビット	45.0	360			
						Dg Eg	Ⅳg Ⅵg	cg dg		3 4	深度101.53～101.70m：変質帯。上盤8度，下盤67度。砂・礫状。	CL'					136			30.0		0.0	泥水5	0
						Cg Eg	Ⅳg Ⅵg	cg dg		3 4	深度101.70～101.72m：シーム。傾斜67度。幅3～10mm，明黄褐色礫混じりシルト状。	D'												
					灰オリーブ	Cg Dg Cg Dg Cg Dg Cg Dg Cg Dg	Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg	cg			深度101.72～102.30m：変質帯。上盤67度，下盤8度。暗黄灰色を呈し，軟質化。 深度102.30～102.86m：変質帯。上盤8度，下盤64度。礫混じり砂質シルト状。	CL'								35.0				
					にぶい黄橙						深度102.86m：シーム。傾斜64度。幅1～2mm，明黄色シルト状。 深度103.25m：シーム。傾斜85度。幅3～9mm，黒褐色砂質シルト～シルト混じり砂状。				2/10 104.65				40.0	150	0.0	泥水3	0
					にぶい橙		Ⅱg Ⅲg	bg			深度105.37m：シーム。傾斜63度。幅0.3mm，黒色シルト状。						120			55.0		0.0	泥水5	0
					明褐灰		Ⅱg	cg	α		深度105.95～107.70m：花崗斑岩。 径3～15mmの石英，長石，黒雲母の斑晶を50～60%程度含み，石基は径0.1～0.5mm程度で，下部に黒雲母を多く混入する。 深度107.70～160.30m：花崗斑岩。 径5～15mmの石英，長石及び径1～2mmの黒雲母の斑晶を1～10%程度含み，部分的に斑晶の多い箇所がある。石基は径0.1mm，一部径0.2～0.5mm程度で，組織は全体に不均質である。									90.0		0.0	泥水7	2
110					にぶい橙	Cg	Ⅲg Ⅱg Ⅲg Ⅱg Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅲg	bg	β		深度112.50～113.54m：節理多く，短柱～柱状コアをなす。 深度113.54m以深，節理少なく，柱状～長柱状コア主体。	CM'			2/12 110.03		136	76／泥水		85.0				
					明褐灰		Ⅱg Ⅲg	cg bg			深度115.87～117.81m：比較的新鮮で，暗桃色を帯びる。													
					にぶい橙		Ⅱg Ⅲg Ⅱg	bg cg	α		深度120.00～123.22m：柱～長柱状コア主体。		[CM]		2/13 117.36		83				360			
120					明褐灰	Bg	Ⅳg Ⅱg Ⅰg	bg		2		CH'								80.0				
					にぶい橙		Ⅱg Ⅰg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅲg								2/14 122.82							0.0	泥水5	0
					にぶい黄橙	Cg	Ⅱg Ⅲg Ⅱg Ⅲg Ⅳg				深度123.94m：シーム。傾斜72度。幅0～4mm，明褐色砂・礫混じりシルト状。条線水平。幅1.0cmの非晶質石英，セリサイト付着。									57.5				
					灰白		Ⅱg										114							
					にぶい橙		Ⅲg		β															
					灰白		Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg	cg			深度127.70～133.55m：弱く変質を受け，一部脱色軟質化する。節理に沿って褐色化する。	CM'			2/15 128.92					65.0				
130						Cg	Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg	bg									107			70.0	160			
					にぶい橙		Ⅱg				深度134.60～136.80m：節理多く発達し，全体に褐色化著しい。				2/16 133.00		64			97.5				

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
140				花崗斑岩	にぶい橙	Cg	Ⅳg	bg	β	2	深度136.80～144.00m：全体に節理多く，短柱状コアをなす。節理に沿って褐色化し，一部黒褐色を呈する。	CM'						2/19 136.39	64	76／泥水	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	97.5	160	0.0	泥水 5	0
150					灰白	Dg	Ⅴg	cg			深度144.00～146.33m：全体に褐色化している。	CL'						2/20 142.45	96			62.5				
						Cg	Ⅲg	bg			深度146.33m以深，褐色化著しい強風化岩。	CM'							128			87.5				
							Ⅳg				深度148.94m：シーム。傾斜63度。幅3～5mm，明黄色粗砂混じりシルト状。	CL'	[CM]					2/21 148.55	152			80.0				
							Ⅴg				深度150.00～151.1m,152.20～155.00m:径0.5～1.5cmの石英，長石，黒雲母の斑晶を70%以上含む。											85.0				
						Dg					深度151.39m：シーム。傾斜75度。幅2～5mm，暗褐色シルト状。											55.0				
					淡黄	Cg		cg		3	深度151.39～151.84m：変質帯。やや粘土化している。											57.5				
						Dg		bg			深度151.84m：シーム。傾斜75度。幅1～3mm，褐～明黄色シルト状。											45.0				
						Cg					深度151.39～157.45m：全体に変質を受け脱色している。節理に沿って粘土を挟む。	CM'										40.0				
						Dg		cg				CL'										55.0				
						Cg	Ⅳg	bg				CM'						2/22 158.65								
							Ⅲg	cg			深度157.09m：シーム。傾斜55度。幅2～3mm，灰白色粘土状。	CL'														
							Ⅳg	bg				CM'														
						Dg		cg	γ			CL'														
160					灰白	Cg	Ⅱg			2	深度160.30～175.00m:花崗斑岩。径3～10mmの石英，カリ長石，黒雲母の斑晶を10～50%程度含み，石基は径0.1mm程度で，組織は比較的均質である。								135							
						Cg	Ⅳg	bg			深度160.25～164.40m：節理に沿って褐色化強い。	CM'						2/23 162.63				50.0		0.0	泥水 6	0
							Ⅲg				深度164.40～167.53m：全体に褐色化し，節理にて黒褐色化する。											55.0				
							Ⅳg															65.0				
						Cg	Ⅱg												134							
					明褐灰		Ⅲg	cg																		
					灰白	Eg				4	深度167.53～168.54m：破砕帯(Hc)。上盤51度，下盤52度。上盤側幅50mm+，粘土状，石英混じりシルト状。下盤側幅30mm+，石英岩片混じり灰白色シルト状。	D'										52.5	145	0.0	泥水 4	0
170					灰赤	Cg	Ⅵg	bg		2		CL'	[CL]					2/24 170.20	113			47.5	150	0.0	泥水 3	0
							Ⅴg	cg			深度170.00～170.58m：細礫～角礫状をなす。															
					にぶい黄橙	Dg	Ⅳg																			

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

No.6(5/6)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験) 試験 (N)値	N値～深度	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
	-130.75	175.00		花崗斑岩	にぶい橙 明赤灰	Dg Cg	Ⅲg Ⅳg Ⅴg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg	cg bg	γ	3 2	深度171.08～171.74m：変質帯。上盤37度，下盤39度。網目状にシルトを挟む。 深度173.10～175.00m：全体に弱く変質を受けている。	0 50 100 90 (0) 80 (0) 110 (21) 110 (13)	CL'	[CL] [CM]							2/26 175.00	113	76／泥水	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	42.5 65.0	130 150	0.0	泥水3	0

ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNo.

ボーリング名	No.7	調査位置				北　緯	
発注機関			調査期間			東　経	
調査業者名		主任技師	現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	+ 3.29 m	角度	180° 上 90° 下0° 25°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 59.8°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°
総掘削長	165.00 m	使用機種	試錐機		ハンマー落下用具		
			エンジン		ポンプ		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	(標準貫入試験) N値～深度	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
				埋土	にぶい黄褐 明黄褐 にぶい黄褐 明黄褐						花崗岩片，まさ等。				12/22 11/25						450	140／ケーシング		50.0		0.0	無水 0	0
	0.81	2.74																										
	0.07	3.55		有機質土混リシルト	黒褐						植物片や木片を含む。																	
	-0.08	3.72		有機質土	褐灰						腐植土，砂を含む。																	
	-0.43	4.10		砂質シルト							泥炭状の腐植土。															0.0	泥水 13	13
	-0.62	4.31		有機質土	黒褐															10/31								
	-0.81	4.52		砂混じり有機質土	灰黒															4.50								
	-1.36	5.13		有機質土混リ細砂	褐灰						粗粒砂に腐植物片を含む。																	
10				砂	にぶい黄橙						粗粒砂～細礫。										367							
											深度9.36m以深，褐色化強くなる。所々に径1～1.5cm程度の花崗斑岩礫を含む。									11/1				10.0			
																				10.10								
					橙																							
	-8.37	12.86			にぶい黄橙																							
	-9.26	13.85		有機質土混リ砂	灰色					2	炭化物を含む粗粒砂。										458				60	0.0	泥水 16	16
				砂	にぶい黄橙						粗粒砂。所々に炭化物を挟む。											114／ケーシング						
											深度16.16m以深，シルト分を含む。									11/2								
	-12.04	16.92																		16.60								
				シルト質砂	暗緑灰						貝殻片や木片を含む。																	
											深度18.20m，厚さ0.1～0.5cmの炭化物層を挟む（傾斜30度）。										516							
20											深度20.13m以深，貝殻片を含まない。													30.0				
					浅黄															11/3								
	-16.17	21.47																		21.50								
	-16.60	21.95		砂	灰色						礫を所々に含む。									11/6	210							
				砂礫	灰黄						礫は径5cm程度，基質はシルト質砂。									22.20						0.0	泥水 5	5
	-17.47	22.91																										
	-17.75	23.22		砂質礫																								
				砂							砂は細粒砂。										215		ダブルコアチューブ／メタルビット	20.0		0.0	泥水 16	16
	-18.40	23.93																										
	-18.69	24.25		砂質シルト	にぶい黄橙																							
	-18.91	24.50		砂礫																								
	-19.01	24.60		砂質シルト							炭化物を含む。									11/7								
	-19.28	24.90		砂	灰白						径3～5cm，最大径15cmの礫を含む砂礫。基質は粗粒砂，一部に風化礫を含む。									25.00						0.0	泥水 3	3
				砂礫	灰黄																155			30.0		0.0	泥水 16	16
	-20.98	26.78		礫混り砂																						0.0	泥水 3	3
																										0.0	泥水 16	16

No.7(1/5)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
	-23.39	29.44		礫混り砂	灰黄						径3cm程度の礫を含む砂層。砂は粗粒砂。 深度27.65～27.88m：炭化物を含む砂質シルトを挟む。							11/8 28.60	155		ダブルコアチューブ／メタルビット	30.0	60	0.0	泥水13	13
				砂	にぶい黄橙						炭化物を含む粗粒砂。													0.0	泥水2	2
30	-23.94	30.05		玉石混り砂礫							径3～10cm，最大径30cmの礫を含む砂礫。基質は中～粗粒砂。礫の混入率は60%。								120					0.0	泥水13	13
	-26.13	32.46		砂														11/9 32.20		ダブルコアチューブ／ダイヤビット		130	0.0	泥水2	2
	-26.72	33.11		砂礫	明緑灰						中粒砂でシルトを挟む。															
	-27.19	33.63		砂礫							径1～5cmの礫を含む砂礫。								104							
				礫混り砂	灰白						径2～5cm程度の礫を含む砂層。風化礫を多く含む。基質は粗粒砂。							11/10 35.15				60	0.0	泥水13	13
					明緑灰																					
	-29.86	36.58			灰赤																30.0		0.0	泥水2	2
				砂	灰オリーブ						細～粗粒砂とシルトの互層。細粒砂及びシルトに炭化物を含む。								130							
	-30.95	37.78			灰黄褐																		0.0	泥水13	13
				玉石混り砂礫	明褐灰						径3～5cm，最大径8cmの礫を含む砂礫。基質は粗粒砂。							11/11 39.15					0.0	泥水2	2
40	-33.87	41.00																	74							
	-34.45	41.64		砂	明緑灰						細粒砂，粗粒砂，砂礫の互層。							11/12 41.25								
				玉石混り砂礫	黄褐						径3～5cm，最大径10cmの礫を含む砂礫。礫の風化は弱い。								104							
					灰白						深度43.84～43.12m：シルト～細粒砂を挟む。															
					黄橙																					
					橙					2	深度45.09～45.15m：シルトを挟む。 深度45.25～45.37m：細粒砂を挟む。							11/13 44.80		114／ケーシング		130	0.0	泥水4	4
					黄褐														76							
	-39.00	46.66			有機質土混り砂						炭化物を含む中～粗粒砂。															
	-39.72	47.46			灰白													11/14 48.04								
				玉石混り砂礫	明黄褐						径3～5cm，最大径19cmの礫を含む砂礫。基質は粗粒砂。くさり礫の割合が多い。										35.0					
	-41.88	49.84																								
50				砂	橙						中～粗粒砂。傾斜14～37度の構造あり。								82							
	-43.22	51.32																								
				砂礫	浅黄橙						最大径40cmの巨礫を含む砂礫。基質は砂。固結度は高い。							11/15 52.34								
	-45.19	53.49			にぶい褐	Cg	IVg	cg	δ		深度53.49～66.10m:アプライト。 石基は径0.2～0.5mm程度で，径3～7mm程度の石英，長石及び径0.5～1mmの黒雲母の斑晶が点在する（0.5%以下）。															
				花崗斑岩	灰白	Dg	IIIg												115		15.0		0.0	泥水3	3
							Ig	bg			深度55.10～56.10m：全体に風化し，軟質で黄褐色を呈する。															
	-47.01	55.50					IIg																			
					明黄褐		VIg											11/16 56.45								
							IIg				深度56.31～61.50m：全体に風化し，軟質化している。節理に沿って黒褐色を帯びる。		[D]													
						Eg	Ig	cg																		
							IIIg						D'													
							Ig		γ																	
				アプライト															205		30.0	60	0.0	泥水13	13
							IIIg																			
						Dg	IIg	bg					CL'													
							IVg											11/20 60.90								
							IIg																			
						Eg	VIg				深度61.50～62.70m：コア流出。		[CL]													
					にぶい黄橙	Cg	IVg						CL'						129	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	20.0		0.0	泥水2	2
																					35.0	130				

コア採取率 ⊸（%） 最大コア長 ⊸ cm R Q D ⊏［%］

No.7(2/5)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
70	-56.62	66.10		アプライト	にぶい黄橙	Dg	Ⅲg	bg	γ	2	深度63.70～65.40m：節理に沿って黒褐色化顕著。	CL'				11/21 63.90	129	76／泥水	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	35.0	130	0.0	泥水2	2
					にぶい黄橙	Cg	Ⅳg	cg																
					にぶい黄橙		Ⅲg																	
					浅黄橙	Dg	Ⅰg				花崗斑岩，上位との境界不明瞭。 深度66.10～69.80m：花崗斑岩。 径3～5mmの石英，長石，黒雲母の斑晶を40～50%程度含み，石基は径0.5mm程度である。 深度66.72m以深，風化弱く，褐色を帯びるが，全体に柱状で硬質コアをなす。		[CL]									0.0	泥水3	3
							Ⅳg					CM'												
				花崗斑岩			Ⅱg										144				250			
					にぶい黄橙	Cg	Ⅲg																	
					褐灰		Ⅳg																	
					明黄褐																			
	-59.97	69.80						bg				CL'								20.0		0.0	泥水3	1
				アプライト	浅黄橙	Dg	Ⅲg				アプライト，上位との境界不明瞭。 深度69.80～165.00m：花崗斑岩主体で，一部にアプライトを挟む。 花崗斑岩は，径3～5mm程度の石英，長石，黒雲母の斑晶を1～5%程度含み，石基は径0.1mm程度で一部径0.2～0.5mm程度を示す。全体に流理は不明瞭である。 深度71.15～71.40m：傾斜50度程度の節理発達。 花崗斑岩，上位との境界不明瞭。														
						Cg										11/22 72.20								
						Dg		cg				CM'												
						Cg																		
						Dg																		
						Cg						CL'										0.0	泥水5	4
					にぶい黄橙								[CM]											
					淡橙	Dg		bg																
	-61.51	71.50																						
						Cg	Ⅳg				深度75.00～78.22m：全体に褐色化顕著。傾斜60～70度の節理発達。	CM'					198				360			
					にぶい黄橙		Ⅱg																	
						Dg	Ⅳg													30.0				
							Ⅱg					CL'												
					灰白	Eg	Ⅰg			3	深度78.22～78.24m：破砕帯(Hc)。上盤62度，下盤60度。幅15mm，暗褐色シルト～黄褐色砂質シルト状。 深度78.24～79.48m：破砕帯(Hj)。上盤60度。下盤68度。節理密集部，礫状。 深度79.48～79.56m：破砕帯(Hb)。上盤68度，下盤66度。幅53mm，褐灰色シルト質礫及び暗褐色シルト状。		D'									0.0	泥水4	3
					淡橙											11/23 79.30								
					灰白	Dg		cg												25.0	130	0.0	泥水2	0
80					にぶい黄橙	Eg																		
						Dg					深度81.00～82.60m：やや軟質化し，節理に沿って黒褐色を帯びる。		[CL]											
					灰白	Cg	Ⅳg										148							
							Ⅱg				深度83.15～84.60m：全体に風化し，軟質化している。	CL'												
					にぶい黄橙	Dg	Ⅰg																	
					灰白	Cg	Ⅲg	bg								11/24 85.35								
						Bg Cg Dg	Ⅳg	Cg Dg			深度85.30～87.42m：節理多く角礫～短柱状コアをなす。													
					にぶい黄橙		Ⅱg																	
							Ⅳg	cg			深度85.00～100.00mまで斑晶少ない。													
							Ⅲg																	
							Ⅳg				深度88.00以深，密着した節理が多い。													
							Ⅲg	bg				CM'								30.0				
						Cg	Ⅳg			2							208							
							Ⅱg																	
90							Ⅳg	cg				CL'												
								bg			深度91.47m：幅4mmの石英脈あり。	CM'									360	0.0	泥水3	1
								cg																
											深度92.85～92.95m：幅1～7mmの石英脈あり。 深度93.00～100.00m：幅数mm程度の石英脈を所々に挟む。	CL'	[CM]			11/25 95.65								
						Dg																		
					にぶい橙	Cg																		
						Bg Cg Dg	Ⅲg				深度95.00～97.50m：傾斜30～60°程度の密着した節理が多い。	CM'												
					灰白	Cg		bg									149			35.0				
						Dg	Ⅳg					CL'												
					にぶい橙	Cg	Ⅲg				深度98.50～98.83m付近に高角度な幅2.5～5cmの石英脈あり。	CM'												
					浅黄橙		Ⅳg																	

コア採取率 ☆（%） 最大コア長 cm RQD [%]

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
100				花崗斑岩	浅黄橙	Cg	Ⅳg	bg	γ		深度99.00～103.00m：全体に褐色化し，傾斜30～50度の節理が多い。						149			35.0				
							Ⅱg																	
							Ⅳg													50.0				
							Ⅱg									11/27 02.71								
						Cg	Ⅲg																	
							Ⅳg																	
							Ⅲg				深度103.00～105.00m：傾斜60～70度の高角度な節理が多い。	CM'								55.0		泥水3	1
							Ⅱg	bg																
					明赤灰	Cg	Ⅰg				深度105.00～112.00m：密着した節理は少ない。節理に沿って黒褐色，黄褐色を帯びる。						115				360			
					にぶい橙		Ⅱg																	
					にぶい黄橙		Ⅲg													67.5				
					明赤灰	Bg	Ⅱg			2		CH'												
					にぶい橙		Ⅰg		β			B'												
							Ⅱg					CH'				11/28 08.85								
				浅黄橙			Ⅳg	bg																
							Ⅲg																	
110							Ⅳg				深度109.50～115.00m：高角度な節理が多い。									70.0		泥水4	0	
						Cg	Ⅲg										80							
							Ⅳg					CM'												
							Ⅱg				深度110.40～111.35m：斑晶少ない。													
																						泥水4	2	
								bg			深度112.00～115.20m：全体に橙色を帯びる。					11/30 113.00								
								cg				CL'												
				にぶい橙		Cg	Ⅳg										84			50.0	160	0.0	泥水3	3
								bg				CM'												
									γ		深度115.80～117.00m：変質帯。上盤77度。全体に軟質。節理に沿って淡緑色粘土を挟む。													
						Dg	Ⅴg			3		CL'												
								cg					[CM]			12/1 16.96				20.0				
						Cg	Ⅱg																	
										2	深度118.30m：シーム。傾斜50度。幅1～10mm，灰白色粘土状。	CM'					103			35.0		泥水2	0
							Ⅲg	bg																
						Dg																		
						Cg										12/4 20.04								
						Dg																		
120					淡緑褐	Eg		cg	δ	4	深度119.74m：シーム。傾斜52度。幅1～3mm，灰白色粘土状。													
						Dg	Ⅰg				深度119.74～120.58m：変質帯。黄褐色粘土状。石英粒子残る。	D'												
					にぶい橙		Ⅱg				深度120.58m：シーム。傾斜65度。幅1～10mm，灰白色粘土状。													
											深度120.58m以深，傾斜20～50度程度の低角度な節理が多くなる。全体に浅黄橙色を呈する。										140			
							Ⅳg	bg												30.0				
											深度122.50～124.80m：やや褐色を帯びる。						103							
																						泥水3	0	
							Ⅲg																	
							Ⅳg					CM'												
							Ⅲg													40.0				
							Ⅳg																	
							Ⅲg									12/5 26.07								
							Ⅳg																	
							Ⅲg	bg																
							Ⅴg																	
											深度127.00～129.40m：全体に傾斜30～50度の密着した節理が多い。						160			50.0				
						Cg	Ⅲg		γ	2														
								cg																
								bg								12/6 28.87					160			
							Ⅴg					CL'												
																						泥水3		
							Ⅲg				深度129.40m：節理に沿って幅2mmの褐色，灰白色粘土を挟む。									45.0				
130								bg									124							
							Ⅳg									12/7 31.57								
							Ⅲg													70.0		泥水3	2	
							Ⅲg				深度132.00～133.00m：傾斜70～90度の高角度節理あり。	CM'												
																				90.0				
							Ⅳg										65				165			
								bg												35.0				
							Ⅴg																	
							Ⅲg																	
							Ⅳg																	

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　R Q D [%]

標準貫入試験 N値～深度

原位置試験（孔内水平載荷）　室内試験

ダブルコアチューブ／ダイヤビット

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
140				花崗斑岩	浅黄橙	Cg Dg Cg Dg Cg Dg

ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNo.	

ボーリング名	No.8	調査位置						北緯	
発注機関				調査期間				東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	+ 19.14 m	角度	180° 上 90° 下0° 30°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 59.8°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機 / エンジン / ハンマー落下用具 / ポンプ
総掘削長	200.00 m								

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	N値～深度	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
	19.07	0.08	表土	表土	黒褐																						
	18.94	0.23	粗砂～中砂	粗砂～中砂	褐																						
	18.78	0.42	砂質シルト	砂質シルト	赤褐						細～中粒砂と腐植混じり砂質シルトの互層。木炭が点在する。																
	18.62	0.60	中砂	中砂	褐灰～灰白															195							
	17.98	1.34	細砂～中砂 有機質土混じり シルト～粗砂	褐灰							中～粗粒砂。木炭を1%程度含む。																
	17.33	2.09	中砂	中砂	明赤褐						木炭が点在する。								9／16 2.60		140／ケーシング	ダブルコアチューブ／メタルビット					
			砂質シルト	砂質シルト	にぶい赤褐・黄状に混																						
	16.67	2.85	粗砂	粗砂	灰						塊状。																
					明赤褐																						
	15.68	4.00	細砂	細砂	灰白						粗粒砂が混じる。									131							
	14.91	4.89																	9／19 5.00								
	14.46	5.40	砂礫	砂礫							径0.2～6cmの亜角礫を含む。																
			礫混り・砂利混り中砂	砂礫	にぶい黄橙						粗粒砂が混じる。													60			
	13.08	7.00									礫は径0.2～26cm，亜角～角礫，礫種は花崗斑岩，アプライト。基質はシルト混じり細～中粒砂。									88							
10					橙						深度8.56～8.60m：土壌を挟む。										115／ケーシング						
																			9／20 11.00								
	8.81	11.93										11.94	11.93														
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	Ⅳg	bg	δ		深度11.93～61.10m:花崗斑岩。厚さ0.4～2.0mの黒雲母花崗岩を挟む。																
					にぶい橙		Ⅲg																				
					にぶい黄橙	Cg					花崗斑岩は，径5～10mm程度の石英，カリ長石，一部斜長石，径1～2mmの黒雲母の斑晶を10～30%程度含み，石基は径0.1mm程度である。	CL'														
						Dg	Ⅱg	cg				13.81															
					にぶい橙	Cg	Ⅳg	bg			深度13.02～13.16m：長石の粘土化著しい。																
							Ⅱg				深度13.10～13.16m：幅6cm，軟質化。									102							
							Ⅳg				深度13.34～13.61m：長石の粘土化著しい。	CM'															
						Dg	Ⅲg				深度15.26m：傾斜32～16度，幅30mm砂礫状。	15.26															
						Cg	Ⅳg				深度15.41m：傾斜32～38度，幅30mm砂礫状。																
											深度15.81m：石英脈，傾斜69度，幅5～10mm。	CL'															
					浅黄橙	Dg	Ⅱg	cg			深度16.43～17.80m：長石が変質。黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜64度。																
	4.07	17.40		黒雲母花崗岩								17.81															
					橙		Ⅳg	bg																			
					淡橙	Cg	Ⅲg				深度18.30～20.00m：長石が変質。	CM'							9／21 18.50								
							Ⅳg	cg				18.80	[CL]														
					浅黄橙	Dg	Ⅱg																				
	2.08	19.70									花崗斑岩，上位との境界傾斜57度。													100			
					黄橙		Ⅲg	bg	γ	2	深度20.10～20.16m：幅40mm，シルト混じり砂礫状，幅10mmの礫混じり褐色粘土を挟む。										76						
							Ⅱg																				
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	Ⅳg	cg				CL'								128							
							Ⅱg																				
							Ⅳg				深度23.40～23.55m：酸化マンガンが細脈網目状に入る。																
					にぶい橙		Ⅱg	bg			深度23.82～23.90m：節理に酸化マンガンを挟む。																
							Ⅳg																				
					にぶい黄橙		Ⅲg																				
							Ⅱg	cg			深度25.40～25.90m：変質を受け，節理に沿って灰白色粘土を挟む。																
					にぶい橙		Ⅳg	bg				25.90	25.90														
					明黄褐	Cg	Ⅲg					CM'	[CM]						9／22 26.80	103							
					にぶい橙		Ⅳg					27.00	27.00														

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 N値	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
	-4.78	27.62		花崗斑岩	にぶい橙	Cg	Ⅲg	bg	γ	2	深度27.62～27.70m：ペグマタイト，上位との境界傾斜20度。 深度27.92m：ペグマタイト脈，傾斜20度，幅2cm。	CM'	[CM]								ダブルコアチューブ／ダイヤビット	30.0	100	0.0	泥水5	5
	-4.85	27.70		ペグマタイト		Bg	Ⅳg																			
	-5.20	28.11		アプライト		Cg	Ⅲg												103							
30	-6.25	29.32		花崗斑岩		Dg	Ⅳg				黒雲母花崗岩は，径5～10mm程度の石英，カリ長石一部斜長石の斑晶と径2～3mm程度の黒雲母の斑晶からなる。 深度61.19～61.57m：節理に酸化マンガン多い。															
	-7.19	30.40		黒雲母花崗岩		Bz					花崗斑岩，上位との境界不明瞭。 深度30.70～31.45m：変質を受け，節理に沿って灰白色粘土を挟む。 深度31.46～33.91m：斜長石が緑灰色に変質している。	30.68														
				花崗斑岩	にぶい褐	Cg	Ⅳg	cg				CL'														
	-9.83	33.45		黒雲母花崗岩							黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜37度。	31.46						9/25				40.0	130			
	-10.79	34.56		花崗斑岩	にぶい橙		Ⅲg	bg			花崗斑岩，上位との境界傾斜16度。		[CM]					33.50				30.0				
	-13.40	37.57		黒雲母花崗岩	橙	Bg	Ⅳg				深度36.45～37.54m：節理に沿って酸化マンガン付着。 黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜45度。 深度38.28m：傾斜62度の節理に沿って上盤側が幅10mm軟質劣化。 深度38.28～38.54m：斜長石が緑灰色に変質している。	CM'							82			50.0	150	0.0	泥水5	3
40	-15.15	39.60		花崗斑岩	明黄褐	Cg	Ⅱg				花崗斑岩，上位との境界傾斜ほぼ水平。	41.15	41.15					9/26								
	-18.88	43.90		高温母花崗岩	にぶい橙	Dg	Ⅳg	cg		3	深度41.87～42.65m：節理が多く，角礫～細礫状。 深度43.07～43.40m：節理が多く，角礫～細礫状。 深度43.44～43.65m：破砕帯(Hb)。上盤54度，下盤63度。全体幅100mm，シルト混じり砂礫状。礫径は7mm以下。下盤側幅20mm礫質灰白色粘土状。 黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜70度，下位との境界傾斜37度。	CL'	[CL]					40.50	107	76						
	-19.63	44.77		花崗斑岩	浅黄	Cg	Ⅲg	bg				46.92	46.92													
50					にぶい黄橙		Ⅲg			2	深度48.62～48.79m：節理が多い。	CM'						9/27								
							Ⅳg	cg			深度51.04～51.06m：傾斜11～33度，砂状を呈する。 深度51.19～51.23m：傾斜44～71度，砂礫状を呈する。 深度52.24～54.40m：変質を受け，節理に灰白色粘土を挟む。	52.24						49.40				35.0	130	0.0	泥水5	0
					浅黄橙	Dg	Ⅴg	bg		3	深度53.09～53.29m：破砕帯(Hj)。上盤52度，下盤62度，全体幅200mm。傾斜約60度の面構造発達。 深度53.29m：傾斜62度，幅2～3mm，褐色粘土状，直線的でシャープな面。 深度53.29～53.41m：破砕帯(Hj)，傾斜約60度の面構造発達，正断層の変位センスあり。 深度55.00～59.20m：弱風化している。 深度56.15～56.18m：節理が多い。	CL'	[CM]						110							
					にぶい橙	Cg	Ⅳg					54.42														
							Ⅱg																			
							Ⅲg				深度57.05～57.21m：変質のためやや軟質。															
						Dg	Ⅳg					CM'														
						Cg	Ⅴg	bg		2	深度58.00m：酸化マンガン脈，傾斜62度，幅0.1～0.2mm。 深度58.95～59.36m：節理が多い。							9/29								
						Bg	Ⅳg											58.60								
60					にぶい赤褐	Cg	Ⅴg				黒雲母花崗岩，上位との境界不明瞭。 深度61.10～131.65m：黒雲母花崗岩。 厚さ1.0～7.3m程度の花崗斑岩やアプライトを挟む。								104							
	-33.77	61.10		黒雲母花崗岩	灰黄褐		Ⅲg					61.41	61.41													
							Ⅳg																			
						Dg	Ⅴg					CL'	[CL]													
												63.90	63.00										100			

コア採取率 ▲（%） 最大コア長 ⊸ cm RQD ┗［%］

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（標準貫入試験）試験 （N値）	（N値～深度 0 10 20 30 40 50）	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
70				黒雲母花崗岩	灰黄褐	Cg Dg Cg Dg	Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅲg Ⅳg	bg			深度62.35m，62.39m：シーム。幅0.1～1mmの灰白色粘土状。逆断層のセンスあり。	CL'	63.00						9/30 65.00	104		ダブルコアチューブ／ダイヤビット	35.0	100	0.0	泥水5	0
					褐	Eg Cg Dg	Ⅵg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅰg	cg bg		2	深度64.95～64.99m：変質帯。上盤55度，下盤62度，全体幅20～30mm。灰白色粘土状。 深度66.00～66.30m：節理密集部で砂礫状をなす，一部粘土を挟む。 深度66.44～66.57m：砂礫状部。	D'	66.00 66.57							86				130			
					灰褐 にぶい褐	Cg Dg Cg	Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅳg	bg				CL'							10/2 70.60								
					にぶい褐 灰褐	Dg	Ⅴg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg	cg bg		3 2	深度71.90～72.19m：変質帯。上盤14度，下盤30度。原岩組織は不明瞭，一部砂状。 深度74.70m：方解石脈，傾斜55度，幅5～10mm。									89				100			
					にぶい黄橙 にぶい黄褐 にぶい黄橙	Eg	Ⅵg	cg		3	深度75.34～77.75m：破砕帯(Hb)。上盤48度，下盤89度。一部に灰白色粘土幅1～10mm，褐色粘土幅0.1～1mmを挟む。非対称変形構造からみかけ正断層の変位センスあり。	D'	75.34 77.75						10/3 77.60								
	-48.46	78.06		花崗斑岩	にぶい橙	Dg Cg Dg	Ⅲg Ⅰg Ⅳg Ⅱg Ⅳg	bg		2	花崗斑岩，上位との境界波打つ。	CL'	78.90														
80	-49.88	79.70		黒雲母花崗岩		Cg	Ⅲg Ⅴg	cg	γ		黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜54度。	CM'	80.21	[GL]						81	76		35.0				
					にぶい黄橙	Dg	Ⅴg Ⅲg Ⅱg Ⅳg	bg cg bg		3	深度80.45～81.46m：変質帯。上盤72度，下盤42度。節理に灰白色粘土を挟む。																
	-52.74	83.00		花崗斑岩		Cg Dg	Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg	cg bg		2	花崗斑岩，上位との境界傾斜20度。								10/4 83.00								
						Dg	Ⅲg Ⅱg	cg		3	深度83.94～85.71m：変質帯。上盤18度，礫状，節理に沿って灰白色粘土を挟む。石英脈あり。 深度84.76m：石英脈，傾斜64度，幅40～50mm。 深度85.27m：石英脈，傾斜80度，幅1～10mm。 深度85.71～90.00m：全体に節理多く，節理に沿って粘土を挟む。	CL'															
					淡黄 明黄褐 浅黄	Eg Dg Cg Dg	Ⅰg Ⅳg Ⅱg	bg																			
					浅黄橙	Cg Dg	Ⅳg					CM'	88.18 88.93														
90	-59.11	90.35		黒雲母花崗岩	明黄褐	Eg	Ⅱg	cg			深度90.00～91.08m：節理に粘土を挟み軟質。 黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜75度。								10/5 90.10	89				100			
						Dg	Ⅳg Ⅱg			2	深度92.02～92.89m：節理に酸化マンガン多い。	CL'								82							
	-61.53	93.15		花崗斑岩		Cg	Ⅳg				花崗斑岩，上位との境界傾斜20度。		93.39						10/6 93.10								
	-62.33	94.07		黒雲母花崗岩	にぶい黄褐	Dg Cg Eg	Ⅲg Ⅴg	bg			黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜40度。	CM'								67							
					浅黄橙 黄褐	Cg	Ⅲg Ⅳg Ⅲg				深度95.55～95.61m：砂礫状。		95.44														
					黄褐 明黄褐	Dg	Ⅴg Ⅲg Ⅳg					CL'							10/7 96.90								
						Cg Dg Cg	Ⅰg Ⅱg Ⅳg					CM'	97.56 99.00							93							

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 N値	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
100	-67.59	100.15		黒雲母花崗岩	明黄褐	Dg	Ⅳg	bg		2	深度99.80～100.13m：破砕帯(Hj)。上盤68度，下盤60度。幅10mm，粘土細脈網目状。															
					淡黄		Ⅵg	cg		3	花崗斑岩，上位との境界は破砕帯，傾斜60度。															
				花崗斑岩	明黄褐		Ⅰg					CL'														
					灰黄褐			bg																		
					橙	Cg	Ⅲg																			
					にぶい黄橙	Dg	Ⅰg	cg			深度101.59m：シーム。56度，幅2～5mm褐色粘土状。								93							
					橙	Cg	Ⅱg	bg																		
							Ⅳg																			
	-70.45	103.45					Ⅲg				黒雲母花崗岩，上位との境界漸移的。	CM'														
				黒雲母花崗岩																						
					にぶい黄橙	Dg	Ⅳg				深度104.72m：酸化マンガン・石英脈，傾斜58度，幅1～10mm。							10／10		76						
					橙	Dg	Ⅲg				深度105.27m：酸化マンガン脈，傾斜12度，幅1～10mm。	CL'														
							Ⅱg	cg																		
							Ⅳg																			
						Cg	Ⅲg	bg			深度107.55m：酸化マンガン脈，傾斜25度，幅1～10mm。	CM'														
							Ⅳg				深度107.99m：酸化マンガン脈，傾斜28度，幅2～5mm，2条あり。								88							
					黄	Dg	Ⅵg	cg			深度108.22m：石英脈，上盤57度，下盤36度，幅0～80mm，閉じる。		[CL]													
					明黄褐	Dg	Ⅳg	bg			深度108.46m：シーム。傾斜63度，幅0.1～2mmの灰白色粘土状。	D'														
					にぶい黄橙	Eg	Ⅵg	dg			深度108.85m：シーム。傾斜34度，幅2～5mmの褐色粘土状。															
					明黄褐	Dg	Ⅳg	bg																		
110						Eg	Ⅵg	cg																		
					橙	Dg	Ⅱg	bg																		
						Cg	Ⅳg					CM'						10／11								
							Ⅲg																			
						Dg					深度112.30～112.61m，112.95～113.24m：砂礫状コア。															
						Eg	Ⅵg																			
						Dg	Ⅳg					D'							67							
						Eg	Ⅵg																			
	-79.19	113.54		アプライト	明黄褐	Dg	Ⅳg				アプライト，上位との境界傾斜67度。	CL'														
							Ⅲg											10／13								
	-79.99	114.47			淡黄橙	Eg	Ⅵg	dg		γ	黒雲母花崗岩，上位との境界は破砕帯，傾斜48度。	114.61						114.40								
				黒雲母花崗岩	明黄褐	Cg	Ⅳg				深度114.47～114.67m：破砕帯(Hj)。上盤48度，下盤18度。傾斜67度，幅2～10mmの褐色粘土状。	CM'														
							Ⅲg					115.40														
					橙	Dg	Ⅳg	bg			深度120.37～120.43m：破砕帯(Hc)。上盤56度，下盤20度。幅30mm灰白色粘土状。															
							Ⅵg																			
							Ⅳg																			
						Cg					深度120.43～121.21m：破砕帯(Hb)。上・下盤20度。砂礫状。	CL'							70			35.0	100	0.0	泥水5	0
						Dg	Ⅲg			2											ダブルコアチューブ／ダイヤビット					
											深度124.30～124.31m：破砕帯(Hc)。上盤18度，下盤23度。幅10～15mm褐色粘土状。															
					明黄褐	Eg	Ⅰg					118.59														
							Ⅱg				深度124.35～124.37m：破砕帯(Hc)。上盤46度，下盤56度。幅10～15mm褐色粘土状。							10／14								
							Ⅴg																			
							Ⅵg																			
120					橙	Dg	Ⅲg				深度124.37～124.61m：破砕帯(Hj)。上盤56度，下盤55度。礫状。	D'						119.55								
					にぶい黄橙	Eg	Ⅵg	dg		3																
						Eg	Ⅵg	dg			深度124.61～124.62m：破砕帯(Hc)。上盤55度，下盤57度。幅5～10mmの褐色粘土状。								76	76／セメンティング						
						Dg	Ⅳg	bg			深度124.62～125.00m：破砕帯(Hj)。上盤57度，下盤不明。礫状。	121.62														
							Ⅱg																			
							Ⅲg																			
							Ⅳg																			
						Eg	Ⅵg	dg			深度125.00～125.11：破砕帯(Hc)。上盤不明。下盤19度。礫混じり固結シルト状。	CL'														
						Cg	Ⅳg	bg		2																
						Eg	Ⅵg	dg			深度125.11～125.12m：破砕帯(Hc)。上盤19度，下盤21度。幅5～15mm褐色粘土状。	123.15														
												D'						10／16								
						Dg	Ⅳg	bg				123.69														
					褐							CL'														
					黄褐～にぶい黄褐		Ⅵg	dg			深度125.12～125.19m：破砕帯(Hc)。上盤21度，下盤10度。浅黄橙色固結シルト状。	124.30	124.30													
					明黄褐	Eg	Ⅳg	bg																		
					淡黄						深度125.19～125.20m：破砕帯(Hc)。上盤10度，下盤12度。幅5～15mm褐色粘土状。															
					浅黄					3																
					にぶい黄橙	Eg	Ⅰg	cg			深度125.20～125.43m：破砕帯(Hb)。上盤12度，下盤32度。シルト質礫状。	D'							77							
											深度125.43～125.52m：破砕帯(Hc)。上盤32度，下盤27度。幅90mmの褐色粘土状。															
					浅黄	Dg	Ⅳg			2	深度125.52～127.45m：破砕帯(Hj)。上盤27度，下盤58度。礫状，部分的に原岩残す。	127.45														
							Ⅱg																			
											深度128.46～131.65m：破砕帯(Hb)。上盤16度，下盤48度。幅0.1～20mm。原岩組織不明。	CL'														
					にぶい黄橙		Ⅰg					128.46	[D]													
							Ⅵg				深度131.65～131.68m：破砕帯(Hc)。上盤48度，下盤56度。全幅15～20mm。上盤から幅0.1～10mmの褐色粘土状，幅0～3mmの灰白色粘土状，幅10～15mmの灰白色粘土状，幅1～12mmの褐色粘土状，直線的でシャープである。															
					浅黄		Ⅱg																			
					浅黄橙	Eg	Ⅰg	dg		4		D'						10／17	65							
											深度131.68～132.09m：破砕帯(Hb)。上盤56度。下盤6度。															
											深度131.68～131.90m：固結灰白色粘土状。															
	-94.87	131.65			灰白～暗緑灰白		Ⅵg				深度131.90～132.09m：固結砂礫状。	132.09	132.09					129.00								
				アプライト	灰黄						深度131.65～136.53m：アプライト															
					灰オリーブ	Dg	Ⅳg	cg		3	全体に変質受けて暗オリーブ灰～灰オリーブ色帯びる。細粒緻密で斑晶は認められない。全体に破砕状で，頻繁に方解石脈を挟む。							10／18								
					オリーブ褐		Ⅴg	bg										131.80								
					オリーブ灰						深度133.89～133.92m：変質帯。上盤19度，下盤30度。幅40mm，緑灰色シルト質細礫状。方解石脈に平行。	CL'	[GL]						66	76							
					暗オリーブ灰		Ⅳg	cg																		
					灰白			bg		2																
					暗オリーブ灰	Cg						135.00	135.00					10／19								
					黄褐													135.00								

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
140				アプライト	暗灰黄	Dg	Ⅳg	cg	γ	2	深度134.09～134.11m：変質帯。上盤25度，下盤16度。幅10～30mm，緑灰色シルト混じり細礫状。方解石脈に平行。境界凹凸あり。
							Ⅱg				
					オリーブ	Eg	Ⅰg			3	深度134.25～134.28m：変質帯。傾斜17度，幅30mm，緑灰色礫混じりシルト質砂状。軟質，境界不明瞭。
						Dg					深度135.19m：シーム。傾斜20度，幅2～5mmの緑灰色粘土状。
					暗灰黄	Cg					深度135.96m：シーム。傾斜17度，幅3～4mmの緑灰色粘土状。
						Dg	Ⅱg				深度136.08～136.53m：変質帯。上盤10度，下盤28度。
						Cg	Ⅲg			2	シルト質角礫～シルト質砂状。軟質。厚さ1～4cmの方解石脈を挟む。
					オリーブ		Ⅳg				深度136.53～200.00m：花崗斑岩。上部に厚さ6.7mのアプライトを挟む。花崗斑岩は，径3～15mmの石英，カリ長石，斜長石，黒雲母の斑晶を1～3%程度含み，石基は径0.1mm程度である。斜長石の斑晶は径3mm程度であり，部分的に黒雲母の斑晶が多くなる。
						Cg	Ⅲg				
					暗灰黄	Dg					
						Cg					
							Ⅳg				
						Dg					深度137.95～137.98m：破砕帯(Hb)。上盤28度，下盤12度。幅25mmの黄灰色礫混じりシルト質砂状。下盤に幅4～8mmの灰白色シルトを挟む。
					灰黄褐		Ⅴg				
							Ⅲg				
						Eg	Ⅵg			3	深度139.55m：シーム。傾斜62度，幅0.2mmの砂質シルト状。
	104.87	143.20			にぶい黄橙	Dg	Ⅰg				深度139.73m：シーム。傾斜15度，幅4～10mmの黄灰色砂質シルト状。
							Ⅱg				深度139.92m：シーム。傾斜50度。幅3～4mmの黄灰色シルト状。
						Eg	Ⅵg				深度139.92～139.96m：傾斜50度。幅20mmの黄灰色礫混じりシルト状。
						Dg	Ⅱg				深度139.96m：シーム。傾斜50度。幅1～2mmの黄灰・褐色シルト状。
							Ⅳg				深度141.15～141.20m：破砕帯(Hb)。上盤44度，下盤30度。幅35～45mm，礫混じり砂状。上盤に幅2～5mmの黄灰色シルトを挟む。
						Dg					
						Cg	Ⅲg	bg			深度141.51m：シーム。傾斜75度。幅2～3mmの黄灰色シルト状。
					灰黄褐	Dg					深度143.12～143.24m：破砕帯(Hb)。上盤20度，下盤15度。礫混じり砂状。
						Cg	Ⅳg				深度142.19～142.20m：破砕帯(Hc)。下盤13度，幅13～16mmの砂質シルト状。
							Ⅲg				
					にぶい黄橙	Dg	Ⅳg	cg			深度143.24～144.16m：破砕帯(Hb)。上盤15度，下盤33度。径1～3cmの固結した礫状。網目状にシルトを挟む。
						Dg	Ⅲg				深度144.16～144.21m：破砕帯(Hb)。上盤33度，下盤65度。幅10～50mm，黄灰色礫混じりシルト質砂状。上下盤で走向に相違あり。
					灰黄褐			bg			
						Cg	Ⅳg	cg			深度144.69～144.93m：変質帯。上盤18度。径1～3cm程度の礫状。網目状にシルトを挟む。
							Ⅲg	bg			深度146.49m。シーム。傾斜60度，幅4～10mmの黄灰色シルト混じり砂状。
						Dg		cg			深度149.78m：シーム。傾斜60度，幅3～5mmの暗褐～明黄色粘土状。
						Cg		bg			深度150.00～151.97m：高角度の密着した節理が1～3cm間隔で発達。部分的に開口し角礫状となる。
							Ⅳg				深度151.97～153.13m：傾斜20～40度の節理が数～10数cm間隔で発達。
					にぶい黄橙	Dg		cg			深度153.20m：シーム。傾斜64度，幅2～4mmの暗褐色粘土状。
						Cg					
						Dg	Ⅱg				深度153.65～154.48m：節理に沿って幅1～3cm程度変質強く，全体に明黄色を帯びる。
					暗灰黄		Ⅲg				
						Cg	Ⅳg	bg			深度155.50～155.55m：破砕帯(Hb)。上盤45度，下盤62度。幅40～50mmの黄灰色シルト混じり砂礫状。下面に幅3～7mmの暗褐色砂質シルトを挟む。
							Ⅴg	cg			
					灰黄褐	Cg		bg			
						Dg		cg			
						Cg		bg			
						Dg	Ⅳg	cg			
						Cg		bg			
								cg		2	
						Dg					
						Cg					
					にぶい黄橙						
160						Cg	Ⅱg	bg			深度158.89m：シーム。傾斜56度，幅8～10mm，明黄色礫混じりシルト質砂状。
							Ⅳg				
							Ⅱg				深度159.89～159.90m：シーム。上盤55度，下盤50度。幅5～10mmの橙褐色砂質シルト状。
							Ⅲg				深度160.00～164.40m：密着した節理が網目状に発達。節理に沿って黒褐を帯びる。
							Ⅳg				
							Ⅲg				
						Dg	Ⅳg	cg			
							Ⅱg				
							Ⅱg				
							Ⅳg	bg			深度165.00～166.00m：網目状に節理発達し，節理に沿って褐色を帯びる。
							Ⅲg				
						Cg	Ⅳg				
							Ⅱg				深度166.10～166.65m：斜長石が淡黄色を帯び，粘土化している。深度166.60m以深，網目状に節理発達。
							Ⅳg	cg			深度167.91m：シーム。傾斜40度。幅2mmの黒褐色シルト状。
						Cg	Ⅲg				
					浅黄橙	Dg					深度169.20～169.45m，169.62～169.85m：網目状に低角度の節理が発達。
						Cg		bg			
					灰白	Dg					
						Cg					
170											

岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	標準貫入試験 N値～深度 0 10 20 30 40 50	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
CL'	[CL]						10／20 157.00	92	76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	35.0	100	0.0	泥水5	0
CM'								90					0.0	泥水5	5
CL'							10／30 140.00								
							10／31 142.20	57							
CL'								75							
CM'							11／1 147.30								
CL'	[CM]							91							
CM'							11／2 152.00								
CL'								116							
CM'							11／3 158.00								
CL'	[CL]														
CM'								100							
CL'							11／4 163.00								
								88							
CM'							11／6 166.80								
CL'	[CM]														
CM'								91				130			

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
180				花崗斑岩	灰白	Dg Cg Dg Cg Dg Bg Dg Cg Cg Dg Cg Dg Cg D

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNo.

ボーリング名	No.10	調査位置						北緯	
発注機関				調査期間				東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	+24.20 m	角度	180° 上 90° 下0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機 / ハンマー落下用具
総掘削長	120.00 m								エンジン / ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
	22.77	1.43		盛土	灰褐						礫は径1～3cm。						200	140／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット			0.0	泥水5	5
	22.53	1.67	シルト混り砂													9/8 2.00								
	22.20	2.00	シルト混り砂礫	旧盛土	浅黄						旧盛土。礫，腐植質シルト混じり砂。深度2.00～2.94m：礫率70%，アプライトの巨礫主体。深度2.94～3.82m：礫率5～10%，径3cm程度の風化亜角礫を含む。						67	115／ケーシング		30.0	60			
					黒褐											9/9 4.00						0.0	泥水3	3
	20.38	3.82		シルト混り砂礫	にぶい褐						礫は径1～5cm程度の亜角礫，礫種は花崗斑岩，アプライト主体。所々に，アプライトのくさり礫を含む。基質はシルト質細～中粒砂。						67							
					明褐											9/11 5.00								
	18.58	5.62			にぶい橙												34							
					明褐灰						深度5.62～11.00m：花崗斑岩。径3～5mmの石英，長石及び径1～2mmの黒雲母の斑晶を5～20%程度含み，石基は径0.5mm程度である。					9/12 6.20								
					明黄橙												55			50.0				
					にぶい黄橙	Eg	Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅲg	bg cg bg	δ		コアは岩芯まで風化を受け脆くなっている。主な節理は傾斜50～60度程度で，10～30cm間隔で発達。面には厚さ1mm以下の明褐色粘土を付着する。柱～長柱状コアを呈するが，密着した不明瞭な節理も多い。	D'	[D]			9/13 8.40								
10						Dg	Ⅳg					CL'												
				花崗斑岩	明褐灰	Cg	Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅰg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg	bg cg cg bg cg bg	2		深度11.00～54.50m：花崗斑岩。径3～10mmの石英及び径1～3mmの長石，黒雲母の斑晶を1～25%程度含み，石基は径0.1mm程度である。深度11.50m：シーム。傾斜50度。幅6～10mm，明褐色粘土状。深度12.08m：シーム。傾斜60度。幅4mm，明褐色粘土状。鏡肌有り，条線方向は50度左。深度13.01m：シーム。傾斜50度。幅5～7mm，明褐色粘土状。深度14.47m：シーム。傾斜52度。幅5mm，やや固結した明褐色粘土状。	CM'					83			40.0			泥水5	5
												CL'												
																9/14 13.40								
																	85				90			
										γ			[CM]											
												CM'				9/15 18.50		95／ケーシング						
20					にぶい黄橙	Bg	Ⅰg				深度19.00m：傾斜65度の節理に沿って，幅4～7mmの砂混じり橙褐色粘土（流入粘土）を挟む。									30.0				
						Cg	Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅲg Ⅲg Ⅳg Ⅲg	bg			深度21.55m：石英脈幅2～3mm，傾斜65度。						97					0.0	泥水5	0
																9/16 24.30								
							Ⅱg	cg bg			深度25.59m（傾斜80度），深度25.92m（傾斜70度）：節理に沿って幅1.0～1.5mmの灰白色軟質粘土を挟む。						103							
						Bg						CH'												
						Cg	Ⅲg					CM'												

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

No.10(1/4)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
30				花崗斑岩	にぶい黄橙	Cg Bg Cg Dg Cg	Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅲg	bg	γ	2	深度27.20～27.40m，27.30～28.82m：風化を受けて斜長石が粘土化している。 深度27.56～27.60m：白雲母濃集。 深度28.46～28.53m：破砕帯(Hc)。上盤68度，下盤63度，幅20mm，暗褐色礫混じりシルト質砂状。	CM'					103						
					明褐灰	Bg Cg Dg Cg Dg Cg Dg	Ⅰg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg	bg cg bg bg bg cg bg			深度30.42～30.53m：幅40mm暗灰色礫混じり砂質シルト状。 深度30.91～31.04m：傾斜58度及び傾斜78度の亀裂に沿って変質し，礫混じり砂状を呈する。 深度33.36～33.47m：幅60mmの黄褐色シルト混じり砂礫状。 深度35.24～36.61m：傾斜70～85度及び傾斜60度の節理発達。径3～5cmの岩片状コア及び節理間隔1～3cmのコアをなす。	B' CM' CL' CM' CL'	[CM]	9/19 30.50 9/20 35.80	106	95／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	30.0	90	0.0	泥水5	0
					にぶい橙	Eg	Ⅵg Ⅳg Ⅴg Ⅵg Ⅳg Ⅴg	cg bg cg	δ	3	深度36.61～36.76m：変質帯。明橙色シルト質砂状。上盤60度，幅1～2mmの灰白色粘土。下盤74度，幅2～3mmの黄褐色粘土。中間部幅8～10cm明橙色シルト質砂状。 深度36.92～37.30m：変質により礫～礫混じり砂状を呈する。 深度37.84～38.35m：節理密集部，変質を受け軟質化する。	D'	[D]	9/21 38.00 9/28 39.20	55 60							
40					浅黄橙	Cg	Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg	bg	γ	2	深度39.09～39.14m：破砕帯(Hc)。上盤73度，下盤60度。幅40mmの黄白色粘土状。 深度40.19～41.57m：傾斜80度の密着した節理が2～10cm間隔で発達する。	CM'					83			0.0	泥水5	5
					浅黄	Dg Eg Dg	Ⅴg Ⅵg Ⅴg	cg	δ	3	深度43.19～43.74m：変質帯。上盤22度，下盤43度。シルト質砂状～径1cm以下の細礫状。 深度43.19m：傾斜22度，幅2～5mmの灰白色粘土を挟む。 深度43.65m：傾斜55度，緑灰色を帯びた石英脈，幅1mmの灰白色粘土を挟む。	CL' D' CL'	[CM]	9/29 45.00								
					にぶい黄橙 明褐灰	Cg	Ⅳg	bg	γ		深度45.00～46.75m：傾斜70～75度及び30～40度の節理発達。短柱～岩片状コア，風化をうけコアの表面粗い。	CM'										
					にぶい黄橙	Bg	Ⅱg Ⅱg Ⅰg					CH' B'											
					黒岩 明褐灰 にぶい黄橙	Bg Cg Bg Cg	Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅳg	bg cg			深度48.90～49.14m：傾斜70～85度の節理に沿って，酸化マンガン濃集。 深度51.42～52.00m：傾斜60度～80度の節理が交差する。全体に酸化マンガンに汚染される。薄い砂状～砂質シルト状物を伴う。	CH' CM' CM' CL' CH'	[CH]		130							
					明褐灰 にぶい黄橙	Cg Bg	Ⅲg Ⅲg Ⅳg	bg		2	深度54.50～64.00m：花崗斑岩。径3～7mmの石英，長石及び径1～2mmの黒雲母の斑晶を40～50%程度含み，石基は径0.5mm以上で組織はほぼ均質である。 深度54.57m：傾斜70度の節理に沿って黄鉄鉱濃集。 深度55.00～55.75m：傾斜75～80度の密着した節理に沿って黄鉄鉱付着。 深度56.02～56.08m：葉片状，節理間隔0.5～1.5cm。 深度56.56～56.62m：葉片状，節理間隔0.3～1.5cm，岩質脆い。	CH' CM'		9/30 52.80		76			100	0.0	泥水5	3
					明褐灰	Bg	Ⅱg				深度58.46m：傾斜80度の密着した節理に沿って黄鉄鉱付着。 深度58.93～59.35m：節理に沿って酸化マンガン濃集。	CM' CL' CH'			112							
50					にぶい橙	Cg	Ⅳg	cg	β															
					明褐灰 にぶい橙	Bg Cg Bg Cg Bg	Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅱg	bg				CM'	[CM]	10/2 58.50									
					明褐灰 にぶい橙	Bg Cg Bg Cg Bg	Ⅰg Ⅲg Ⅱg Ⅱg	cg			深度62.46～62.56m：傾斜30～37度，節理間隔0.5～1.5cm，変質により岩質脆い。				110							
60																								

コア採取率 ☆（%） 最大コア長 cm RQD [%]

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率(%)／最大コア長(cm)／RQD(%)	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（標準貫入試験）試験 N値	N値～深度	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
70				花崗斑岩	明褐灰	Bg	Ⅰg	bg	β				B'															
							Ⅱg				深度63.96～65.00m：傾斜75～80度の密着～開口した節理が3～4cm間隔で，さらに傾斜15～60度の節理が3～15cm間隔で発達し，全体に短柱状コアをなす。 深度64.00～71.00m:花崗斑岩。 径4mmの石英，長石及び径1～2mmの黒雲母の斑晶を1～3%程度含み，石基は径0.1mm程度である。 深度65.77～69.05m：傾斜30～50度と傾斜70～80度の節理発達。密着した節理に沿って褐色化する。 低角度と高角度の節理が交差し，部分的に角礫状をなす。		CM'																	
					にぶい橙	Cg	Ⅳg	bg					CL'								110				0.0	泥水5	3
								cg																				
						Dg																						
						Cg	Ⅲg	bg					CM'															
							Ⅳg																					
							Ⅲg	cg																				
						Dg	Ⅳg	bg					CL'							10／3								
						Cg	Ⅲg						CM'							67.20								
						Dg	Ⅳg																					
						Cg		cg					CL'										30.0					
						Dg	Ⅲg																					
						Cg	Ⅳg						CM'															
						Dg	Ⅲg																					
						Cg	Ⅳg						CL'									

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験) 試験 (N)値	(N値～深度)	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
100				花崗斑岩	にぶい橙	Cg	Ⅲg Ⅳg Ⅱg	bg	γ		深度101.08～102.57m：高角度な節理発達。節理に褐色粘土を挟むことが多い。		CM'							10/11 102.20	103	76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	50.0	100	0.0	泥水5	0
					明褐灰	Dg	Ⅳg	cg																				
					にぶい黄橙	Cg	Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅱg	bg cg					CL'															
					明赤灰	Bg	Ⅰg Ⅱg Ⅴg	bg	β		深度103.00～115.15m:花崗斑岩。径5～10mmの石英，長石及び径1～3mmの黒雲母の斑晶を30%程度含み，石基は径0.1mm程度で，組織は全体に均質である。		B' CH' B'								108							
					にぶい黄橙	Cg	Ⅳg Ⅱg	cg bg					CM'															
					灰白	Bg Cg	Ⅱg Ⅳg	cg			深度106.54～106.60m：0.5～1.0cm間隔で板状に節理発達。		CL'							10/14 107.60							
					にぶい黄橙	Cg Bg Cg	Ⅱg	bg					CM'															
					にぶい黄褐	Bg Cg	Ⅲg Ⅱg	cg bg cg		2			CH'	[CM]							87							
					灰白	Bg Cg Dg Cg	Ⅲg Ⅰg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅲg	bg cg bg cg	γ		深度111.18～114.93m：高角度な節理（密着も含め）発達。 深度111.97m：シーム。傾斜64度。幅8～10mm,粘土状、角礫状。		B' CL'															
					褐灰	Bg	Ⅱg	bg					CH'							10/16 113.70					120			
					明褐灰	Cg	Ⅲg Ⅳg	cg					CM'															
	-90.95	115.15		黒雲母花崗岩	明褐灰	Cg Bg Cg	Ⅲg Ⅱg	bg cg			黒雲母花崗岩，上位との境界傾斜69度。 深度115.15～120.00m：黒雲母花崗岩。 径10mm程度の石英，長石，黒雲母の斑晶からなる。 深度116.03～116.35m：節理に沿って酸化マンガン，酸化鉄汚染を受けている。		CH' B'								105							
					にぶい黄橙	Bg Cg Bg Cg	Ⅰg Ⅱg Ⅳg Ⅱg	bg			深度118.84～119.27m：節理に沿って酸化マンガン，酸化鉄汚染を受けている。		CM' CH' B'							10/17 120.00							
110																												

ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNo.	

ボーリング名	No.11	調査位置								北　緯	
発注機関				調査期間						東　経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者				ボーリング責任者	
孔口標高	+ 32.11 m	角度	180° 上 90° 下0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0°	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘削長	120.00 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	(標準貫入試験) N値～深度	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l／分)	排水量 (l／分)
				盛土	黄褐						礫,砂,シルトからなる。										133	114／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	10.0	100	0.0	0	0
																								20.0				
																				1/29 4.55								
	26.03	6.08																										
10				アプライト	明黄褐	Eg	VIg	dg	ε		深度6.08～41.35m:アプライト。厚さ1.2～1.7m程度の花崗斑岩を挟む。																	
					灰白	Dg					アプライトは，石基が径0.1mm以下で，一部径0.1～0.2mm程度である。径5～10mmの石英，長石の斑晶が僅かに点在する（0.5%以下）。一部石基中に黒雲母を多く含む。流理は20～30度程度である。		D'												165	0.0	泥水1	0
					明黄褐	Eg							CL'	[D]														
													D'															
					灰白		IVg														203							
						Dg																						
							IIg	cg			深度10.00～18.00m：節理は発達するが，酸化マンガンを挟み密着している。																	
							IVg																					
							IIg																					
							IIIg																					
						Lc																						
							Ig				深度11.35m：シーム。傾斜65度。幅1～8mm，黒褐色，一部灰白色シルト状。																	
					にぶい黄橙		IIg																					
						Dg	IVg		δ																			
							Ig				深度14.40～14.43m：ペグマタイト。																	
							IIIg	bg																				
							Ig																					
						Cg																						
							IIIg			2																		
	14.66	17.45																										
				花崗斑岩	明褐灰						全体に風化強く，長石は白色化している。花崗斑岩，上位との境界漸移的，下位との境界漸移的。		CL'	[CL]														
								cg													192				170	0.0	泥水13	10
20	13.01	19.10									深度19.10～25.00m：節理に沿って褐色化しているが，岩芯は新鮮な部分が多い。																	
							IVg																					
							IIIg																					
							IIg																					
						Dg	IVg																					
					灰白																							
							IIIg	bg			深度22.45～22.48m，22.55～22.62m：斑晶の多い部分を挟む。																	
							IVg		γ																			
							Vg	cg																				
							IVg																					
							IIIg																					
							IVg	bg																				
							IIIg																					
							IVg													1/31 24.20								
							IIIg				深度25.00～26.40m：全体に褐色化著しい。										163	76		17.0	250	0.0	泥水7	7
					黄橙															2/1 26.10								
							IIIg	cg																				
							IVg				深度26.40～26.65m：斑晶多い。										153			35.0	170	0.0	泥水12	12
	5.17	26.94		花崗斑岩	変質																							

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
30	3.91	28.20		花崗斑岩	淡黄	Dg	Ⅳg	cg	γ	2	長石は白色化し，やや軟質。 花崗斑岩，上位との境界漸移的，下位との境界漸移的。	CL'	[CL]											
					淡赤橙		Ⅱg																	
					淡黄		Ⅳg																	
				アプライト	灰白		Ⅱg	bg	β	1	深度28.80～40.00m：全体に新鮮岩主体。節理少なく，節理に沿って褐色化する。						153			0.0	泥水12	12
					にぶい橙		Ⅰg																	
							Ⅱg																	
							Ⅰg																	
							Ⅱg																	
					灰白		Ⅰg																	
							Ⅱg																	
					明褐		Ⅱg																	
					灰白		Ⅱg		α															
					橙		Ⅰg									2/6								
40					にぶい黄橙		Ⅱg	cg	β		深度37.70～37.86m：節理密集部。部分的に碎状化する。	CM'	[CM]			37.10				35.0				
								bg	α		深度40.00～42.00m：全体に褐色化する。													
	-9.24	41.35									花崗斑岩，上位との境界不明瞭。 深度41.35～46.90m：花崗斑岩。 径3～5mmの石英，長石斑晶を1～5%程度含み，径1～2mmの黒雲母の斑晶が点在する。石基は径0.5mm程度である。													
				花崗斑岩	灰白		Ⅳg										142			0.0	泥水12	10
							Ⅱg																	
							Ⅳg																	
							Ⅲg																	
					淡黄	Dg																		
					灰白	Cg	Ⅳg	cg			深度43.95～45.84m：変質により軟質化している。高角度な節理に幅2mm程度の粘土を挟む。	CL'						76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット		170			
						Dg	Ⅴg																	
							Ⅳg	bg																
	-14.79	46.90					Ⅲg				アプライト，上位との境界傾斜60～70度。 深度46.90～102.70m：アプライト。 石基は径0.1mm以下で，一部径0.1～0.2mm程度である。径5～10mmの石英，長石斑晶が僅かに点在する（0.5%以下）。 深度47.40～55.00m：褐色化が顕著であり，高角度な節理がある。 深度49.21m：傾斜66度，幅0.1mmの石英脈を挟む。													
							Ⅱg																	
					浅黄	Cg	Ⅳg	cg				CM'												
							Ⅰg	bg																
					にぶい黄橙	Bg	Ⅲg																	
							Ⅱg																	
							Ⅱg									2/7								
50					浅黄	Cg	Ⅳg	cg								50.00								
							Ⅲg																	
							Ⅳg				深度50.99m：傾斜75度，幅5～10mmの石英脈を挟む。 深度51.10～54.57m：硬質柱状コア。													
					明褐灰	Bg	Ⅱg		γ	2		CH'												
						Cg							[B]											
					にぶい黄橙	Bg	Ⅰg	bg				B'												
							Ⅱg																	
							Ⅰg				深度54.40～55.00m：斑晶を多く含む。 深度55.00～57.60m：高角度な節理が発達。													
					明褐灰		Ⅱg																	
							Ⅰg																	
					浅黄		Ⅲg	cg																
							Ⅴg																	
					明赤灰		Ⅱg	bg									159			40.0	泥水12	0.0	泥水12	11
							Ⅰg				深度57.55～57.80m，58.05～58.15m，58.22～58.80m：斑晶を多く含む。													
					浅黄	Cg	Ⅱg																	
							Ⅳg					CM'	[CM]											
60					明赤灰		Ⅱg																	
							Ⅱg																	
					淡黄		Ⅲg	cg			深度60.88～61.16m：斑晶を多く含む。 深度61.00～64.00m：高角度な節理が発達する。													
								bg																
					明赤灰		Ⅱg									2/8								
							Ⅲg									62.30	160			45.0				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	N値～深度	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
70				アプライト	明赤灰	Cg	Ⅱg	bg	γ	2	深度64.60～75.30m：新鮮岩主体であるが，高角度な節理に沿って褐色，一部黒褐色を帯びる。	CM'																
							Ⅳg																				
							Ⅱg																				
							Ⅲg																				
							Ⅱg																				
					橙		Ⅲg																				
					灰白		Ⅱg													160							
							Ⅳg																				
							Ⅱg																				
					にぶい褐		Ⅰg																				
					灰白		Ⅳg																				
							Ⅲg																				
							Ⅳg																				
							Ⅰg																				
							Ⅱg																				
					明赤灰		Ⅰg				深度74.10～74.35m：斑晶を多く含む。								2/9 74.20								
							Ⅱg																	0.0	泥水 12	11
					淡黄		Ⅳg																				
							Ⅱg																				
					黄	Dg	Ⅴg	cg	γ	3	深度76.60～77.00m：破砕帯(Hb)。上盤74度，下盤89度。幅5～25mm，黄灰～暗黄灰色シルト・礫混じり砂状。	CL'															
							Ⅳg																				
80					明緑灰		Ⅰg	bg	β		深度77.90～84.00m：明緑灰色アプライト。		[CM]														
							Ⅱg																				
							Ⅳg																				
							Ⅲg													183							
							Ⅰg				深度81.10～81.27m，82.65～83.00m：斑晶を多く含む。 深度82.00～83.00m：黄鉄鉱の微晶あり。										76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	45.0	170				
							Ⅲg																				
							Ⅳg																				
							Ⅲg				深度82.96m:黄鉄鉱微晶有り。																
					淡黄		Ⅳg																				
							Ⅲg																				
					灰白		Ⅱg				深度85.10～85.50m：斑晶を多く含む。																
							Ⅳg												2/10 86.55								
							Ⅱg																				
						Cg	Ⅳg			2																	
							Ⅱg					CM'															
					浅黄		Ⅳg	cg			深度88.60～90.00m：節理多く，角礫状をなす。																
90																											
							Ⅱg	bg	γ		深度90.00～95.00m付近：節理面に黄鉄鉱の微晶あり。全体に高角度な節理発達。																
							Ⅳg																				
					明緑灰		Ⅱg																				
					淡黄		Ⅳg																				
							Ⅱg													166							
					明緑灰		Ⅳg				深度92.28～92.60m，93.38～93.70m，94.30～94.60m：斑晶を多く含む。													0.0	泥水 12	10
							Ⅰg																				
					灰白																						
					淡黄		Ⅳg				深度94.65～99.80m：節理に沿って褐色化顕著。一部砂～細礫を挟む。																
							Ⅱg																				
							Ⅰg																				
					浅黄橙		Ⅳg	cg			深度95.98m，96.00m，節理に幅5～10mmの黒色粘土を挟む。																
							Ⅱg	bg																			
							Ⅲg	cg											2/12 97.75	146			50.0				

コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験) N値	N値～深度	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
100				アプライト	浅黄橙	Cg	Ⅰg	cg	γ	2	深度99.49～99.52m：変質を受け淡白色シルトを挟む。	44 [44]																
						Dg	Ⅳg					25 [25]																
					灰白		Ⅱg	bg																				
							Ⅳg					45 [45]																
						Cg	Ⅰg				深度101.90～102.53m：珪化変質を受ける。花崗斑岩，上位との境界傾斜ほぼ水平～10度。	39 [52]	CM'	[CM]														
	-70.59	102.70					Ⅱg			2	深度102.70～114.10m:花崗斑岩。径20mmのカリ長石の斑晶と径5～10mmの石英，長石，黒雲母の斑晶を70%程度含み，石基は径0.5mm以上である。黒雲母花崗岩に近い岩相である。	35 [62]									146			50.0		0.0	泥水12	10
					浅黄			cg																				
						Dg	Ⅳg	bg				40 [40]																
						Cg																						
						Bg	Ⅱg					19 [28]																
					にぶい黄	Cg	Ⅳg	cg					CL'															
												10 [20]	CM'															
							Ⅱg				深度107.0～110.65m：変質を受け長石の多くが白色化する。	10 [13]																
						Dg				3	深度107.60m：シーム。傾斜84度。幅3～5mm，灰白・暗灰色シルト状。									2/13 107.85							
						Eg					深度107.60～108.14m：変質帯。上盤84度，下盤76度。灰白色礫混じり砂質シルト状。																	
						Cg	Ⅳg					0 [0]		[CL]														
						Bg																						
						Cg						12 [12]	CL'															
						Cg																						
110							Ⅴg		γ		深度110.65m以深，長石の白色化認められない。高角度な節理多く，全体に褐色化している。	0 [0]										76		170			
						Dg						0 [0]																
							Ⅳg					0 [0]									144			30.0		0.0	泥水15	13
							Ⅲg	bg				34 [34]																
							Ⅱg																					
					にぶい橙			cg		2	深度114.10～120.00m：花崗斑岩。径10mm程度の石英，カリ長石及び斜長石，一部黒雲母の斑晶を1～3%程度含み，石基は径0.1mm程度である。	0 [0]																
						Cg	Ⅳg																					
							Ⅰg					49 [43]	CM'	[CM]														
							Ⅳg													2/14 118.35								
							Ⅲg	bg				19 [19]																
							Ⅱg					12 [12]																
						Dg															209			35.0		0.0	泥水12	10
						Cg	Ⅳg					13 [13]																
						Dg																						
	-87.89	120.00				Cg	Ⅲg					0 [0]								2/15 120.00								

ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNo.

ボーリング名	No.12	調査位置				北　緯	
発注機関				調査期間		東　経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	+ 32.05 m	角度	180° 上 90° 下0° 45°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 150°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘削長	250.00 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	標準貫入試験 N値～深度	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
					灰褐						礫混じりシルト質砂からなる。											シングルコアチューブ／メタルビット					
				盛土	黄褐															212	165／ケーシング		10.0	50	0.0	0	0
	29.80	3.18																	9/12								
	29.36	3.80		表土	褐灰						礫混じり有機質砂質シルト(旧表土)。								3.00								
			礫混じりシルト質砂		黄褐						径5～20mmの亜円礫，一部くさり礫を含む。																
	28.48	5.05																		96	140／ケーシング	ダブルコアチューブ／メタルビット	15.0	75	0.0	泥水15	15
				アプライト	明褐	Eg	VIg	dg			深度5.05～77.40m:アプライト。 厚さ1.8m程度の花崗斑岩と厚さ数cm程度のペグマタイトを挟む。 アプライトは，石基が径0.1mm以下であり，全体に斑晶は非常に少ない。	D'															
					にぶい黄橙	Dg	IIIg IIg IVg	cg				CL'															
	27.36	6.63																	9/13								
				花崗斑岩		Eg	VIg	dg	δ		岩組織を不明瞭に残すマサ化した強風化岩。 傾斜30～50度程度の節理跡が多い。 花崗斑岩，上位との境界不明瞭，下位との境界不明瞭。	D'	[D]						6.93								
	26.09	8.43					Vg	cg			深度8.43～8.76m：弱風化岩，節理は酸化鉄により密着する。																
							VIg	dg																			
				アプライト	橙	Cg	IIg	bg			深度9.59～9.95m：節理多く，角礫状をなす。	CM'								111							
10					黄褐	Dg	IVg	cg																			
					明褐灰		IVg IIIg				全体に風化著しく軟質。																
					明褐	Dg	IVg IIIg	cg			風化著しく赤褐～黒褐色を帯びる。	CL'															
					にぶい黄橙		Vg				風化著しく，節理に沿って土砂状をなす。																
	23.70	11.81									深度11.81～11.93m：ペグマタイト。																
	23.61	11.93		ペグマタイト															9/14								
				アプライト	黄褐	Cg	IVg IIIg	cg			深度12.73～13.57m：風化の程度が弱く，柱状コアとなる。								12.40								
	22.45	13.57			にぶい黄橙						深度13.57～13.65m：ペグマタイト。	CM'								112							
	22.40	13.65		ペグマタイト		Eg	VIg	dg			深度13.65～13.87m：変質著しく，砂状を呈する。 全体に変質を受け脆い。																
					にぶい橙	Dg	IVg	cg											9/15								
					明褐灰	Cg													14.45								
					黄褐						深度15.00～17.27m：強風化岩で岩質脆い。節理に沿って褐色化。	CL'								115							
					にぶい黄橙	Dg	IIg IIIg	cg	2										9/16								
							IVg				深度16.43～16.50m，17.10～17.27m，ペグマタイトを挟む。								16.55		114／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット		125			
					明褐灰	Cg	IIg IVg	bg			深度17.27～19.40m：風化弱く柱状コアをなす。節理に沿って褐色化している。	CM'	[CL]							94					0.0	泥水12	12
						Eg	IIIg IVg IIIg												9/18								
					灰褐		IVg												17.30	43							
					明褐灰		IIIg	bg											18.70								
20					明黄褐		IVg IIIg	cg			深度20.70～21.00m：風化著しく，黄褐色を帯びる。 深度21.00～23.93m：柱状～短柱状コアであるが，風化によりやや軟質。節理に沿って褐色酸化する。									95							
							IVg IIIg												9/21								
					にぶい黄橙	Dg	IIg	bg				CL'							21.60				10.0				
							IIIg IIg IIIg IIg																		0.0	泥水15	15
					明黄褐		IVg IIg	cg			深度23.93～24.73m：強風化し，軟質。									100							
					にぶい橙	Cg		bg				CM'															
					にぶい黄	Dg	IVg	cg			深度25.30～26.30m：全体に褐色を帯び，岩質脆い。 深度26.30m付近：節理に沿って灰白色粘土を挟む。	CL'															
					にぶい橙	Cg																					
					にぶい黄	Dg	IIg				深度26.77～27.60m：節理密着し，柱状をなす。																

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

No.12(1/8)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
30	9.95 9.78	31.26 31.50	ペグマタイト	アプライト	にぶい黄	Dg	Ⅱg Ⅲg Ⅳg	cg		2	深度28.03m以深，風化の程度が弱くなる。	CL'	[CL]			9/22 27.75	100	114／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	10.0	125	0.0	泥水 15	15
					灰白		Ⅲg Ⅳg										104							
					暗褐灰	Cg	Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg	bg			ペグマタイトを挟む。節理多い。 斑状に岩芯まで褐色化する。	CM'	[CM]			9/23 32.10		90／ケーシング						
					にぶい黄橙		Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg																	
					赤褐		Ⅱg Ⅳg	bg	γ															
					にぶい橙	Dg	Ⅲg Ⅳg	cg		2	深度34.53～34.62m：変質帯。上盤40度，下盤31度。変質により原岩組織不明瞭。幅7mmの固結粘土を挟む。	CL'	[CL]				103							
					灰白		Ⅱg Ⅳg																	
	5.79 5.66	37.14 37.32	ペグマタイト		にぶい橙	Eg Cg	Ⅵg dg Ⅳg cg Ⅱg	bg		3	深度36.35～36.58m：破砕帯(Hb)。上盤14度，下盤32度。細礫～砂状。 深度36.52～36.53m：傾斜37度。幅10mmの褐色・灰白色粘土を挟む。 深度36.58m以深：節理に沿って黄褐色化進む。 深度37.14～37.32，37.67～37.70m：ペグマタイトを挟む。	CM'				9/25 38.55				35.0				
					明褐灰	Dg Cg	Ⅱg Ⅳg Ⅱg	cg				CL'												
					黄褐	Dg	Ⅳg				深度39.43m：シーム。傾斜41度。幅5mm，褐色粘土状。	CM'					92							
40					明褐灰	Cg	Ⅱg			2	深度40.28～41.00m：節理少なく柱状硬質コア。	CH'												
					明黄褐	Bg		bg	β		深度41.00～45.20m：節理に沿って褐色化進み，一部岩芯まで斑状に風化する。		[CM]											
					明褐		Ⅳg																	
					褐灰	Cg	Ⅲg Ⅲg Ⅱg																	
					灰褐		Ⅲg Ⅱg				深度43.60～44.20m：やや石英の斑晶が多い。	CM'				9/26 44.35								
					にぶい橙		Ⅳg										75							
					明褐灰	Eg Cg	Ⅵg dg Ⅱg bg		γ	3	深度45.20～45.50m：変質帯。上盤30度，軟質化する。													
					にぶい黄橙	Dg	Ⅳg Ⅲg	cg			深度46.00～47.33m：全体に変質強く，脆い。	CL'												
					灰褐	Cg	Ⅳg																	
					にぶい橙	Bg	Ⅱg	bg	β	2	深度48.00～49.70m：節理少ない新鮮岩。斑状に褐色化する。	CH'				9/27 48.70								
					明褐	Cg	Ⅳg				深度49.15～49.60m：節理多いが，密着している。	CM'	[CH]											
50					にぶい橙																			
					明褐灰	Bg	Ⅱg Ⅲg				深度50.00～53.70m：柱状コア，比較的新鮮で節理に沿って褐色を帯びる。	CH'									200			
					明赤褐	Cg Bg	Ⅳg cg Ⅱg										101			45.0				
					灰褐	Cg	Ⅲg	bg				CM'												
					明赤褐		Ⅳg																	
					灰褐	Bg	Ⅲg				深度53.76～55.08m：やや変質進み，節理多く，一部細礫状をなす。	CH'												
					明赤褐	Cg																		
					にぶい黄橙	Dg	Ⅳg	cg	γ			CL'	[CM]											
					にぶい橙	Cg		bg	β		深度55.71～55.91m：角礫状をなし，幅2cm程度の砂を挟む。	CM'				9/28 55.15								
						Dg	Ⅴg cg																	
						Cg	Ⅲg bg																	
						Dg Cg	Ⅴg	cg	γ			CL'												
							Ⅲg																	
					灰白	Eg	Ⅵg dg			4	深度57.88～58.41m：変質帯。上盤40度，下盤35度。原岩組織不明瞭。固結砂状。上盤幅5mmの灰白色粘土を挟む。 深度58.41～58.43m：破砕帯(Hc)。上盤35度，下盤52度。幅15～20mm，褐色・灰白色粘土状。 深度58.43～59.50m：角礫～細礫状をなし一部砂状を挟む。 深度60.00～61.35m：角礫～短柱状コア，節理多く，全体に脆い。	D'												
					にぶい黄橙	Dg Eg	Ⅴg cg Ⅵg dg		δ				[CL]				119			30.0				
						Dg	Ⅴg																	
						Cg	Ⅳg	cg				CL'												
60						Dg	Ⅴg			2														
					にぶい橙	Cg	Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅴg	bg	γ		深度61.35～62.20m：やや節理多いが柱状コアをなす。 深度62.20～63.88m：柱状コア，硬質であるが，やや節理多く，節理に沿って褐色を帯びる。	CM'	[CM]											

コア採取率 ―△―（%） 最大コア長 ―○― cm RQD ―┐―［%］

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
70				アプライト	にぶい橙	Cg	Ⅳg Ⅲg	bg	γ		深度63.88～65.18m：節理に沿って緑灰色シルトを挟む。	CM'				9/29 64.05	119			30.0	200			
							Ⅳg	cg			深度65.18～66.13m：節理に沿って褐色化し，角礫～砂状をなす。	CL'					176			15.0				
							Ⅲg									9/30 66.25								
					灰褐	Bg Cg		bg			深度67.07～67.60m：節理に沿って砂～シルトをはさみ，やや脆くなる。													
							Ⅱg			2														
					にぶい橙	Bg	Ⅲg Ⅳg										93			30.0				
					橙	Cg	Ⅲg				深度68.88～69.37m：節理に沿って変質部を挟む。変質部は固結砂状，境界部に褐色シルトを挟む。	CM'	[CM]											
					灰褐	Bg	Ⅱg				深度70.00～72.40m：柱状コア，節理に沿って褐色化。					10/4 70.45								
					にぶい褐	Cg Bg	Ⅳg Ⅲg	cg			深度70.60m以深，アプライトの石基が径0.2～0.5mm程度と大きくなり，散在程度に斑晶も含む(1%以下)。													
									γ		深度72.40～73.30m：全体に褐色化し節理多い。	CL'												
					明黄褐	Cg	Ⅳg										88							
							Ⅱg					CM'												
					褐灰	Bg	Ⅰg	bg				B'												
							Ⅱg		β	1	深度75.83～80.60m：新鮮な柱状コア。節理少ないが，節理に沿って酸化し，所々に砂～シルトを挟む。					10/5 76.70								
	-22.68	77.40		花崗斑岩							花崗斑岩，上位との境界漸移的。 深度77.40～84.80m：花崗斑岩。 径3～5mmの石英，長石及び径1～2mmの黒雲母の斑晶を10～40%含み，石基は径0.2～0.5mm程度である。組織は全体に不均質で，流理は傾斜約30度程度である。	CH'	[CH]												
					灰褐		Ⅲg																	
80							Ⅱg										84	73／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット		150	0.0	泥水 15	15
							Ⅲg				深度80.56～84.44m：全体に酸化の進んだ柱状～短柱状コア。節理に沿って砂～灰白色固結シルト，粘土を挟む。													
					明褐	Cg	Ⅴg	cg	γ	2														
							Ⅲg																	
							Ⅳg				深度82.48～82.50m：破砕帯(Hj)。傾斜26度。幅15～20mmの暗褐色礫混じり砂質シルト状。	CM'	[CM]			10/6 83.10								
							Ⅲg																	
					灰褐	Bg	Ⅱg																	
						Cg	Ⅲg			1	深度84.00～84.44m：節理に沿って淡緑色変質鉱物を挟む。黄鉄鉱あり。 アプライト，上位との境界漸移的。 深度84.80～99.60m：アプライト。 石基は径0.1mm程度であり，斑晶は点在程度である（0.5%以下）。						74			40.0				
	-27.91	84.80		アプライト		Bg	Ⅰg	bg				B'												
							Ⅱg					CH'				10/7 85.80								
					にぶい橙	Cg	Ⅴg	cg			深度86.50～87.40m：変質を受け，やや脆い。節理に沿って砂～シルトを挟む。	CL'												
							Ⅲg					CM'												
					灰褐	Bg		bg		2							98							
90									β		深度90.45～90.66m：破砕帯(Hj)。上盤40度，下盤66度。節理密集し，節理に沿って砂～シルトを挟む。	CH'												
					にぶい橙	Cg	Ⅳg	cg				CL'	[CH]											
					灰白	Bg	Ⅱg	bg			深度91.66～94.58m：節理少なく新鮮な柱状コア。節理に沿って濃緑色シルト～砂を挟む。					10/11 92.10								
										1		CH'												
					明褐灰	Cg	Ⅳg	cg			深度94.58～96.25m：やや節理多くなり，褐色化顕著。						92							
						Bg	Ⅱg	bg																
						Cg						CM'												
					褐灰	Bg	Ⅲg			2	深度96.15m:96.10～96.18mに続く傾斜68～80度の節理が見かけ2cm逆断層的にずれる。					10/12 96.40								
												CH'												
																	74			55.0				
					にぶい橙	Cg	Ⅳg Ⅴg Ⅳg		γ		深度97.93～102.10m：全体に褐色化進み，節理多い。	CM'	[CM]											

No.12(3/8)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
100	-38.38	99.60		花崗斑岩	にぶい橙 明褐灰 にぶい橙 にぶい黄橙 明褐灰 にぶい橙 灰赤 灰褐 にぶい橙 にぶい黄橙 明黄褐 にぶい褐 にぶい黄橙 にぶい橙 褐灰 にぶい橙 灰褐	Cg Cg Dg Cg Dg Cg Bg Cg Dg Cg Dg Cg Dg Cg Bg Cg Dg Cg Bg Cg Bg	Ⅳg Ⅲg Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅵg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅲg Ⅳg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅴg Ⅳg Ⅴg Ⅱg Ⅲg Ⅰg Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅰg Ⅱg Ⅲg Ⅴg Ⅲg Ⅱg	bg cg bg cg bg cg dg cg bg cg bg cg bg β	γ β γ β	2 3 2 3 2	花崗斑岩，上位との境界不明瞭。 深度99.60～137.50m：花崗斑岩。 径5～10mmの石英，長石及び径1～2mmの黒雲母の斑晶を1～30%含み，石基は径0.1mm程度である。深度100～110m付近は5～30%程度の斑晶を含む。 深度102.10～103.05m：全体に黄褐色変質が進み，軟質化している。 深度104.12～104.22m：破砕帯(Hb)。下盤55度。砂～シルト状。 深度104.12mは幅2～10mm黒褐色シルト状。深度104.22mは幅5mm灰白色粘土状。 深度104.40～110.77m：節理に沿って褐色を帯びる。一部節理に沿って砂～シルトを挟み，一部幅数cm程度軟質化する。 深度110.77～114.00m：柱状コアであるが，節理に沿って一部褐色化する。 深度114.00～114.90m：節理多く，角礫状を呈する。 深度115.61～116.00m：節理多く，変質し脆い。 深度116.78～119.36m：角礫～短柱状をなし，所々に幅10～70mmの固結した細礫状部分を挟む。 深度119.64～119.72m：破砕帯(Hj)。上盤27度，下盤31度。砂～土砂状。 下盤に幅10mmの暗褐色粘土を挟む。 深度120.10～121.65m：変質帯。上盤55度，下盤40度。全体に黄褐色を呈し脆い。 深度122.20～125.26m：節理に沿って褐色化し，黒褐色を帯びる。 深度125.26～126.36m：高角度な節理多く，節理に沿って褐色，黒褐色を帯びる。 深度127.44～127.68m：変質帯。上盤35度，下盤42度。全体に脆く軟質。 深度127.51m：傾斜19度の幅5～10mmの灰白～黄灰色シルトを挟む。 深度127.68～130.13m：高角度な節理多く，節理に沿って砂～シルトを挟む。 深度131.70～133.80m:全体に硬質な柱状コアであるが，高角度な節理多く，一部節理に沿って砂～細礫状をなす。	CM' [CM] CL' CM' [CL] CL' CM' [CM] CH' CM' CL' CM' CL' CM' CL' [CL] CM' CL' [CM] CM' CL' B' CM' CH'			10/13 99.60 10/14 105.35 10/16 109.20 10/17 112.65 10/18 118.50 10/19 124.50 10/20 130.45	74 119 116 96 105 126 121 120	73／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	55.0 20.0 45.0 20.0	150 175	0.0	泥水 15 泥水 6	15 6

原位置試験（孔内水平載荷）　室内試験

コア採取率 ☆（%）　最大コア長 cm　RQD [%]

No.12(4/8)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	標準貫入試験 N値～深度	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
				花崗斑岩	灰褐	Cg	Ⅲg	bg	β	2	深度135.66～136.25m：節理多く，節理に沿って砂～シルトを挟む。	CM'							10/21 136.65	120	73／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	20.0	175	0.0	泥水 6	6
					にぶい橙		Vg Ⅲg	cg				CL'															
							Ⅳg	bg				CM'															
	-65.18	137.50					Ⅱg																				
				アプライト	にぶい黄橙		Ⅳg				アプライト，上位との境界漸移的。深度137.50～142.00m：アプライト。石基は径0.1mm程度であり，斑晶は石英，長石主体で点在程度である（0.5%以下）。深度137.06～139.27m：節理多く，角礫～短柱状。深度138.34～138.80m：高角度な節理に沿ってシルト混じり砂～細礫を挟む。															
							Vg					CL'															
						Dg	Ⅵg																				
							Vg																				
							Ⅳg																				
							Ⅲg					CM'								106							
140					にぶい橙	Cg	Ⅳg	cg	γ		深度140.85～140.86m：シーム。傾斜54度。幅5～10mmの褐色粘土状。	CL'															
	-68.36	142.00																									
				花崗斑岩	橙	Dg					花崗斑岩，上位との境界傾斜40度。深度142.00～156.70m：花崗斑岩。径3～5mm程度の石英，長石，黒雲母の斑晶を1～40%含み，石基は径0.1～0.5mm程度である。	CM'							10/23 143.28								
						Dg	Ⅲg																				
						Cg	Ⅱg																				
							Ⅳg																				
						Bg	Ⅱg	bg			深度145.08～150.28m：節理に沿って黄鉄鉱を挟む。	CH'															
							Ⅳg	cg																			
					褐灰	Cg	Ⅲg	bg				CM'								133							
					にぶい黄褐	Bg	Ⅱg		β																		
					褐灰		Ⅲg					CH'															
							Ⅳg	cg		1																	
150					にぶい橙		Ⅲg	bg			深度150.28～152.82m：節理多く，所々に節理密集部を挟む。全体に褐色化している。	CM'							10/24 151.35								
							Ⅳg																				
							Ⅲg																				
					にぶい黄橙		Vg	cg			深度152.06～152.09m：破砕帯(Hc)。上盤15度，下盤30度。幅30mm砂～シルト状及び黒色粘土状。深度152.82～157.09m：節理及び斑状に褐色化する。やや節理多く，一部角礫状をなす。	CL'	[CM]														
					にぶい橙		Ⅲg	bg																			
							Vg	cg																			
					にぶい褐		Ⅲg	bg												130							
							Ⅳg																				
							Ⅲg					CM'															
							Ⅳg																				
						Cg	Ⅱg																				
							Ⅳg	cg																			
					灰褐		Ⅲg	bg			深度156.70～184.00m：花崗斑岩。斑晶が1～3%程度となり，石基も径0.1mm以下となる。深度157.09～159.56m：全体に褐色化する。節理に沿って所々にシルト～砂を挟む。								10/25 157.40								
							Ⅳg	cg				CL'															
					にぶい橙		Ⅲg	bg				CM'															
							Ⅳg	cg			深度159.56～161.80m：斑状に褐色化する。	CL'								120							
160					にぶい黄橙			bg	γ			CM'															
							Ⅱg												11/9 161.60								
						Eg	Ⅳg	cg		3	深度161.80～162.04m：変質帯。上盤25度，下盤30度。縁状。灰白色砂混じりシルトが礫間を埋める。深度162.42～163.08m：変質帯。上盤23度，下盤47度。浅黄色固結砂状。	CL'															
					浅黄	Cg	Vg																				
						Eg						D'															
					にぶい黄橙		Ⅳg	bg				CM'															
								cg			深度165.05～169.74m：やや節理多く，節理に沿って褐色化する。一部節理に沿って砂，細礫～シルトを挟む。	CL'								131							
					にぶい橙	Cg	Ⅲg			2																	
							Ⅳg																				
							Ⅲg	bg				CM'															
							Ⅳg	cg				CL'															
							Ⅲg	bg				CM'															
							Vg	cg		2	深度169.38～169.46m：破砕帯(Hc)。上盤45度，下盤50度。灰白色砂質シルト状。								11/10 169.90								
170					にぶい黄橙	Dg	Vg	dg		3	深度169.74～170.80m：変質帯。上盤22度，細礫～砂状。網目状に褐色シルトを挟む。	CL'	[CL]							75							
						Dg	Ⅱg	cg																			
					にぶい橙	Cg	Ⅳg	bg		2	深度169.84～169.90m：灰白色砂質シルト状を呈する。	CM'															

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
					にぶい橙	Cg	IVg	bg		2																
					浅黄	Eg	VIg	cg		4	深度172.20～172.45m：破砕帯(Hb)。上盤62度，下盤63度。灰白色線混じり粘土状。上盤に幅3mmの褐色粘土挟む。								75				0.0	泥水6	6
	-90.19	172.87																								
				アプライト	橙	Dg	IVg	dg		3	深度172.45～172.88m：変質帯。節理に沿って灰白色シルトを挟み，全体に軟質化。							11/11 173.45							
						Eg	Vg																			
	-90.95	173.95		花崗斑岩	にぶい橙	Cg	IVg	cg	γ		深度172.88～173.82m：変質帯。橙色帯びる。深度173.33mに幅2mmの褐色・灰白色シルト，深度173.64mに幅2mmの灰白色シルトを挟む。	CL'	[CL]						77				0.0	泥水10	6
						Dg																				
					オリーブ灰	Cg	IIg	bg			深度175.92～178.00m：石英の斑晶大きく，やや変質を受けている。	CM'						11/12 175.95							
					にぶい橙		IVg	cg				CL'								73／ケーシング						
					オリーブ灰			bg		2		CM'							109							
	-94.70	179.25		アプライト				cg	β		アプライト，上位との境界不明瞭，下位との境界不明瞭。	CL'														
180								bg																		
								cg				CM'														
							IIIg	bg			深度180.88～183.00m：節理に沿って濃緑色シルトや黄鉄鉱を挟む。斑晶の一部緑色粘土化する。														
	-96.01	181.10			にぶい橙		IVg	cg										11/13 182.15							
					にぶい黄橙	Eg	VIg	dg		3	深度183.00～183.43m：変質帯。上盤35度，下盤62度。固結砂状。														
						Dg		cg			深度183.43m：シーム。傾斜62度，下盤に幅3～5mmの暗褐色粘土付着。	CL'	[CM]												
					にぶい橙	Cg	IVg		γ		深度184.00～210.50m：花崗斑岩。径5～15mmの石英，長石及び径1～3mmの黒雲母の斑晶を50～90%程度含むが，下部ほど径は小さくなり，割合も低くなる。石基は径0.1mm以下。全体に微細な黒雲母を多く含み，組織はほぼ均質である。黒雲母花崗岩に近い岩相である。								107						
								bg		2																
							IIg	cg																		
					にぶい黄橙		IIIg	bg				CM'														
					にぶい橙		IVg																			
							IIIg	cg										11/14 189.30				20.0	175	0.0	泥水10	9
					褐灰	Bg	IIg	bg		1	深度189.39～189.50m：変質帯。上盤40度，下盤35度。灰白色シルトを網目状の挟む。	CH'	[CH]												
							IIIg				深度189.50～195.37m：節理に沿って褐色化する。	CM'													
					にぶい黄橙	Cg	IIg																			
					褐灰	Bg						CH'							97							
						Cg	IVg																			
						Bg	IIg																			
						Cg	IIIg																			
						Bg	IIg																			
							IIIg																			
						Cg		cg				CM'														
						Bg	IIg																			
				花崗斑岩	灰褐		IIIg	bg			深度195.37～198.65m：カリ長石の斑晶主体。やや節理多く，一部節理に沿って土砂状をなす。	CH'						11/15 195.50		76						
							IIg																			
						Cg	IVg	cg																		
							IIIg	bg				CM'														
													[CH]													
						Dg	Vg	cg		2	深度198.65～199.46m：高角度な節理に沿って変質粘土化し，長石は白色粘土化する。								105						
						Cg	IVg				深度199.46～200.49m：やや変質し，節理に沿って白色粘土を挟む。	CL'													
200																										
					にぶい黄橙	Bg	IIg	bg				CH'						11/16 201.73								
						Cg	IVg	cg			深度202.49～203.18m：高角度な節理に沿ってシルト～粘土を挟む。	CL'													
						Bg	IIg	bg			深度203.90～204.68m：変質を受け節理に沿ってシルト～砂状を呈する。	CH'													
						Cg	IVg	cg				CL'							102					0.0	泥水10	
					明褐灰	Dg				3	深度204.68～204.88m：変質帯。上盤48度，下盤88度。明褐灰色砂状，軟質。深度204.88m：幅2mmの褐色粘土挟む。															
					にぶい黄褐	Bg	IIg	bg				CM'														
						Cg	IVg			2																
						Bg	IIg					CH'														

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
210				花崗斑岩	にぶい黄褐	Bg	Ⅲg	bg	γ		深度207.32～208.33m：高角度な節理多く，節理に沿って細礫～砂状をなす。	CH'	[CH]			11/17 207.85	102	76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	20.0	175	0.0	泥水 10	10
						Cg	Ⅳg					CL'												
						Bg	Ⅲg					CH'												
							Ⅱg																	
							Ⅳg					CH'												
						Cg	Ⅲg				深度210.50～240.50m：花崗斑岩 径5～10mmの石英，長石及び径1～2mmの黒雲母の斑晶を1～5%程度含み，石基は径0.1mm程度である。局部的に斑晶を70%程度含む区間がある。	CM'					79							
					青灰																			
					明黄褐				β							11/20 212.50								
						Bg	Ⅱg					CH'												
					にぶい黄橙		Ⅲg																	
							Ⅱg																	
					灰褐		Ⅳg	cg	γ	2	深度214.19～214.20m：幅10mmの灰白色砂混じりシルトを挟む。	CL'												
					にぶい褐	Cg	Ⅲg				深度215.41～218.70m：節理に沿って褐色化し，一部褐色・灰白色シルトを挟む。		[CM]				114			35.0				
					にぶい橙		Ⅱg	bg																
					灰赤		Ⅲg	cg	β		深度218.78～218.80m：シーム。上盤57度，下盤61度。幅8～10mmの褐色礫混じりシルト状。 深度218.70～222.85m：一部長石が白色化する。	CM'			11/21 218.70								
220					灰褐		Ⅳg																	
							Ⅲg	bg																
							Ⅳg																	
							Ⅲg	bg																
					にぶい黄橙	Dg	Ⅴg	cg	δ	3	深度222.85～222.88m：破砕帯(Hb)。傾斜55度。幅23mm，褐色粘土～黄褐色砂質シルト状。 深度222.88～223.68m：細礫～砂状を呈する節理密集部。節理面にシルト～粘土を挟む。						116							
						Cg																		
					灰白	Eg	Ⅵg	dg		4	深度223.68～224.67m：角礫～細礫状。節理面にシルト挟在。													
					にぶい橙	Cg	Ⅴg	cg	γ	2	深度224.67～224.68m：破砕帯(Hc)。上盤38度，下盤37度。幅10mm，半固結緑灰色粘土状。 深度224.68～225.08m：破砕帯(Hb)。上盤37度，下盤35度。灰白色礫混じりシルト質砂状。 深度225.08～228.53m：やや節理多く，角礫～短柱状をなす。節理に砂～シルトを挟む。	CL'	[CL]			11/22 226.55								
							Ⅳg																	
					灰白	Eg	Ⅵg	dg		4	深度228.53～228.79m：破砕帯(Hb)。上盤38度，下盤50度。 上盤から石英粒子混じり灰白～灰褐色砂質シルト状(幅8cm)，岩片を残す網目状破砕部(幅15cm)。 深度228.78～228.79m：破砕帯(Hc)。下盤35度，灰白色砂質シルト状(幅1.5cm)。 深度230.00～230.07m：幅30mm，淡緑灰色砂質シルト状 。						87							
					橙		Ⅲg	cg																
					にぶい黄橙		Ⅲg	cg								11/23 231.10								
230					にぶい橙	Cg	Ⅳg				深度232.20～233.00m：高角度な節理に沿って砂～シルトを挟む。	CM'					88			10.0				
								bg																
							Ⅲg	cg	β							11/24 235.65								
								bg		2	深度236.16～237.32m：黄褐色で弱い変質を受け，節理多く脆い。		[CM]											
					にぶい黄橙		Ⅳg	cg	γ		深度237.26～237.32m：幅15mm，礫混じりシルト質砂状。	CL'					101							
						Cg																		
					褐灰		Ⅲg	bg			深度238.31～238.50m：節理密集部。変質を受け，下面に幅1mmの褐色粘土を挟む。					11/25 239.60								
240							Ⅳg				深度240.50～250.00m：花崗斑岩。径10～15mmの石英，長石及び径2～3mmの黒雲母の斑晶を60%程度含み，石基は径0.1mm程度で，下部に黒雲母を含む。斑晶の割合は上部で高く，下部でやや低くなる。 深度241.00～241.10m：節理密集部。細礫～角礫状。	CM'					95							
					灰褐	Cg	Ⅲg	cg																
								bg																

コア採取率 ☆（%） 最大コア長 ⊖ cm RQD ⌊[%]

原位置試験（孔内水平載荷）　室内試験

（標準貫入試験）試験　（N値～深度 0 10 20 30 40 50）

No.12(7/8)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験) 試験 (N)値	N値～深度	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
-144.73		250.00		花崗斑岩	灰褐 にぶい黄橙 灰褐	Cg Dg Cg	Ⅲg Ⅳg Ⅴg Ⅲg Ⅳg Ⅴg Ⅳg Ⅲg	bg cg bg	γ	2 3 2	深度243.62～243.63m：シーム。上盤63度，下盤60度。幅5～10mm縁混じりシルト質砂状。 深度244.94～245.09m：変質帯。上盤55度，下盤51度。灰白と黒褐粘土を挟む砂質シルト状。岩片や石英粒子を残す。 深度245.45～247.42m：やや変質を受け，長石が白色化する。 深度247.57～247.64m：破砕帯(Hj)。上盤41度，下盤47度。幅1～5mmの灰白色砂質シルトを網目状に挟む。 深度249.00～250.00m：節理少なく，変質弱い。	0 50 100 22 [64] 28 [54] 24 [45] 15 [68] 13 [35] 17 [92] 30 [77]	CM' [CM] CL' CM'				0 10 20 30 40 50		11/27 244.10 11/28 29 250.00	95 105 54	76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	10.0	175	0.0	泥水 10	10

ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNo.	

ボーリング名	No.13	調査位置								北　緯	
発注機関				調査期間						東　経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者				ボーリング責任者	
孔口標高	+ 38.88 m	角度	180° 上 90° 下0° 25°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 89°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘削長	100.00 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
				盛土	にぶい褐						盛土。													
	37.61	1.40			にぶい黄橙 灰白												133	165／ケーシング	ダブルコアチューブ／メタルビット	20.0	100	0.0	泥水 0	0
				花崗斑岩	浅黄	Eg Dg Dg Cg	IIg VIg IVg IIIg IIg IVg IIIg IVg IIIg	bg dg bg bg cg	γ		深度1.40～9.60m:花崗斑岩主体でアプライトを挟む。 花崗斑岩は径3mm以下の長石，石英及び径1mmの黒雲母の斑晶を1～3%程度含み，石基は径0.5mm程度である。 アプライトは，石基が径0.1mm以下である。 全体に褐色化し，節理に沿って酸化マンガンを挟む。 粘土を挟む高角度な節理あり。	D' CL' CM'	[CL]			9/21 2.00	80	140／ケーシング		25.0				
	35.25	4.00														9/22 4.00	60							
				アプライト	明褐灰 浅黄	Bg Cg	IIg IIIg IVg Ig	bg			全体に褐色化し，節理に沿って酸化マンガンを挟む。	CH'				9/23 7.40	74			10.0		泥水 10	10
	32.08	7.50																						
				花崗斑岩	明褐灰 浅黄	Bg Cg	IIg IIIg Ig IIg	dg			全体に緻密で石基はアプライトと同じであるが，斑晶を多く含む。 全体に褐色化し，節理に沿って酸化マンガンを挟む。	CM'				9/25 10.00	92						
	30.18	9.60																						
10				アプライト	灰白 にぶい黄橙 灰白	Cg Bg	Ig IIg IIIg IIg IIIg Ig IIg IIg	bg	β	2	アプライト，上位との境界不明瞭。 深度9.60～73.10m:アプライト。 石基は径0.1mm以下であり，斑晶をほとんど含まない。 深度11.01～11.05m：花崗斑岩をレンズ状に挟む。 全体に褐色化し，節理に沿って酸化マンガンを挟む。	B' CH' B' CM'	[CM]			9/26 15.50	69	83／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	25.0	150	0.0	泥水 15	15
					にぶい黄橙 灰白	Cg Cg Eg Cg Cg	IIg IVg IIIg IIg IIg IIg IIg	cg bg cg			深度16.51～19.85m：変質により脆弱化，節理に沿って酸化マンガンと灰白色粘土を挟む。 深度17.81m：シーム。傾斜51度。幅4mm，褐色，灰白色粘土状。	CM' D' CM'												
20					灰黄褐 灰白 にぶい黄橙 灰白	Eg Cg Cg Cg Dg	IIg IIIg IVg IIg IIg IIg IIg IIg	bg cg bg	γ		深度20.10～20.42m:ペグマタイト。径5～50mmの長石，石英の巨晶を主体とし，径1～9mmの黒雲母を伴う。 深度20.55～20.95m，21.62～21.72m：酸化マンガン濃集。 深度22.76～23.02m：高角度な節理あり。 深度23.13m以深，傾斜50～60度の節理発達。 深度23.24～23.34m：酸化マンガン濃集。	CL' CM' CL'				9/27 20.70	113	76				0.0		
	16.78	24.39			浅黄 浅黄橙	Dg	IVg IIIg IIg IVg	cg bg bg cg			節理が発達し，酸化マンガン濃集。													
	15.97	25.28		花崗斑岩	灰白	Dg Cg Cg	IIg IVg IIIg IVg IIIg	bg cg bg			ペグマタイト：径3～32mmの石英，径3～20mmの長石及び径1～4mmの変質した黒雲母を伴う。 深度26.88～27.00m：破砕帯（Hj）。幅16～18mm。角礫状。上盤は堅岩、下盤は角礫～岩片状。逆断層的センス。	CM' CL												
	15.86	25.40		ペグマタイト アプライト																				

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

原位置試験（孔内水平載荷）　室内試験

No.13(1/4)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（標準貫入試験）試験 （N値）	（N値～深度 0 10 20 30 40 50）	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
30				アプライト	浅黄橙	Dg	Ⅳg	cg	γ	2		CL'	[CM']						9/28 27.30	113		ダブルコアチューブ／ダイヤビット	25.0	150	0.0	泥水 15	15
					灰白	Cg	Ⅱg			3	深度28.50～31.30m：変質帯。上盤55度，下盤41度。粒状化する。 深度28.98m：シーム。傾斜43度。幅2～3mm，黒褐色シルト状。上盤は堅岩。 節理に沿って樹枝状に酸化マンガン汚染。																
					灰白																						
					暗褐	Cg	Ⅱg																				
					浅黄橙		Ⅳg																				
					灰白		Ⅱg			2																	
							Ⅲg			3																	
							Ⅱg																				
					灰白	Cg	Ⅰg			γ	径1～8mmの変質を受けた長石斑晶を伴う。黒雲母は分解して酸化鉄斑を形成する。																
							Ⅱg													113							
							Ⅰg																				
						Bg	Ⅱg					B'															
					淡赤橙	Cg	Ⅳg	cg				CH'															
								bg																			
					褐灰		Ⅱg					CM'															
					にぶい橙	Cg	Ⅲg	bg																			
						Bg	Ⅱg					CH'															
						Cg	Ⅳg				深度36.11～36.17m：晶洞を伴うペグマタイト。 深度36.53～36.54m：シーム。傾斜55～58度，幅3～5mm。粘土状・粘土混じり砂礫状。								9/29 36.00							
						Bg	Ⅱg																				
						Cg	Ⅳg					CM'	[CH]							79							
							Ⅲg																				
							Ⅱg																				
						Dg	Ⅳg	cg			深度37.84m：シーム。傾斜53度。幅3～5mm，砂・細片状。 上下盤に幅0.1～0.2mmの褐色粘土を挟む。 深度38.38～38.60m：節理及びその周辺に黄鉄鉱が点在する。 深度39.24m：節理に黄鉄鉱を挟む。																
						Cg	Ⅲg	bg																			
					灰赤	Bg	Ⅰg					CH'															
						Cg	Ⅱg																				
							Ⅱg					CM'							9/30 40.50							
					にぶい橙	Bg	Ⅰg	bg																			
						Cg	Ⅱg				深度41.32～41.45m：ペグマタイト。径2～40mmの石英，径2～18mmのカリ長石からなる。 深度42.17～42.30m：石英脈発達。 深度42.29～42.30m：晶洞を伴う石英脈あり。 深度43.30～43.40m：ペグマタイト。径2～14mmの石英，カリ長石からなる。密着節理が密集している。																
					にぶい赤橙	Bg	Ⅱg					CH'															
						Cg	Ⅲg	cg																			
							Ⅳg	bg												65							
							Ⅲg																				
							Ⅱg					CM'															
					にぶい橙	Bg	Ⅲg																				
						Cg	Ⅱg																				
						Bg	Ⅱg																				
						Cg	Ⅲg																				
						Cg	Ⅳg	bg																			
					明赤灰	Bg	Ⅱg	cg				CM'							10/2 45.50							
						Cg	Ⅲg	bg																			
						Dg	Ⅳg					CM'															
					灰白	Eg	Ⅴg	bg		2	深度46.54～46.60m：変質帯。上盤48度。細角礫状。幅0.5mmの褐色粘土を挟む。 深度47.03m：シーム。傾斜60度。幅1mmの褐色粘土を挟む。	D'															
					明褐灰																						
					明赤灰																						
					にぶい橙	Cg	Ⅱg	bg												95							
							Ⅲg																				
							Ⅱg																				
							Ⅲg																				
						Bg	Ⅳg																				
							Ⅲg				深度50.32～50.38m：幅34mm，土砂状。								10/3 50.70							
						Cg	Ⅴg																				
							Ⅲg					CM'															
							Ⅱg																				
							Ⅳg				深度51.38m：節理に沿って黄鉄鉱付着。																
							Ⅲg																				
					淡赤橙		Ⅱg						[CM']														
							Ⅲg																				
						Bg	Ⅳg																				
						Cg	Ⅲg													79							
							Ⅳg																				
						Bg	Ⅲg	bg			深度53.05～53.24m：岩片状をなす。																
							Ⅲg																				
					明赤灰	Cg	Ⅳg				深度53.80～58.20m：黒雲母を多く含む。 深度53.85m以浅は，酸化マンガン汚染を受けているが，以深では緑色変質の影響が強く，黒雲母の緑泥石化，節理に沿っての黄鉄鉱晶出が認められる。								10/4 54.50							
							Ⅲg	cg																			
					褐灰	Bg	Ⅱg	bg																			
						Cg																					
						Bg																					
						Cg																					
					赤灰	Bg						CH'															
						Cg	Ⅳg																				
						Bg	Ⅲg																				
							Ⅱg																				
						Bg	Ⅲg																				
						Cg	Ⅱg																				
							Ⅳg	cg																			
					明赤灰	Dg																					
						Cg	Ⅱg	bg			深度58.44～58.87m：節理に沿って樹枝状～繊状に酸化マンガン付着。 深度58.66～58.67m：約1mm間隔で節理が密集する。									110							
					にぶい橙	Dg	Ⅳg																				
							Ⅳg																				
							Ⅱg																				
					淡赤橙		Ⅲg					CM'															
60						Cg	Ⅱg																				
							Ⅳg																				
					赤灰		Ⅲg				深度60.45～61.80m：黒雲母を多く含む。																
							Ⅱg				深度61.84～62.10m：変質帯。上盤42度。灰白色に脱色し粘土化。角礫状，岩片状で，間を灰白色粘土が充填する。																
					明赤灰		Ⅳg																				
					にぶい褐																						
					灰白	Eg	Ⅵg	cg	γ	3									10/5 62.35							
					明褐灰						深度62.10～62.33m：破砕帯(Hj)。網目状に粘土を挟む。																
					灰白	Dg	Ⅴg	bg		2	深度62.33～62.37m：破砕帯(Hc)。下盤57度。粘土状。	CL'	[CL]							94							

コア採取率 ―○― （%） 最大コア長 ―○― cm RQD ―┐― [%]

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（標準貫入試験）試験 N値	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
70				アプライト	灰白	Dg	Ⅱg Ⅴg Ⅳg	bg	γ	2	深度65.32～68.58m：節理に褐色，灰白色粘土を挟む。	CL'	[CL]						94						
					明赤灰	Cg	Ⅲg																			
						Dg	Ⅱg																			
					灰白	Cg	Ⅳg	cg			深度66.65～67.40m：節理に沿って樹枝状に酸化マンガン縞が付着する。変質により灰白色に脱色し，軟質。	CL'													
						Dg	Ⅳg																			
						Cg	Ⅲg Ⅴg																			
						Dg	Ⅳg Ⅴg																			
					明赤灰	Eg	Ⅳg											10/6 67.70					0.0	泥水 15	15
						Cg	Ⅳg																			
						Dg	Ⅱg																			
						Cg	Ⅳg																			
					明赤灰	Bg	Ⅱg	bg				CL'														
					にぶい橙	Cg																				
					灰白	Bg		ag				CH'	[CH]						83							
						Cg		bg cg																		
					明赤灰	Bg		bg				CM'														
					灰白	Cg																				
					明赤灰						深度71.65～71.68m，72.06～72.22m：節理に沿って樹枝状～縞状の酸化マンガン付着。	CH'						10/11 72.00							
					橙			cg																		
					灰白																					
					明赤灰			bg				B'														
	-27.37	73.10		花崗斑岩	にぶい黄橙						花崗斑岩，上位との境界漸移的。深度73.10～84.20m：黒雲母花崗岩。径3～7mmの石英，長石，黒雲母の斑晶からなる。															
	-28.46	74.30		黒雲母花崗岩																						
					明赤灰			cg				CM'														
					灰白			bg			深度74.52～74.59m：破砕帯(Hb)。上盤42度，下盤52度，幅約30mm。粘土混じり砂状。上下盤に灰白色粘土を伴う。															
					にぶい黄橙						深度75.44～76.95m：節理及び周囲の基質も酸化マンガン汚染を受けている。深度75.84m以深，節理に灰白色粘土を伴うことが多い。	CH'							90							
								cg																		
					灰白			bg																		
					にぶい黄橙																					
					灰白			cg				CM'						10/12 78.00								
					赤灰			bg																		
80								cg	β																	
					灰白			bg																		
								cg																		
								bg				CH'														
								cg			深度81.35～81.41m：幅20mm，土砂状を呈し，幅0.1mmの灰白色粘土を伴う。深度81.16～83.63m：節理に灰白色粘土を伴うことが多い。深度81.46～83.11m：節理及びその周辺に黄鉄鉱の微晶を伴う。	CM'							108	76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	25.0	150			
					赤灰							CL'														
								bg																		
								cg																		
								bg																		
	-37.43	84.20		アプライト	にぶい黄橙						アプライト，上位との境界漸移的。深度84.20～99.75m：アプライト。石基は径0.1mm以下であり，斑晶は非常に少ない。							10/13 84.45								
					明赤灰			bg				CM'														
													[CM]											0.0	泥水 10	10
					明褐灰			cg			深度86.54～86.59m：節理に黄緑色粘土を挟む。	CL'														
									2										103							
					明褐灰			bg				CM'														
											深度89.54～93.35m：節理に沿って灰白色粘土を伴うことが多い。															
90					灰白			cg										10/14 91.15								
								bg	γ			CL'														
					淡黄			cg																		
								bg				CM'														
					灰白			cg																		
					明紫灰			bg	β		深度93.29～93.35m，94.09～94.25m：節理及びその周囲に黄鉄鉱の微晶を伴う。	CH'														
					明赤灰														116							
								bg			深度95.22m：節理に沿って黄鉄鉱が晶出。															
												CM'														
					灰白			cg	γ																	
								bg																		
								cg																		
								bg										10/16 98.10								
								cg			深度99.75～100.00m：花崗斑岩。径5～10mmの石英，長石及び径1mmの黒雲母の斑晶を10%程度含み，石基は径0.2mm程度である。	CL'													
								bg				CM'							95							

コア採取率 ―△―（%） 最大コア長 ―○― cm RQD ┐[%]

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験)試験 (N)値	(N値～深度 0 10 20 30 40 50	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
	-51.52 -51.75	99.75 100.00		アプライト 花崗斑岩	灰白	Cg	Ⅳg Ⅱg Ⅳg	bg cg bg	γ	2		0 50 100 22 142	CM	[CM]						10/17 00.00	95	76		25.0	150	0.0	泥水 10	10

ボーリング柱状図

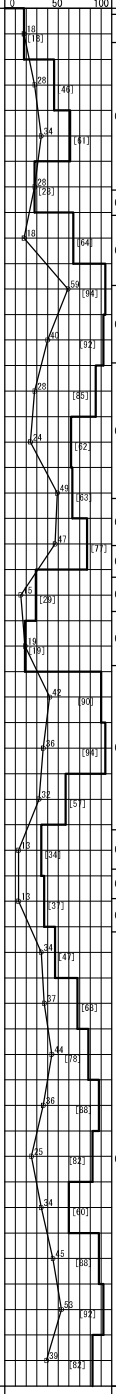
調　査　名

事業・工事名

ボーリングNo.

ボーリング名	No.14	調査位置				北　緯	
発注機関			調査期間			東　経	
調査業者名		主任技師	現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	+ 91.43 m	角度	180° 上 90° 下0° 25°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 89.06°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°
総掘削長	150.00 m	使用機種		試錐機		ハンマー落下用具	
				エンジン		ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
	91.32	0.12	高有機質土								
				アプライト	灰白	Eg	VIg				深度0.12～22.15m:アプライト。石基は径0.1mm以下であり，石英，長石の斑晶は点在程度である(0.5%以下)。
					にぶい黄橙	Cg	IIg				
					灰黄褐	Bg					深度1.05～1.12m：流入土砂。
					にぶい黄橙	Cg					
						Eg	VIg	cg			深度2.65～3.00m：流入土砂。
						Cg	IIg				
	88.01	3.77				Dg	VIg				
				花崗斑岩	灰白	Cg	IVg IIIg			2	花崗斑岩，上位との境界傾斜35度，下位との境界傾斜18度。
	87.06	4.82				Bg	VIg				深度4.74～4.82m：灰緑色シルト混じり砂礫を挟む。
				アプライト	にぶい黄橙	Cg	IIIg				
							IIg	bg			
					褐灰	Bg					
					にぶい黄橙		IIIg				
							IIg	cg			
						Cg	IIIg				深度8.00～8.08m:明褐色流入粘土有り。
					褐灰	Eg	VIg	dg	γ	4	深度8.44～8.62m：変質帯。上盤55度，下盤43度。シルト状，一部葉片状。上下に幅0.3～0.5cmの明褐色シルト(流入粘土)及びシルト質砂を挟む。
							IIIg				
					にぶい黄橙	Cg	IIg				
							IVg	cg			
							IIIg				
10					灰白	Bg	Ig				
					灰黄褐	Cg	IIIg IVg	bg			
						Cg	IIIg			2	深度11.95～12.88m：やや変質強く，軟質化。
						Dg	IVg				
						Cg					
					オリーブ黄	Bg	IIg				
							IIIg	cg			深度14.35m以深，高角度な節理多く，流入粘土を挟む。
						Cg					
							IVg				
							IIg				
							IVg				
					灰白	Dg	Vg	dg		4	深度16.61m：シーム。傾斜42度。幅1～3mm，固結灰白色粘土状。
						Cg	IIg				深度16.61～16.77m：上盤42度，下盤50度。幅1cm程度の礫混じり砂状。
							IVg	cg			
						Bg	IIg				深度17.87～17.96m：明褐色礫混じり砂質シルト状。
						Cg	IIIg				深度18.42～18.55m:幅2～5mmの明褐色流入粘土を挟む。
							Vg	dg			深度19.23～19.37m：変質帯。上盤46度，下盤45度。シルト混じり礫状。
							IVg				
						Bg	IIg				
						Cg					
							IIIg				
						Bg	IIg	cg		2	花崗斑岩，上位との境界漸移的。深度22.15～25.16m：花崗斑岩。径2～3mmの石英，長石及び径1～2mmの黒雲母の斑晶を15～20%程度含み，石基は径0.1mm程度である。深度22.25m，22.85m：幅5mmの明褐色流入粘土。
	71.36	22.15			褐灰	Cg					
				花崗斑岩	灰白		IVg		β		
							IIg				深度23.14～23.20m：礫混じり流入粘土，礫は径10～20mm。深度23.83m：幅10mmの礫混じり明褐色流入粘土。深度23.90m：幅25mmの礫混じり明褐色流入粘土。
						Dg	IVg				
					にぶい黄橙	Bg	IIg				
							IVg				
	68.63	25.16		アプライト		Cg	IIg	bg			深度25.06～25.10m：礫混じり砂質シルト(流入粘土)，下盤40度，条線有り。アプライト，上位との境界漸移的。深度25.16～55.75m：アプライト。石基は径0.1mm以下であり，径2～5mm程度の石英，長石を主とする斑晶が点在する(0.5%以下)。



標尺 (m)	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	(標準貫入試験) N値～深度	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
								1/6 1.50	100	140／ケーシング						
									81	114／ケーシング		5.0	125	0.0	泥水3	3
								1/8 6.10								
								1/11 8.05	94							
									99		ダブルコアチューブ／ダイヤビット	10.0	150	0.0	泥水3	0
		[CM]						1/12 15.95		90／ケーシング						
									97							
								1/13 23.60								
									77							
								1/16 25.65	83	76		30.0	200			

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
30	64.74	29.45		アプライト	にぶい黄橙	Cg	Ⅲg Ⅰg Ⅲg Ⅳg Ⅲg	bg	β			CM'	[CM]											
				花崗斑岩		Bg	Ⅰg Ⅱg	cg			花崗斑岩，上位との境界不明瞭。	CH'					83							
						Cg	Ⅳg Ⅲg					CM'												
						Bg	Ⅱg	bg			深度30.80m：幅5mmの礫混じりシルト（流入粘土）。 深度31.00～33.65m：長石の白色化が認められる。	CH'	[CH]			1/17 31.55								
						Cg	Ⅲg Ⅰg Ⅱg Ⅳg Ⅲg					CM'												
						Bg	Ⅰg				深度33.65～35.15m：節理少ない新鮮岩。													
	60.16	34.50		アプライト							アプライト，上位との境界不明瞭。	B'					78	76						
					青灰		Ⅲg Ⅳg Ⅲg		γ															
					にぶい黄橙	Cg	Ⅳg Ⅲg Ⅱg	cg			深度36.60～40.57m：変質により一部軟質化。溶脱し節理に沿って粘土を挟む。	CM'				1/18 36.90								
40					灰黄褐	Dg Cg Dg	Ⅳg Ⅱg Ⅳg					CL'												
						Cg Bg	Ⅲg Ⅰg Ⅱg				深度40.56～40.57m：破砕帯(Hb)。下盤20度，幅12mm，黒褐色シルト混じり砂礫状。 深度40.57～45.58m：全体に褐色化している。	CM'	[CM]											
												B'												
												CH'					114							
					にぶい黄橙	Cg	Ⅲg	bg	β															
	51.78	43.75		花崗斑岩		Bg Cg Bg	Ⅱg Ⅲg Ⅱg				花崗斑岩，上位との境界漸移的。	CM'						76／セメンティング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	30.0	200	0.0	泥水3	0
												CH'												
	50.10	45.60		アプライト	黄橙	Eg	Ⅵg	dg		2	深度45.58～47.80m：強溶脱帯。 アプライト，上位との境界は破砕帯傾斜30度。 深度45.63～45.70m：破砕帯(Hc)。上盤30度，下盤58度。幅60～90mm，明黄色礫混じりシルト状及び明褐色シルト混じり砂礫状。 深度45.71～56.00m：溶脱帯。													
50					淡赤橙	Dg	Ⅴg Ⅳg																	
					灰白	Cg Dg	Ⅲg Ⅳg Ⅲg	cg			深度48.50～50.50m：高角度な節理発達。					1/19 47.60								
					明褐灰	Cg Dg	Ⅳg Ⅲg					CL'	[CL]				83	76						
						Eg	Ⅵg	dg			深度51.26～51.30m：変質帯。下盤45度。幅50mm，暗褐灰色礫混じり砂質シルト状。 深度52.75～52.78m：変質帯。上盤17度。幅50mm，暗灰色シルト混じり礫状。					1/20 51.25								
						Dg	Ⅱg	cg																
						Eg	Ⅵg	dg	γ								101	76／セメンティング						
						Dg	Ⅱg Ⅲg	cg			深度54.55m以深，全体に薄く褐色を帯びる。													
	40.90	55.75		花崗斑岩	にぶい黄橙	Cg	Ⅳg				花崗斑岩，上位との境界不明瞭。 深度55.75～59.80m：花崗斑岩。 径5～10mmの長石，石英，黒雲母の斑晶を20～30%程度含み，石基は径0.1mm以下である。													
	40.18	56.55		アプライト				bg								1/22 57.33								
						Dg	Ⅲg	cg			深度58.11～58.48m：変質帯。上盤42度，下盤50度。網目状にシルトを挟む。						86	76						
	38.50	58.40		花崗斑岩																				
	37.23	59.80		アプライト		Cg	Ⅲg	bg			アプライト，上位との境界不明瞭。 深度59.80～106.58m：アプライト。 石基は径0.1mm以下であり，径3～10mm程度の石英斑晶が点在する(0.5%以下)。 深度61.55～65.00m：斑晶がやや多くなる。	CM'	[CM]			1/23 60.70								
60	36.60	60.50		アプライト																				
	36.37	60.75		花崗斑岩																				
	35.78	61.40		アプライト																				
	35.65	61.55		花崗斑岩													95							
				アプライト		Dg	Ⅲg Ⅲg	cg				CL'	[CL]											

コア採取率 ―△―（%）　最大コア長 ―○― cm　RQD ┐[%]

（標準貫入試験）試験　（N値～深度　0 10 20 30 40 50）

原位置試験（孔内水平載荷）　室内試験

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
70	29.62	68.20		アプライト	にぶい黄橙	Dg Cg	Ⅲg	cg bg	γ	2	深度62.92～62.97m：変質帯。上盤37度，下盤36度。網目状にシルトを挟む。	CL'						76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	30.0	200	0.0	泥水3	0
						Dg		bg			深度65.00～80.00m：溶脱帯。							76／セメンティング						
					明褐灰	Cg Dg		cg bg									95							
						Eg Dg	Ⅱg	cg		3	深度66.18～67.20m：変質帯。上盤28度，下盤30度。砂礫状。 深度67.72～67.78m：変質強く軟質化。 深度67.78～68.11m。破砕帯(Hc)。上盤40度，下盤32度。礫状～砂質シルト状。下盤側に幅25mm粘土状。	D'												
					にぶい黄橙	Eg	Ⅵg	dg																
	27.22	70.85		花崗斑岩	明褐灰	Dg	Ⅳg Ⅱg	bg	γ		花崗斑岩，上位との境界不明瞭。		[CL]			1/25 69.00								
												CL'												
					浅黄橙			cg bg			深度70.00～74.25m：傾斜40～50度の平行する節理が5～15cm間隔で発達。 深度70.60～70.70m：ペグマタイトを挟む。 アプライト，上位との境界傾斜40～50度。	CM'				95								
						Cg																		
						Dg	Ⅳg	cg bg			深度72.00～74.63m：全体に変質し，溶脱進みやや軟質化する。節理に沿って弱く褐色化する。	CL'				1/26 73.10							
								cg																
					明褐灰	Cg	Ⅱg Ⅲg	bg			深度74.63～77.20m：やや褐色化弱くなる。	CM'					90							
					にぶい黄橙	Dg	Ⅳg			2	深度77.20～78.40m：節理に沿って黒褐色を帯びる。	CL'	[CM]											
80					明褐灰	Cg	Ⅲg					CM'												
							Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅱg	cg			深度81.20～85.10m：密着した節理が多く，弱く褐色を帯びる。	CL' CM'				1/27 80.55							
						Dg Cg	Ⅳg	bg			深度83.05～83.40m：やや斑晶が多くなる。	CL'					97	76						
						Dg Cg Dg		cg			深度84.96m：シーム。傾斜52度。幅4～7mm，明褐～褐色礫混じりシルト状。		[CL]											
					淡黄	Eg	Ⅵg	dg	δ	4	深度86.12～86.60m：破砕帯(Hc)。上盤47度。シルト～礫混じりシルト状。 深度86.60～86.95m：破砕帯(Hb)。傾斜不明。シルト混じり礫状。 深度86.95～87.03m：破砕帯(Hc)。下盤60度。砂質シルト状～褐色粘土状。 深度87.03～88.36m：変質帯。上盤60度，下盤54度。砂礫状。	D'				1/29 87.90								
					明褐灰	Cg	Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅲg	bg	γ	2	深度88.36m：シーム。傾斜54度。 深度89.57～90.13m：ペグマタイト。石英，長石の巨晶を含む。 深度90.13～98.52m：全体に褐色化するが，変質は弱い。	CM'	[CM]				101							
90					灰白		Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅲg	cg bg																
					にぶい黄橙	Dg Cg	Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg	cg bg		2	深度93.05～93.55m：高角度な節理密集部。 深度93.55～98.52m：節理に沿って褐色化著しい。	CL' CM'				1/30 95.75	74							
					灰白	Dg	Ⅴg Ⅳg	dg cg		4	深度98.52～98.60m：変質帯。上盤46度，下盤50度。網目状にシルトを挟む。	CL'				2/1 97.60	97							

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
100				アプライト	灰白	Dg Eg Cg	Ⅳg Ⅴg Ⅲg Ⅱg Ⅰg	cg bg	γ β	4	深度99.62m：シーム。傾斜53度。幅1～3mm，明褐灰色シルト状。 深度99.62～99.81m：変質帯。上盤53度，下盤53度。網目状にシルトを挟む。 深度102.0m以深，黒雲母を多く含み，組織は全体に均質である。	CL' CM'				2/5 103.60	97	76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	30.0	200	0.0	泥水3	0
110	-5.16	106.58		花崗斑岩	にぶい黄褐 褐灰 褐灰 にぶい黄褐 灰黄褐 灰白	Bg Cg	Ⅱg Ⅰg Ⅲg Ⅱg	cg bg	β		深度104.95～107.60m：全体に褐色化顕著。 花崗斑岩，上位との境界傾斜60度。 深度106.58～116.40m：花崗斑岩。径3～10mm程度の石英，長石ー部黒雲母の斑晶を1～3%程度含み，石基は径0.1～0.2mm程度で，全体に黒雲母を多く含み，組織は均質である。	CH' CM' CH'				2/6 109.75	92						
120	-14.06	116.40		アプライト	灰黄褐 灰白 褐灰 明黄褐 褐灰 灰黄褐 褐灰 明黄褐 にぶい黄橙 にぶい橙 にぶい黄橙	Bg Cg Bg Cg Bg Cg

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験) 試験 (N)値	N値～深度	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
140	-35.82	140.40		アプライト	灰褐	Cg	Ⅳg	cg	β	2	深度135.32～135.51m：変質帯。上盤45度，下盤47度。軟質化している。 深度135.51m：シーム。傾斜47度，幅1mm，褐色シルト状。 深度137.35～140.40m：節理に沿って褐色化顕著，岩芯は新鮮。		CL'	[CM]						2/10 (137.35)	92	76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	30.0	200	0.0	泥水3	0
							Ⅱg			3																		
					褐灰		Ⅰg																					
							Ⅱg																					
					にぶい橙		Ⅲg	bg					CM'															
							Ⅱg																					
							Ⅳg																					
							Ⅱg																					
				花崗斑岩			Ⅲg				花崗斑岩，上位との境界傾斜30～35度。 深度140.40～150.00m：花崗斑岩。 径3～5mmの石英，長石，黒雲母の斑晶を60%程度含み，石基は径0.1～0.5mm程度であり，下部には黒雲母を多く含む。																	
					橙		Ⅳg																					
							Ⅲg																					
							Ⅳg						CL'								110							
					にぶい黄橙		Ⅲg	cg					CM'															
							Ⅱg																					
							Ⅳg						CL'															
							Ⅲg																					
						Bg	Ⅱg	bg					CH'															
					にぶい橙	Cg	Ⅳg	cg												2/12 (145.60)								
							Ⅲg																					
							Ⅳg	bg					CM'															
							Ⅲg																					
							Ⅱg																					
							Ⅲg																					
							Ⅳg	cg					CL'								85							
						Eg	Ⅴg																					
						Cg	Ⅰg	bg					CM'															
							Ⅱg													2/13 (150.00)								
	-44.52	150.00																										

ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNo.

ボーリング名	No.15	調査位置				北　緯	
発注機関			調査期間			東　経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	+ 92.98 m	角度	180° 上 90° 下0° 45°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 269.06°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°
総掘削長	150.00 m	使用機種		試錐機		ハンマー落下用具	
				エンジン		ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
	92.91	0.10	高有機質土								シルト質砂。
	92.79	0.27	有機質土混リシルト質砂								
				花崗斑岩	灰白	Eg	VIg	dg	ε	3	深度0.27～8.53m：花崗斑岩。径3～5mmの石英，長石及び黒雲母の斑晶を1～3%程度含み，石基は径0.5mm程度である。
					にぶい黄橙	Dg	IVg	cg	δ	2	
						Eg	VIg	dg	ε	3	深度3.40～7.13m：再掘削。
						Dg	Vg	cg			
					灰黄	Eg	VIg	dg			
					にぶい黄橙	Dg	IVg	cg	γ	2	
					灰黄褐	Cg	IIIg	bg	β	1	
	86.95	8.53		アプライト	褐灰	Dg	IVg	cg	γ	2	アプライト，上位との境界不明瞭。深度8.53～66.55m：アプライト。厚さ2m程度の花崗斑岩を挟む。
						Cg	IIIg / IVg / IIg			1	アプライトの石基は径0.1mm以下であり，下部に黒雲母を多く含み，全体に均質である。斑晶は非常に少なく，厚さ50cm以下で斑晶を有する部分を僅かに挟む。
						Dg	IVg				
10					にぶい黄橙	Cg	IIIg				深度9.57～9.69m間は風化し褐色を帯びたドレライトの貫入岩である。深度12.62～13.20m間は厚さ15～20cmのドレライトの貫入岩。ドレライトの上位との境界32度，下位との境界不明瞭。
						Dg / Cg					
						Dg / Cg	IVg				
	84.06	12.62		ドレライト	オリーブ黒	Dg					深度12.04m：シーム。傾斜78度。幅0.3mm，灰白色粘土状。幅1～2mmの石英脈を数cm程度正断層的にずらす。
	83.65	13.20		アプライト	灰オリーブ	Cg	IIIg	bg	β		深度12.31m：シーム。傾斜6度。幅4mm，砂・礫状。幅1mmの石英脈を見かけ1.3cmずらす。
						Bg	IIg				
						Cg	IIIg / IIg	bg			深度14.79m：シーム。傾斜10度。幅0.7mm，灰白色シルト状。傾斜65度，幅0.3mmの石英脈を見かけ0.5cm正断層的にずらす。
					にぶい黄	Cg	IVg	cg	γ		深度15.00～19.08m：高角度及び低角度の節理に沿って流入粘土を含む角礫状部が認められる。
						Cg	IIIg	bg			
							IVg	cg			
							IIIg	bg			深度17.97m，19.08m：交差した節理部分に幅3～5mmの開口したずれが認められる。
						Dg	IVg	cg		2	
20						Cg	IIg	bg			深度20.18～20.57m：斑晶多くなる。
							IIIg / IIg	cg			
						Bg	Ig				深度21.91m：シーム。傾斜75度，幅1mm，明褐色砂状。幅1mm，傾斜30～50度の石英脈が正断層的に見かけ6.2cmずれる。
						Cg	IIg		β		
					黄灰	Bg	Ig	bg			深度24.58～24.60m：破砕帯(Hb)。下盤20度。幅20mm，明褐色礫混じり砂質シルト状(流入粘土)。礫は径0.5～2.5cmの亜角，表面にせん断面有り。シルト中に白色固結シルト片含む。
						Cg	IVg				
						Bg	Ig				深度24.66～24.67m：破砕帯(Hc)。上盤39度。幅12mm，灰白色砂状。白色固結シルト片含む。
						Cg	IIg				深度25.83～25.93m：破砕帯(Hc)。上盤30度，下盤45度。幅50mm，礫状主体。
						Bg	Ig				深度25.89～25.91m間に傾斜30度で流入粘土を挟む。

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	N値～深度	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
D'									140／ケーシング	ダブルコアチューブ／メタルビット					
CL'								100			10.0		0.0	泥水2	0
	[D]						1/22 3.00								
								100	114／ケーシング						
D'							1/23 4.00								
								133			0.0				
							1/24 6.00			ダブルコアチューブ／ダイヤビット					
CL'												90			
CM'															
CL'								89			10.0				
CM'															
CL'															
CM'	[CM]						1/25 14.00								
CH'															
CM'								100			20.0		0.0	泥水1	0
CL'							1/26 16.00		76						
CM'								82			25.0				
CL'												150			
CM'															
CH'							1/27 23.00								
CM'															
B'	[B]														
								83			10.0				
CM'															
B'															

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
	73.39	27.70		アプライト		Bg	Ig	bg			花崗斑岩，上位との境界不明瞭。	B'							83			10.0				
				花崗斑岩		Cg	Ⅲg	cg	β		深度28.59～28.63m：上盤56度，幅4.0cm，褐灰色礫混じり砂状。縁い。礫の表面にせん断面有り。	CM'						1/29 28.80								
	72.01	29.65				Bg	Ⅱg	bg				CH'														
30				アプライト			Ig				アプライト，上位との境界漸移的，下位との境界不明瞭。	B'														
	71.02	31.05				Cg	Ⅱg																			
				花崗斑岩			Ig	cg	γ		深度31.03～31.05m，31.60～31.62m：傾斜50～60度。幅0.5～1.0cm，砂状～砂質シルト状。褐灰～明褐色の流入粘土を挟む。	CM'							63							
						Dg	Ⅳg																			
						Cg																				
	69.46	33.26				Bg					アプライト，上位との境界漸移的。	B'														
					黄灰	Cg	Ig					CM'						1/30 34.80								
													[B]													
							Ⅱg	bg				CH'							58			25.0				
						Bg					深度37.96m：傾斜10度の節理周辺，幅10～15cm，弱い変質を受ける。流入粘土を薄く挟む。															
40							Ig					B'						1/31 40.00								
																			68							
						Cg	Ⅲg	cg				CM'						2/1 44.40								
							Ⅱg																			
					褐灰	Bg	Ig	bg	β	2	深度45.13～49.13m：所々に傾斜20～45度のうねった明瞭な流理構造が認められる。	B'						2/2 45.20	40	76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	150	0.0	泥水1	0
							Ⅱg																			
							Ⅲg												45							
							Ⅱg																			
						Cg	Ig											2/5 47.70								
					灰黄褐		Ⅲg				深度47.80～47.93m，49.45～49.70m：節理に沿って酸化マンガンが沈着し黒色を帯びる。	CM'														
							Ⅱg																			
							Ⅲg																			
						Bg	Ig																			
							Ⅳg																			
50						Cg	Ⅲg																			
								cg			深度50.60～51.03，52.16～53.40m：変質により弱く溶脱する。								86							
					褐灰	Bg	Ig	bg				B'														
							Ⅳg	cg			深度51.60～52.00m：酸化マンガンが眼球状に濃集し、それを取り巻いて褐鉄鉱が帯状に分布する。深度52.16～53.40m：変質により弱く溶脱する。		[CM]													
					明褐灰	Cg	Ⅲg																			
							Ⅳg					CM'														
					褐灰		Ⅱg	bg			深度54.04m：シーム。傾斜75度。幅4mm，黄褐色礫混じりシルト状。							2/6 53.70				40.0				
						Bg	Ig					B'														
					明褐灰	Cg	Ⅲg				比較的長石を多く含む。	CM'														
							Ⅱg												54							
							Ⅲg	cg																		
							Ⅱg																			
					褐灰	Bg	Ig				深度57.60～58.70m：部分的に傾斜15～30度の流理が認められる。	B'														
						Cg						CM'														
							Ⅲg																			
									α																	
60						Bg	Ig	bg				B'						2/7 59.60								
					炭ホリーブ								[B]													
					にぶい黄橙		Ⅲg												56							
							Ⅱg																			
						Cg	Ⅳg					CH'														
							Ⅱg		β			CM'														
						Bg	Ig					B'														

No.15(2/5)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
70	45.92	66.55		アプライト	灰黄褐	Bg	Ⅰg	bg	β		花崗斑岩，上位との境界不明瞭。 深度66.55～120.50m：花崗斑岩。 径2～5mm程度の石英，長石，黒雲母の斑晶を1～40%程度含み，石基は径0.1～0.5mm程度である。	B'	[B]			2/8 65.60	56		ダブルコアチューブ／ダイヤビット	40.0	150	0.0	泥水1	0
					にぶい黄橙	Cg	Ⅳg Ⅲg					CH'												
						Bg	Ⅰg					B'												
						Cg	Ⅲg					CM'												
					明黄褐		Ⅰg																	
							Ⅲg																	
					褐灰	Bg	Ⅰg		α			B'					71						
					にぶい黄橙		Ⅱg					CH'				2/9 70.30								
						Cg	Ⅳg Ⅲg					CM'												
							Ⅱg																	
					灰白	Bg	Ⅰg					B'												
					にぶい黄橙	Cg	Ⅲg					CM'												
							Ⅰg										44							
							Ⅱg					CH'	[CH]											
						Bg	Ⅱg																	
					暗灰黄		Ⅰg					B'				2/10 73.80								
					灰黄褐	Cg	Ⅳg	cg	β	2														
					にぶい黄橙	Bg	Ⅱg	bg				CH'												
						Cg																		
						Bg	Ⅰg					B'												
					灰						深度77.30～77.36m：傾斜62～67度の節理に沿ってシルト～砂を挟む。	CM'					79							
					にぶい黄橙	Cg	Ⅱg																	
80					灰							B'												
					にぶい黄橙		Ⅰg																	
							Ⅱg Ⅲg					CH'												
						Bg										2/12 80.90		76		40.0	150			
	35.14	81.80		アプライト	灰		Ⅰg		α		アプライト，上位との境界傾斜25～30度。 深度81.80～83.21m：黒雲母を多く含む粗粒なアプライト。	B'					52					0.0	泥水1	1
					灰オリーブ				β			CH'												
	33.56	84.03		花崗斑岩	灰		Ⅱg		α		花崗斑岩，上位との境界不明瞭。 深度84.03～85.00m：やや斑晶が少ない。 深度84.75～84.78m:捕獲岩有り。	B'				2/13 84.80								
					にぶい黄橙		Ⅰg																	
					灰				β			CH'	[B]											
							Ⅱg																	
					にぶい黄橙	Cg	Ⅲg					CL'												
						Eg	Ⅵg		δ	3	深度87.70m：シーム。傾斜12度。幅1～2mm，粘土状。 深度87.74～88.00m：変質帯。上盤27度。黄褐色シルト質砂状。													
						Dg	Ⅳg Ⅲg	cg	γ								84							
					灰白		Ⅳg																	
					暗オリーブ灰	Cg	Ⅱg		β			CM'												
90				花崗斑岩			Ⅰg																	
					灰	Bg	Ⅱg	bg	α		深度91.15～92.05m：斑晶やや細粒。 径2～3mm程度の石英斑晶を含む。	B'				2/14 92.05								
							Ⅰg																	
					明褐				β	2														
						Cg	Ⅳg Ⅲg	cg	γ		深度94.18～94.79m：傾斜70～75度の節理に沿って砂～シルトを挟む。	CM'												
					にぶい黄橙		Ⅰg					B'					83							
						Bg	Ⅲg	bg	β															
					にぶい黄褐		Ⅱg					CH'												
							Ⅳg																	
							Ⅱg																	
					灰黄褐	Cg	Ⅳg Ⅲg	cg	γ		深度97.82～97.85m：破砕帯(Hc)。上盤72度，下盤67度。幅12mm，褐色・灰白色シルトの互層状。	CL'	[CM]											
							Ⅱg					CM'												
							Ⅲg																	

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

原位置試験（孔内水平載荷）　室内試験

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
100				花崗斑岩	灰黄褐	Cg Dg	Ⅲg Ⅳg	cg	γ	2	深度99.00～99.85m：斑晶少ない。 深度99.40～100.35m：傾斜56～71度の節理発達し，褐色・灰白色シルトを挟む。	CM' CL'				2/15 99.40	83							
					にぶい黄橙	Cg	Ⅲg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅲg Ⅳg				深度101.55～102.60m：斑晶少ない。	CM'	[CM]			2/16 101.00	31							
					灰黄褐	Bg Cg	Ⅰg					B'	[B]			2/19 105.15	101							
						Bg Cg	Ⅲg Ⅰg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅲg				深度106～120m:傾斜70度程度の密着した節理に微小な黄鉄鉱付着。	CM'					82							
						Bg	Ⅱg																	
110					明褐	Cg	Ⅳg																	
					青灰	Bg	Ⅰg Ⅱg		β	1		B'	[CM]											
						Cg	Ⅰg Ⅱg				深度111.70～120.50m：斑晶が少なくなり（1～3%程度），石基は径0.2～0.5mm程度で黒雲母を多く含む。	CM'				2/20 113.20				40.0				
						Bg	Ⅰg	bg																
	11.38	115.40		ペグマタイト							深度115.40～115.90m：ペグマタイト。径1～3cmの長石主体。	B'					81	76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット		150	0.0	泥水1	1
	11.03	115.90		花崗斑岩																				
	10.81	116.20		アプライト							アプライト，上位，下位との境界傾斜20～30度。													
	9.82	117.60		花崗斑岩		Cg	Ⅱg					CH' CM'	[B]			2/21 119.30								
120	7.77	120.50		アプライト	にぶい橙	Bg Cg Bg Cg Bg Cg Bg	Ⅰg Ⅳg Ⅰg Ⅱg Ⅲg Ⅰg Ⅱg		γ	2	アプライト，上位との境界漸移的。 深度120.50～150.00m：アプライト。石基は径0.1～0.2mm程度で，黒雲母多く，流理が認められる。厚さ20～35cmのペグマタイトを挟む。 深度121.10～121.55m：斑晶多い。	B' CM' B' CM' B' CH'					97							
						Cg Bg	Ⅱg				深度124.50～124.60m：斑晶多い。 深度125.60～126.10m：斑晶多い。					2/22 125.30								
					明赤灰	Cg	Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅱg				深度126.00～127.00m:傾斜70度の一部の節理に幅1mmの石英脈を伴う。									25.0				
						Dg Cg	Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅳg	cg			深度127.59～127.85m：変質強く軟質化。 深度128.30～129.00m:斑晶多い。	CM'	[CM]				116							
130					にぶい黄橙	Bg	Ⅱg	bg			深度130.15m：幅2～3mmの石英脈あり。					2/23 131.30								
						Cg Bg	Ⅲg Ⅰg					CH'	[CH]				97							
	-1.79	134.02		花崗斑岩	灰	Bg	Ⅰg Ⅲg		α		花崗斑岩，上位との境界傾斜40度。 花崗斑岩はカリ長石の割合多い。節理に黄鉄鉱を挟む。	B' CH'												

コア採取率 ☆（%） 最大コア長 cm RQD [%]

原位置試験（孔内水平載荷）　室内試験

（標準貫入試験）試験　（N値～深度 0 10 20 30 40 50）

No.15(4/5)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験) 試験 (N値)	(N値～深度)	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l／分)	排水量 (l／分)
140	-3.58	136.56		花崗斑岩	灰	Bg, Cg, Bg, Cg, Bg	IIg, IVg, IIg, IIIg, IIg, IIIg, IIg, IVg	bg	α	2	アプライト、上位との境界漸移的。		CH'	[CH]						2/24 137.30	97	76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	25.0	150	0.0	泥水1	1
				アプライト	明褐		IIIg	cg	β		深度139.03～139.42m：弱く変質し，褐色を帯びる。節理に沿って褐色シルトを挟む。		CM'															
					灰		Ig, IIg	bg	α				CH'								103							
					明褐		IIIg	cg																				
	-8.31	143.25			褐灰	Cg	IVg, IIIg, IVg, IIg, IVg, IIg, Ig, IIg, IVg, IIg, IVg, IIg, IVg	bg	γ				CM'	[CM]						2/26 143.30								
	-8.45	143.45		ペグマタイト	にぶい橙						深度143.25～143.45m：カリ長石の巨晶を主とするペグマタイトを挟む。																	
	-10.45	146.27		アプライト	褐灰				β												116							
	-10.69	146.61		花崗斑岩	灰褐						深度146.66～148.20m：珪化変質し，灰色石英化している。																	
	-11.39	147.60		アプライト	灰		IIIg, IVg, IVg, IIg, IVg																					
	-11.64	147.95		ペグマタイト	褐灰				γ		深度148.10～148.20m:黄鉄鉱濃集。																	
	-13.09	150.00		アプライト	枝 明褐灰 灰白	Dg, Eg, Cg	Vg, VIg, IVg	cg, dg, cg		3, 2	深度148.70～149.22m:変質帯。網目状に変質。褐・灰白色シルトを挟み，全体に軟質。深度149.22～149.23m：シーム。上盤53度，下盤57度。幅8mm，灰白色シルト状。		CL'							2/27 149.57 2/28 150.00	50							

ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNo.	

ボーリング名	No.16	調査位置						北　緯	
発注機関				調査期間				東　経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	+ 74.48 m	角度	180° 上 90° 下0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機 / ハンマー落下用具
総掘削長	220.00 m								エンジン / ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	N値～深度	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
				盛土	浅黄						深度0.40～2.00m：盛土，径0.5～3.0cmの砕石，砂。										140／ケーシング	シングルコアチューブ／メタルビット					
					にぶい黄褐						深度2.00～9.63m：盛土，シルト混じり砂礫。 深度9.63～9.81m：コンクリート片。									207	114／ケーシング		15.0	110	0.0	その他（不明含む）0	0
	64.67	9.81			BK														9/18								
10				花崗斑岩	明赤灰	Eg	Ⅱg	bg	δ	2	深度9.81～12.73m：花崗斑岩。径5～15mmの長石，黒雲母の斑晶，径3mmの石英の斑晶を30～40%程度含み，石基は径0.5～1mm程度である。全体に風化著しく，岩芯まで褐色を帯び脆い。傾斜40～70度の節理が発達するが不明瞭。酸化鉄が付着し密着する。	D'	[D]							240			10.0	150	0.0	泥水12	10
	61.75	12.73				Dg	Ⅳg	cg			アプライト，上位との境界傾斜7度。深度12.73～72.17m:アプライト。石基は径0.1mm以下であり，斑晶は径3～5mmの石英，長石の斑晶が点在する。下部では黒雲母が多くなる。	CL'	[CL]						10.20								
	60.37	14.11		アプライト		Cg	Ⅳg				ペグマタイト傾斜25度。									250			60.0	190	0.0	泥水5	0
	60.15	14.33		ペグマタイト			Ⅲg	bg				CM'															
					にぶい黄橙	Eg	Ⅴg	cg		3	深度16.01～16.12m：破砕帯(Hj)。上盤50度，下盤75度。節理密集部。岩質脆い。 深度16.12～16.30m：破砕帯(Hj)。上盤75度，下盤60度。灰白色礫混じり砂状。深度16.29m，厚さ1～4mm程度の桃白色粘土を挟む。下盤側65度のシームを上盤側60度のシームが切る。逆断層的センス。																
							Ⅵg	dg																			
						Dg	Ⅳg	bg																			
					明赤灰	Cg	Ⅲg	bg	γ		深度16.30～17.42m：破砕帯(Hj)。上盤60度，下盤70度。灰白色節理密集部。16.85mシーム。傾斜70度の節理を傾斜80～90度のシームが数mmずらしている。	CM'							9/15								
						Dg	Ⅱg												19.35								
						Cg	Ⅳg					CL'	[CM]							240			40.0	180	0.0	泥水5	3
						Dg	Ⅴg	cg			深度17.70～17.82m：破砕帯(Hj)。上盤35度，下盤50度。幅30mm，礫混じりシルト質砂状。 深度17.82～20.00m：岩質は比較的硬いが，密着した節理が数cm間隔で発達。																
						Eg																					
						Dg	Ⅲg	bg																			
					にぶい黄橙	Cg				2	深度21.28～24.43m：10～20cm間隔で傾斜55～70度の節理が発達する。面は褐色を帯びる。								9/16								
							Ⅳg												22.15								
							Ⅲg																				
							Ⅳg																				
							Ⅲg	bg				CM'															
						Bg	Ⅰg													183			35.0	190	0.0	泥水7	3
					灰白	Cg	Ⅲg																				
							Ⅱg																				
					明褐灰																						

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

No.16(1/7)

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（標準貫入試験）試験 （N値）	（N値～深度 0 10 20 30 40 50）	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
30				アプライト	明褐灰	Cg	Ⅳg	bg			深度27.00～27.09m：節理密集部，高角度の節理多い。	CM'															
							Ⅲg																				
							Ⅳg					CL'														
						Bg	Ⅳg	cg			深度28.82～29.04m：節理密集部。節理面は黒褐色を帯びる。																
						Cg	Ⅱg																				
							Ⅲg																				
							Ⅳg				深度31.00m：幅10mmシルト混じり礫状。上盤に幅1mmの黄灰～暗褐色シルトを挟む。鏡肌あり。								183	99／ケーシング	35.0		0.0	泥水7	3
							Ⅲg																				
							Ⅳg																				
	41.04	33.44																									
	40.46	34.02		花崗斑岩	灰褐		Ⅱg				花崗斑岩，上位との境界傾斜60度。径0.5～2.0cmの捕獲岩が点在する。下位との境界傾斜40度。																
							Ⅲg																				
				アプライト	明褐灰	Dg													9／19 35.25							
							Ⅳg				深度35.35m：シーム。傾斜60度。幅7～10mmの暗褐色粘土状。深度35.62～35.77m，36.21～36.34m：径0.3～1.0cmの暗緑色を帯びた捕獲岩を多く含む。																
						Cg																					
							Ⅲg																				
							Ⅱg																				
							Ⅲg																				
							Ⅳg				深度39.16m：傾斜50度，幅6～10mmの礫・シルト混じり砂を挟む。	CM'														
40							Ⅲg																	190			
	33.27	41.21		花崗斑岩							花崗斑岩，上位との境界不明瞭。深度41.21～50.70m：花崗斑岩。径3mm程度の石英，長石の斑晶を1～3%程度含み，石基は径0.1mm以下である。								176	76						
							Ⅳg				深度41.39～43.76m：傾斜45～50度の節理が10cm以下の間隔で発達。節理面は褐色を帯びる。アプライト，上位との境界凹凸あり，傾斜65度。															
	31.01	43.47							γ																		
	30.68	43.80		アプライト							全体に短柱～柱状コア主体。																
							Ⅲg			2			[CM]												0.0	泥水12	0
							Ⅳg																				
							Ⅳg	bg			深度46.36～46.43m：節理密集部。深度46.36m，傾斜80度，下盤側節理0.3～1.0cm間隔。深度46.43m，傾斜40度，上盤側砂状2mm，細礫状1cm。深度47.70～47.89m：主として傾斜50～65度の密着した節理が，1～2cm間隔で発達。									9／20 46.95						
							Ⅲg																				
							Ⅱg																				
							Ⅳg																				
					灰褐	Cg	Ⅱg																				
							Ⅳg																				
							Ⅱg																				
							Ⅲg																				
50																				126							
	23.78	50.70									アプライト，上位との境界傾斜60度。	CH'															
					灰黄褐	Bg	Ⅱg																				
						Cg																					
							Ⅲg				深度52.53～52.90m：節理が密集する。																
					にぶい黄	Dg	Ⅴg				深度52.68m，傾斜55度の節理の上・下盤に傾斜70度以上の高角度な節理が0.5～2.0cm間隔で発達。全体に0.5～1.0cm間隔で密着した節理が発達。								9／21 53.25	76／セメンティング						
					にぶい黄橙	Cg	Ⅳg																				
						Dg	Ⅴg				深度54.48～54.89m：節理密集部，一部角礫状。深度54.68m：シーム。傾斜50度。幅3～10mm，礫混じり暗褐色粘土状。																
					明褐灰	Cg	Ⅳg					CM'															
							Ⅲg				深度56.75～56.85m：ペグマタイトを挟む。花崗斑岩，上位との境界傾斜30度。深度57.17～63.47m：花崗斑岩。径3～5mmの石英，長石及び黒雲母の斑晶を3～10%程度含み，石基は径0.1mm以下である。石基は流理が認められる。																
	17.31	57.17					Ⅳg																	170	0.0	泥水11	0
					灰褐		Ⅲg												144								
							Ⅳg																				
60						Bg	Ⅱg		β			CH'															
							Ⅳg				深度61.08～63.03m：密着及び開口した節理が1～3cm間隔で発達。																
					にぶい褐	Cg	Ⅳg		γ			CM'															
							Ⅲg																				

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（標準貫入試験）試験 N値	N値～深度	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
	11.01	63.47		花崗斑岩	にぶい褐		Ⅲg		γ		アプライト，上位との境界傾斜13度。全体に細粒，わずかに径1～4mmの石英斑晶を含む。								9/22 63.70	144				0.0	泥水11	0
						Cg	Ⅳg																170				
							Ⅱg					CM'	[CM]							150				0.0	泥水10	0
							Ⅳg																				
							Ⅱg				深度64.60m：傾斜70度の節理の周辺に幅6cm間酸化マンガン濃集。																
							Ⅳg												9/23 65.70								
				アプライト	灰褐	Bg	Ⅱg																				
						Cg	Ⅲg				深度66.42～66.57m，66.73～66.90m：ペグマタイトを挟む。	CH'															
							Ⅳg				深度67.00～68.42m：わずかにカリ長石，斜長石の斑晶が点在する。																
						Bg	Ⅱg					CM'	[CH]														
						Cg	Ⅳg																				
						Bg	Ⅰg					CH'								114				0.0	泥水13	6	
					にぶい黄橙	Cg	Ⅲg																				
							Ⅳg				深度69.50～69.88m：節理密集部，0.5～1.0cm間隔。																
					灰褐		Ⅳg				深度69.77～69.88m：傾斜50度，70度の節理に挟まれた部分に0.3～0.7cm間隔で傾斜40度程度の節理が密集する。								9/26 70.65							
							Ⅲg																				
					にぶい黄橙	Cg	Ⅳg				深度70.00～70.18m，70.55～71.00m，72.13～72.36m：傾斜35～60度の節理発達。岩片～短柱状コア。																
					褐灰	Bg	Ⅱg					CM'															
						Cg	Ⅳg																				
	2.31	72.17		花崗斑岩		Bg	Ⅱg				花崗斑岩，上位との境界凹凸有り，傾斜10～30度。																
					灰オリーブ	Cg	Ⅳg				深度72.17～86.04m：花崗斑岩。厚さ0.2～0.5m程度のアプライトを挟む。																
	0.40	74.08				Eg	Ⅵg				深度72.17～75.72m間の花崗斑岩は，径10～20mm程度の石英，長石及び黒雲母の斑晶を15%程度含み，石基は黒雲母が多く暗灰色帯び，径0.1mm以下である。												45.0				
	0.16	74.32		アプライト	灰黄褐	Dg	Ⅴg					CL'															
				花崗斑岩	灰	Cg	Ⅲg			2										130	76／セメンティング			0.0	泥水10	0	
							Ⅱg				深度75.72m以深，斑晶は1～5%程度となる。	CM'															
							Ⅲg				深度72.83～74.08m，74.32～75.72m間，黒雲母が多く暗灰色帯びる。																
	-1.24	75.72					Ⅳg					CM'															
	-1.74	76.22		アプライト	にぶい黄橙						深度73.91～73.93m：破砕帯(Hc)。傾斜41度。幅10～20mm，灰白色シルト混じり砂～シルト状。一部暗褐色粘土状。逆断層的センス。																
						Bg	Ⅱg				アプライト，上位との境界傾斜75度，下位との境界傾斜52度。	CH'															
					灰						深度76.22～78.06m：暗灰色を帯び，ひん岩に近い岩相を示す。		[CM]														
						Cg	Ⅲg				深度76.50～76.79m：斑晶少なくアプライト質。	CM'							9/27 78.75								
					にぶい黄橙		Ⅳg																				
						Dg		cg			深度79.22～79.25m：破砕帯(Hc)。傾斜55度。幅18～25mm，明黄色礫混じり砂質シルト状及び砂礫状。正断層的センス。	CL'														
					にぶい黄橙	Cg	Ⅴg				深度79.35～79.42m：傾斜50度の節理が0.5～2cm間隔で発達。	CM'															
					灰黄褐	Dg					深度80.23～83.34m：全体に節理多く，短柱～岩片状コアをなす。	CL'								138				0.0	泥水8	0
						Cg	Ⅳg				深度81.30～81.90m：傾斜75～90度の高角度な節理発達。	CM'															
	-7.17	81.65		アプライト							アプライト，上位との境界漸移的。																
	-7.62	82.10			にぶい黄褐							CL'							9/28 83.70								
				花崗斑岩		Cg	Ⅲg				深度83.12～83.16m：幅30mmの褐灰色礫混じり砂状。	CM'															
					灰黄	Dg	Ⅳg													145			35.0	0.0	泥水6	0	
	-11.56	86.04			にぶい黄橙	Dg	Ⅴg			3	深度86.04～123.65m：アプライト。上位の花崗斑岩との境界は破砕帯である。厚さ0.1～2.3m程度の花崗斑岩と厚さ0.3m以下のペグマタイトを挟在する。	CL'															
					灰褐	Eg	Ⅴg	cg			アプライトの石基は径0.2～0.5mm程度で，組織は全体に均質である。斑晶は非常に少ない。	D'							9/29 87.45							
											深度86.04～86.12m：破砕帯(Hb)。傾斜30度。幅70mm。									81			45.0				
					灰白	Cg	Ⅳg	bg			上盤より礫混じり砂～シルト状幅15mm，角礫状幅15～30mm，礫混じり砂質シルト状幅25mm。正断層的破砕構造有り。	CM'							9/30 88.80							
					にぶい橙	Cg	Ⅴg	bg		2	深度86.12～87.27m：破砕帯(Hj)。径2～3cmの角礫主体の礫状。	CL'															
						Eg		cg			深度87.27～87.31m：破砕帯(Hj)。傾斜44度。上盤より20～25mm明黄色シルト状，10～15mm黄色シルト混じり砂状。									124			40.0	0.0	泥水7	0	
					にぶい黄橙	Cg	Ⅳg	bg			深度87.31～87.32m：破砕帯(Hc)。傾斜44度。花7～20mmの暗褐一部明黄色粘土状。破砕構造有り。	CM'	[CL]															
					褐灰						深度87.32～87.53m：変質帯。傾斜57度。固結砂状。								10/2 93.35							
					橙	Dg	Ⅴg	cg			深度90.11～90.20m：幅50mmシルト質砂状。	CL'															
						Eg	Ⅵg													66	76		15.0	135	0.0	泥水6	0
					明オリーブ灰	Cg	Ⅴg	cg		4	深度91.50～91.79m：破砕帯(Hj)。傾斜60度。幅100mm，砂礫状。								10/3 95.00							
						Eg	Ⅵg				深度92.56～92.68m：節理密集部。砂礫状。																
					にぶい黄橙			dg			深度93.75～96.18m：破砕帯(Hj)。傾斜3度。細礫混じり土砂状。																
					灰黄褐	Cg	Ⅳg	cg				CM'								127			30.0	190	0.0	泥水1	0
					明オリーブ灰	Dg						CL'															
						Dg	Ⅴg	bg		2	深度97.72～97.74m：幅20～30mm，礫シルト混じり砂状。																
						Cg	Ⅳg																				
						Cg	Ⅳg	bg			深度98.45～98.49m：節理密集部。幅20mm，原岩組織明瞭。	CM'	[CM]														

コア採取率 ―△―（%） 最大コア長 ―○― cm RQD ―┐― [%]

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
100				アプライト	灰	Bg	Ⅳg	bg								10/10 00.30	127			30.0	190	0.0	泥水1	0
	-25.98	100.46		花崗斑岩	灰	Cg / Bg	Ⅴg / Ⅲg				花崗斑岩，上位との境界不明瞭。深度100.46～102.78mおよび105.00～112.95m間の花崗斑岩は，径3mmの石英，長石を主とする斑晶を50%程度含み，石基は径0.1～0.5mmで黒雲母を多く含む。													
					黄灰	Cg	Ⅳg / Ⅴg / Ⅳg	cg																
	-28.30	102.78		アプライト	灰黄褐	Bg	Ⅱg / Ⅳg	bg			アプライト，上位との境界傾斜45度，下位との境界傾斜29度。	CM'	[CM]											
	-28.92	103.40		花崗斑岩																				
	-29.05	103.53		アプライト																				
	-29.35	103.83		ペグマタイト	にぶい橙		Ⅴg / Ⅳg				アプライト，上位との境界傾斜40度，下位との境界傾斜64度。						155			35.0				
	-29.66	104.14		アプライト																				
	-30.52	105.00		花崗斑岩	褐灰	Cg	Ⅴg / Ⅳg	cg / bg																
	-31.87	106.35		アプライト	灰黄褐	Dg	Ⅱg / Ⅳg	cg	γ	2	アプライト，上位との境界傾斜33度。													
	-34.35	108.83		花崗斑岩	灰黄褐		Ⅲg				花崗斑岩，上位との境界傾斜30度，下位との境界不明瞭。	CL'				10/11 07.90						0.0	泥水2	0
	-35.17	109.65		アプライト	黄灰	Cg	Ⅳg	bg			アプライト，下位との傾斜漸移的。	CM'	[CL]											
	-36.55	111.03		花崗斑岩				cg																
	-37.04	111.52		アプライト				bg			アプライト，上位，下位との境界漸移的。						110			50.0				
	-37.66	112.14		花崗斑岩																				
	-38.47	112.95		アプライト	灰黄褐	Dg		cg		3	深度113.66m：破砕帯(Hc)，傾斜74度，幅10～24mm，灰白色粘土状。	CL'												
					にぶい黄橙	Cg	Ⅴg			2														
					灰白	Dg	Ⅳg			3	深度113.77m：破砕帯(Hc)，傾斜62度，幅10～15mm，灰白色粘土状。					10/12 114.70								
					褐灰		Ⅴg				深度114.30～114.86m：変質帯。上盤23度，下盤65度。緑灰色粘土を挟む。													
					灰黄褐	Cg	Ⅳg			2	深度115.52～115.58m：傾斜65～68度，変質強い。深度116.07～116.16m，116.50～116.64m：傾斜50～60度，変質強い。							76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット					
							Ⅲg																	
					灰	Cg	Ⅳg	bg		3	深度117.16～117.31m：変質帯。上盤55度，下盤66度。	CM'	[CM]								165			
						Cg	Ⅳg		α	2	深度119.52m：変質強く雲母粘土鉱物を伴う。深度120.00～121.52m：低角度な節理が多い。						155			45.0				
120					黄灰	Dg / Cg	Ⅴg / Ⅳg																	
	-47.26	121.74			にぶい黄橙		Ⅲg	cg		3	深度121.36～123.65m：変質帯。上盤66度，下盤40度。深度121.85～121.86m：破砕帯(Hc)。：傾斜44度，幅5～10mmの砂混じりシルト状。見かけ正断層のずれあり。深度121.86～122.21m:破砕帯(Hj)。上盤44度，下盤0度。固結砂礫状。高角度の面発達。深度122.96～123.00m：幅20mm，灰白色砂質シルト状。深度123.65～154.63m:花崗斑岩。上位のアプライトとの境界は割れ目密集部。深度131.95mまで褐色化が顕著。径3～10mmの石英，長石及び黒雲母の斑晶を40～60%程度含み，石基は径0.1mm程度である。深度135.20～136.36m間はアプライトを挟む。深度126.73～127.02m：石英細脈多い。傾斜41～58度。			10/13 122.20								
	-47.56	122.04		ペグマタイト	灰白	Dg	Ⅳg															0.0	泥水2	1
				アプライト	にぶい橙		Ⅴg																	
	-49.17	123.65			明褐灰	Cg	Ⅳg	bg				CL'												
				花崗斑岩	灰褐	Dg	Ⅳg	cg	γ	2							155			35.0				
							Ⅱg																	
					灰褐	Cg	Ⅳg	bg				CM'	[CL]											
130					灰白	Eg	Ⅴg			3	深度129.19～129.37m：変質帯。上盤50度，下盤56度。砂礫状。明褐色帯びる。	CL'											
					にぶい橙	Dg	Ⅳg			2														
					明褐灰						深度130.20～131.28m：破砕帯(Hj)。上盤57度。下盤18度。灰白色固結礫混じり砂状。					10/14 131.60								
					灰白	Eg	Ⅰg																	
					灰白		Ⅱg				深度131.94～132.05m：破砕帯(Hc)。上盤0度，固結シルト状。深度132.05～132.25m：破砕帯(Hc)。下盤49度，礫混じりシルト質砂状。深度132.25～132.28m：破砕帯(Hc)。傾斜49度。幅20mmの緑灰色砂質シルト状													
					にぶい橙	Dg	Ⅵg																	
					灰白	Eg	Ⅱg																	
					明褐灰	Dg																		
					灰白	Eg	Ⅰg										122					0.0	泥水3	2
					褐灰	Dg			β	3	深度132.28～132.47m：破砕帯(Hj)。上盤49度，下盤66度。原岩組織残す。深度132.47～133.26m：破砕帯(Hj)，上盤66度，下盤43度。深度132.87mに傾斜53度，幅10mmの緑灰色シルト(Hc)を挟む。深度133.70～134.00m：破砕帯(Hj)。節理密集。	CL'												
					灰白	Eg	Ⅵg																	
					にぶい黄橙	Dg	Ⅲg																	
	-60.52	135.00																						

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	（標準貫入試験）試験 （N値～深度 0 10 20 30 40 50）	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
				アプライト	仁ぶい黄橙 / 灰白 / 仁ぶい黄橙	Dg	Ⅲg / Ⅴg	cg		3	深度134.00～134.58m：破砕帯(Hb)。傾斜58度。礫状。 深度134.58～134.60m：破砕帯(Hc)。傾斜60度。幅10～20mmの緑灰色砂質シルト状。		CL'														
	-61.88	136.36			灰	Cg / Dg	Ⅳg / Ⅴg	bg			深度134.60～135.00m：破砕帯(Hj)。傾斜60度。節理密集部。高角度。 深度135.00～136.00m：破砕帯(Hb)。砂礫状。 花崗斑岩，上位との境界傾斜20度。		CM'								122		35.0	165	0.0	泥水3	2
					にぶい黄橙	Cg	Ⅳg													10/16 (37.40)								
						Dg	Ⅲg / Ⅳg / Ⅴg	cg					CL'															
					灰	Cg	Ⅳg	bg	β				CM'															
						Dg	Ⅴg						CL'															
140					褐灰	Eg	Ⅵg	ag					D'															
						Dg	Ⅴg				深度140.70～142.23m：傾斜70～85度の湾曲した節理と傾斜14～23度の節理が発達。		CL'								134			175				
						Dg / Eg	Ⅵg	cg			深度142.23m：シーム。傾斜52度。幅1～10mmの褐灰～灰白色砂質シルト状。		D'	[CL]													
						Dg / Cg	Ⅴg	ag			深度142.71m：シーム。傾斜47度。幅7～10mm，緑灰色砂質シルト状。 正断層的構造有り。									10/17 (43.65)							
						Dg / Cg	Ⅵg	cg			深度143.07～143.12m：幅45mm，細礫～砂状。												40.0				
					灰褐	Dg	Ⅴg	bg	γ		深度143.88m：シーム。傾斜49度。幅0～7mm，緑灰色砂混じりシルト状。																
					褐灰	Cg	Ⅳg	cg																				
						Dg / Cg	Ⅴg		α		深度145.25～145.35m：破砕帯(Hj)。上盤81度，下盤85度。幅30mm，細片状。暗緑灰色シルトを挟む。		CL'														
					灰	Dg / Cg		cg																				
							Ⅳg	bg																				
					にぶい褐	Dg	Ⅴg	cg		2	深度147.34m：傾斜58度，厚さ1mm以下の緑灰色シルト及び厚さ5～8mmの砂を挟む。										126			190				
						Cg	Ⅳg	cg	γ																			
						Dg	Ⅴg																					
					灰褐	Cg	Ⅳg				深度148.91m：シーム。傾斜68度。幅0～3mmの緑灰色シルト状。																	
150							Ⅲg	bg																				
							Ⅳg				深度150.07～150.73m：主として傾斜50～70度の節理発達。		CM'							10/18 (150.70)					0.0	泥水2	1
							Ⅲg																					
						Cg		cg																				
							Ⅳg	ag			深度151.73～151.77m：厚さ1cm以下の礫状部を伴う。		CL'															
					褐灰			bg																				
					灰褐																							
							Ⅲg	ag			深度153.18～153.73m：傾斜65～75度の平行した節理が発達。			[CM]								76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット				
							Ⅳg																					
							Ⅱg	bg																				
	-80.15	154.63				Bg		ag			深度154.63～160.57m:アプライト。上位の花崗斑岩との境界は明瞭，傾斜40度程度。 深度158.00mまで褐色化が見られ，それ以深は褐色化していない。 アプライトの石基は径0.1mm程度であり，全体に黒雲母を含む。		CM'								120							
							Ⅳg	cg																				
						Cg	Ⅲg	ag																				
							Ⅳg				深度154.74～154.81m：破砕帯(Hb)。上盤60度，下盤62度。上盤より幅50～60mmの固結した砂礫状，幅1～3mmの褐灰色シルト状。下盤条線方向70右。																
						Dg / Eg	Ⅴg / Eg / Bg				深度157.47～157.80m：傾斜85～87度の連続した節理が3cm程度の間隔で発達。									10/19 (158.10)							
						Dg	Ⅳg / Ⅴg	cg																				
						Cg	Ⅳg / Ⅴg				深度158.45～158.51m：破砕帯(Hj)。上盤68度，下盤60度。幅25mm，細片状。暗緑灰色シルトを挟む。		CL'														
						Dg	Ⅵg	dg		3	深度159.23～159.62m：破砕帯(Hb)。傾斜55度。シルト混じり礫・砂状。																	
160						Cg / Dg	Ⅴg	ag / cg						[CL]														
	-86.09	160.57				Cg	Ⅳg	bg			花崗斑岩，上位との境界不明瞭。 深度160.57～220.00m:花崗斑岩。 径3～15mmの石英，カリ長石，黒雲母の斑晶を15～60%程度含む。石基は径0.5～1.0mm程度である。		CM'								125		45.0	170				
						Dg	Ⅴg	cg																				
						Cg	Ⅳg						CL'															
						Dg / Eg					深度160.72～161.09m：砂～礫状部を伴う傾斜50～60度の節理が2～5cm間隔で発達。																	
							Ⅲg	ag			深度161.09～162.50m：傾斜70～90度の湾曲した高角度節理が連続する。									10/20 (163.40)							
						Cg	Ⅳg				深度163.64～164.30m：傾斜50～65度の節理が10～15cm間隔で発達。		CM'															
						Dg		cg			深度164.30～164.88m：傾斜70～85度の節理及び密着した節理が0.5～1.0cm間隔で発達する。																	
						Cg		bg					CL'															
						Dg	Ⅳg		α	2	深度165.30～165.42m：径0.3～3.0cmの礫状コア，礫の表面には水平方向の不明瞭な条線あり。																	
							Ⅲg	ag					CM'															
							Ⅳg						CL'	[CM]							142				0.0	泥水3	1
						Cg	Ⅲg																					
							Ⅱg	ag																				
							Ⅲg																					
							Ⅱg						CM'															
						Dg	Ⅳg	cg			深度169.60m：シーム。傾斜61度，幅3～7mm，緑灰色シルト状及び砂状。正断層的構造有り。																	
170					灰	Cg	Ⅳg	bg			深度170.95～172.78m：傾斜11～30度程度の平行した節理が2～数cm間隔で発達。一部に80度以上で黄鉄鉱を挟む節理が発達する。																	
						Dg / Cg																						

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
180				花崗斑岩	灰	Cg, Dg, Cg, Dg	IVg, IIIg, IVg, IIIg	bg, cg	α	2	深度172.78～173.26m：比較的節理が少ない。 深度173.92～175.58m：傾斜45度及び82度の平行した節理が10～20cm間隔で発達。 深度174.33m以深，密着した節理が多くなる。 深度175.00～176.69m：傾斜50～60度の平行した節理が5～15cm間隔で発達。	CM'				10/23 171.45	142	76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	45.0	170	0.0	泥水3	1
					黄灰	Cg	IVg	cg				CL'					140			40.0		0.0	泥水2	0
					褐灰		IIg	bg			比較的節理少ない。高角度の不明瞭な密着した節理あり。													
					にぶい褐	Cg					深度178.55m：幅5～8mm，傾斜75度の石英脈あり。 深度179.02m：幅10mmの石英脈あり。 深度179.13m：幅5～15mm，傾斜78度の石英脈あり。					10/24 179.50								
					褐灰		IIIg, IVg, Ig																	
					灰		IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IIg				深度181.57m：シーム。傾斜37度，幅8～10mmの礫状。正断層的構造有り。条線の方向90度。 深度181.67～185.00m：傾斜20～35度と傾斜70～80度の節理が発達。節理は数～20cm間隔で発達し，部分的に密集する。 高角度な節理には黄鉄鉱や厚さ1mm以下の砂～緑灰色シルトを挟む。	CM'	[CM]				144							
					褐灰	Cg	IVg, IIIg, IVg, IIg, IIIg	bg			深度185.00～187.48m：密着した節理が発達。					10/25 185.50				45.0				
190					灰白	Dg, Cg, Dg, Cg, Dg	Ig, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg	cg		3	深度187.48～220.00m：花崗斑岩。 径3～5mmの石英，カリ長石，黒雲母の斑晶を70%程度含む。石基は径0.5～1.0mm程度である。 深度187.48～190.65m：変質帯。上盤35度，岩質脆い。	CL'					152							
					黄灰	Cg, Dg, Cg	IIg, IIIg, IVg, IIg	bg, cg, bg		2	深度190.37～193.00m：1～5cm間隔で密着した節理が発達する。	CM'												
					灰白	Dg	Vg, IVg, IIIg, IVg, IIIg	cg		3	深度193.00～195.55m：変質帯。下盤53度。変質を受け，黄鉄鉱点在。傾斜60～70度及び傾斜85～90度の連続した節理が発達。	CL'				10/26 193.60						0.0	泥水3	0
					褐灰	Cg, Dg, Cg, Dg, Cg	IVg, IIg, IVg, IIIg, IVg, IIIg, IVg	bg, cg, bg		2	深度197.32m：シーム。傾斜85～90度，幅0.5mmの暗緑色シルト質砂状。傾斜50～60度の節理が1～2cmずれる。条線の方向ほぼ水平。	CM'					144			40.0				
200					灰白	Dg	VIg, cg, dg			3	深度199.22～200.00m：破砕帯(Hb)。傾斜75～80度。砂礫状。高角度の節理あり。 深度200.04m：シーム。傾斜58度，幅1～4mmの緑灰色固結シルト質砂状。	D'	[CL]			10/27 200.80								
					青灰	Cg	IVg, cg, bg			2	深度202.96～204.00m：節理に沿って砂～細礫状，一部土砂状。低角度な節理卓越。 深度203.78m：シーム。傾斜69度。幅1～4mm，緑灰色砂質シルト状。	CL'					144			45.0				
					灰		Vg, IVg, cg				深度205.00～206.08m：高角度な節理卓越し，一部細礫状をなす。													
					青灰		IIIg, IVg				深度206.08～206.44m：密着した節理卓越。 深度206.44～207.66m：節理多く，角礫状。					10/28 206.80	140			35.0		0.0	泥水1	1

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

No.16(6/7)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（標準貫入試験）試験 （N）値	（N値～深度 0 10 20 30 40 50	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
210	-145.52	220.00		花崗斑岩	明褐灰 褐灰 明褐灰 青灰 灰白 青灰 褐灰 青灰 褐灰	Cg Dg Cg Dg Cg Dg Cg Dg	Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅱg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg	cg bg cg	α	2 3 2	深度207.66～210.50m：柱状コア。密着した節理多く，節理に沿って砂～細礫を挟む。 深度210.53m：シーム。傾斜84度，幅5～10mmの黒色シルト状。 深度210.50～212.52m：変質帯。上盤67度，下盤50度。全体に軟質化。含礫固結砂質シルト状で，網目状に細粒分を含む。指圧で変形。 深度212.52～215.45m：密着した節理多く，全体に変質を受け，礫状化する。 深度219.17～220.00m：斑晶は粗粒。変質により軟質化。		CL CM CL CM CL CM CL	[CL] [CM]								10/30 214.75 10/31 220.00	140 137	76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	35.0 40.0	165	0.0	泥水3	1

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNo.

ボーリング名	No.17	調査位置				北緯	
発注機関			調査期間			東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	＋74.46 m	角度	180°上 90° 0°下 25°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南 59.8°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘削長	200.00 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
	73.91	0.61		盛土	黒褐						新期盛土。													
				盛土	にぶい黄						礫・シルト混じり細～中粒砂。 礫混じり砂質シルト。 礫・シルト混じり中～粗粒砂。 シルト混じり砂礫。					11/13 7.00	135	114／ケーシング	シングルコアチューブ／メタルビット	15.0	55	0.0	その他（不明含む）0	0
10	66.30	9.00		花崗斑岩		Eg Dg Eg	IIIg IVg IIg	bg	δ		深度9.00～11.03m：花崗斑岩。 径5～10mmの長石，石英の斑晶，径3mmの黒雲母の斑晶を20%程度含み，石基は径0.5mm程度である。	D' CL' D'	[D]				136			190	0.0	泥水5	4
	64.46	11.03		アプライト	明褐灰	Dg Eg Dg Eg Dg Cg Dg Cg Dg Cg Dg Cg Dg Cg Dg Cg Dg Cg Dg Cg Dg Cg	IIIg IVg IIIg IVg IIIg IVg IIIg Ig IIIg IVg IIIg IIg IVg IIIg IVg IIIg IVg IIIg IVg IIg IIIg IVg IIg IIIg IVg IIIg IVg IIg Ig	cg bg cg bg cg bg cg bg cg bg cg bg cg	γ	2	アプライト，上位との境界傾斜30度。 11.03～139.84m：アプライト。 厚さ1.0～5.0m程度の花崗斑岩を挟む。 アプライトの石基は径0.1mm以下であり，流理が認められる。部分的に径3mm程度の斑晶が散在する（1%以下）。 深度12.85m，12.87m：節理に幅0.5～1.5mmの流入粘土を挟む。 深度13.19～14.01m：傾斜25～55度の節理が数cm間隔で発達。節理の周辺は変質により桃色を帯びる。 深度17.05m：シーム。傾斜51度，幅1～3mm，明褐色軟質粘土状。 深度17.05～17.46m：傾斜44～51度の節理が密集する。 深度20.59～21.63m：傾斜40～80度の節理が数cm間隔で発達，やや軟質。 花崗斑岩，上位との境界傾斜60度，下位との境界凹凸有り。 ペグマタイトは，幅3cmの石英と周辺にカリ長石の結晶あり。 深度23.87～23.88m：シーム。上盤20度，下盤30度。幅4～9mm，暗灰～暗褐灰色礫混じりシルト質砂状。正断層的センス。条線方向高角度。 深度25～45m：節理の一部に流入粘土有り。	CL' CM' CL' CM' CL' [CM] CM'	[CL]				146	83／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	25.0	165	0.0	泥水8	4
20	55.47	20.95														11/15 23.85								
	54.63	21.88		花崗斑岩																				
	54.50	22.02		ペグマタイト																				
				アプライト													126			30.0	190	0.0	泥水8	0
																11/16 27.00								

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
30				アプライト	にぶい黄橙	Cg	Ⅲg	cg	γ	2	深度27.65～27.73m：破砕帯(Hb)。上盤53度，下盤43度。幅35～65mm，砂礫状及び礫混じりシルト質砂状。上下盤で走向が異なる。						151			25.0	190	0.0	泥水8	5
							Ⅲg				深度29.00～30.00m：開口した節理に流入粘土が認められる。	CM'				11/17 29.90								
							Ⅱg																	
						Cg	Ⅲg																	
							Ⅰg																	
							Ⅲg																	
							Ⅳg				深度31.30～31.33m：変質により砂～礫状。													
						Cg	Ⅲg	bg																
							Ⅳg	cg				CL'												
						Eg	Ⅵg			4	深度32.54～32.65m：破砕帯(Hb)。上盤45度，下盤42～63度。幅50mm，明黄色礫混じりシルト質砂状～礫混じり砂質シルト状。													
						Cg	Ⅳg	bg			深度32.65～32.75m：破砕帯(Hb)。下盤45度。幅50mm，赤褐灰色礫・シルト混じり砂状。この破砕帯は上位の破砕帯に切られる。													
							Ⅲg	cg																
							Ⅳg	bg																
							Ⅲg	cg			深度32.75～37.00m：傾斜25～45度の節理が数cm程度の間隔で発達し，短柱～岩片状コアをなす。節理面およびその周辺は褐色を帯びる。	CM'												
							Ⅳg																	
						Cg	Ⅲg																	
							Ⅳg																	
							Ⅱg										227							
							Ⅳg	bg																
							Ⅱg					CL'												
						Bg																		
40							Ⅳg			2	花崗斑岩，上位との境界傾斜65度，凹凸あり。													
	37.35	40.95		花崗斑岩	褐灰	Cg					深度40.95～46.07m:暗灰色帯び，最大径5cm一般径1～2cmの亜円～亜角の捕獲岩を含む。	CM'												
							Ⅰg				深度41.22～41.25m：幅18～20mm，褐灰色礫混じりシルト質砂状。													
							Ⅳg									11/20 43.35								
					黄褐	Dg	Ⅳg	cg			深度43.40～43.51m：節理密集する。	CL'												
							Ⅳg				深度43.51～43.54m：幅25mm，暗灰色シルト・礫混じり砂状。部分的に葉片状。													
							Ⅲg						[CM]											
						Cg					安山岩に近い岩相と花崗斑岩の境界，約40度。													
							Ⅲg					CM'												
					灰褐		Ⅱg																	
							Ⅲg																	
	31.05	47.90					Ⅳg				アプライト，上位との境界不明瞭。													
				アプライト	にぶい橙	Cg					深度48.31～48.45m：変質帯。上盤45度，下盤35度。明褐灰～灰色の細片状。	CL'					145							
						Dg	Ⅴg	bg		3														
					灰褐		Ⅲg				深度49.34～50.25m：黒褐色を帯びる高角度な節理発達。													
							Ⅳg																	
						Cg	Ⅲg																	
							Ⅳg																	
							Ⅲg																	
								cg			深度51.83～51.86m：幅20mm，暗褐灰色砂礫状。													
							Ⅳg	bg																
						Cg										11/21 53.35								
								cg			深度53.42～53.49m：幅25～30mm，節理密集する。													
							Ⅲg	bg																
							Ⅱg																	
						Dg	Ⅳg	cg			深度55.45～55.46m：破砕帯(Hb)。上盤45度，下盤46度。幅20mm，黄褐色砂混じりシルト状及びシルト混じり礫状。	CM'												
							Ⅲg			2														
	23.05	56.72					Ⅳg				花崗斑岩，上位との境界不明瞭。やや暗緑色を帯び，ひん岩に近い岩相。													
				花崗斑岩	暗灰黄		Ⅲg																	
							Ⅳg																	
							Ⅲg																	
							Ⅳg																	
							Ⅲg																	
						Cg	Ⅳg										142				0.0	泥水6	0	
							Ⅲg	bg																
							Ⅳg				アプライト，上位との境界不明瞭。													
60	20.12	59.96					Ⅲg				深度59.96～63.00m：全体に褐色化顕著。													
				アプライト	灰褐		Ⅱg																	
							Ⅳg																	
							Ⅲg																	
							Ⅳg		γ		深度61.89～62.22m：破砕帯(Hj)。傾斜36度。径3～10mmの角礫状。上面に幅1～4mmの黄褐色シルトを挟む。	CL'												
						Dg	Ⅴg																	
						Cg	Ⅳg					CM'												

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

原位置試験（孔内水平載荷）　室内試験　（標準貫入試験）試験　（N値～深度 0 10 20 30 40 50）

ダブルコアチューブ／ダイヤビット　83／ケーシング

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（標準貫入試験）試験 (N値)	(N値～深度)	原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
	15.72 15.55	64.81 65.00		アプライト 黄褐色花崗岩	灰褐	Cg Bg	Ⅱg Ⅲg	bg	γ	2	深度65.00～68.84m：比較的高角度な節理多く，岩片～柱状コア主体。	CM'							11／23 63.30	142	83／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	35.0		0.0	泥水8	0
				アプライト		Cg	Ⅲg Ⅳg Ⅲg																				
	14.08 13.70	66.62 67.04		花崗斑岩	黄灰	Dg	Ⅳg Ⅱg Ⅳg				花崗斑岩，上位，下位との境界傾斜65度。																
					灰褐	Cg	Ⅲg Ⅳg Ⅲg													141			30.0	165	0.0	泥水8	0
70					にぶい黄橙	Eg	Ⅳg	cg		4	深度68.84～68.91m：破砕帯(Hb)。上盤48度，下盤3度。幅25～90mm，明黄色シルト混じり砂礫状。	CL'	[CM]														
					灰褐	Dg Cg Dg Cg Cg C

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
100				アプライト	褐灰	Cg	Ⅳg	bg	β	2		CM'					172			30.0				
					灰褐		Ⅲg									11／30 102.25								
					褐灰		Ⅳg				深度102.50～103.42m：やや変質強く，一部角礫～細礫状。													
					緑オリーブ	Eg		cg		4	深度103.46～104.00m：変質帯。上盤45度。砂質シルト～礫状。	CL'									0.0	泥水12	0
						Dg				3														
					褐灰			bg		2		CM'												
					灰色	Cg	Ⅲg																	
					褐灰		Ⅳg	bg				CM'					138			35.0				
						Dg	Ⅲg																	
						Cg					深度105.77～105.98m：ペグマタイト。													
						Dg	Ⅳg	cg			深度105.10～109.65m：全体に開口および密着した節理が多い。弱い変質を受け，黄鉄鉱，セリサイトを挟む。	CL'											
						Cg	Ⅲg	ag				CM'												
						Dg	Ⅳg	cg																
						Dg				3		CL'												
						Cg	Ⅲg	ag																
							Ⅳg																	
						Dg	Ⅳg									12／1 109.05								
					灰色		Ⅲg																	
						Cg	Ⅳg																	
					黄灰			bg	α			CM'					125			30.0				
						Cg	Ⅳg			2														
						Dg	Ⅴg	cg		3	深度113.38～113.56m：変質帯。上盤56度，下盤72度。岩質脆い。	CL'											
							Ⅳg			2						12／2 114.05								
							Ⅴg																	
					灰白	Eg	Ⅵg			4	深度114.31～114.32m：破砕帯(Hc)。上盤45度，下盤40度，幅1～10mm，褐灰色砂質シルト状。													
										3	深度144.32～114.77m：破砕帯(Hj)。傾斜20～55度，礫混じりシルト質砂状～シルト混じり砂礫状，114.55m:幅5～15mm程度の灰白色シルトを挟む。	D'												
						Dg		ag																
						Eg		cg			深度114.77～115.24m：破砕帯(Hj)。上盤55度，下盤12度。原岩組織が残るシルト混じり砂礫状，緑灰色シルトが網目状に入る。													
					褐灰	Dg					深度115.24～115.47m：破砕帯(Hb)。上盤12度，下盤4度。灰白色シルト混じり砂礫状。													
						Cg	Ⅳg	ag		2	深度115.47～115.51m：破砕帯(Hc)。傾斜3度，幅5～12mmの灰白～褐灰色砂混じり粘土状。	CL'												
						Dg					深度115.62～115.64m：破砕帯(Hc)。上盤70度，下盤不明，幅15～30mm，灰白色砂質シルト状。													
						Dg	Ⅴg				深度115.98～116.18m：破砕帯(Hc)。上盤30度，下盤不明，灰白色礫混じり砂質シルト状。	D'												
						Eg	Ⅵg	cg			深度117.55～117.56m：シーム。上盤38度，下盤27度，幅5～9mm，灰白色礫混じり砂質シルト状。					12／4 121.35								
120						Dg	Ⅱg	bg			深度117.77～117.79m：破砕帯(Hc)。上盤36度，下盤38度。幅15～18mm，灰白色礫混じりシルト質砂状。													
					にぶい黄橙	Eg	Ⅰg	cg			深度118.22～118.25m：破砕帯(Hc)。上盤36度，下盤35度。幅22mm，灰黄褐色礫混じりシルト質砂状。						197			15.0		0.0	泥水10	0
						Dg		bg			深度118.66～119.26m：破砕帯(Hj)。上盤16度，下盤33度。幅10.5cm，明褐灰色礫混じり砂質シルト状。					12／5 123.65								
						Eg		cg			深度119.18～119.21m：幅15～20mm，明褐灰色礫混じり砂質シルト状。													
						Dg		bg			深度119.26～119.29m：破砕帯(Hc)。上盤33度，下盤48度。幅22～30mm，明褐灰色礫混じり砂質シルト状。						139			20.0		0.0	泥水12	0
						Eg		cg			深度119.29～139.84m区間は褐色化顕著。					12／6 126.85								
						Dg	Ⅴg	bg			深度119.47～119.57m：幅90mm，黄橙色シルト混じり砂礫状。													
					にぶい褐	Eg	Ⅳg				深度120.31m：シーム。傾斜85～90度。幅1mmの灰白色粘土状。傾斜27～28度の密着した節理を見かけ1.0～1.5cm逆断層的にずらす。													
						Cg	Ⅴg				深度120.65m：シーム。傾斜74度。幅1mmの灰白色粘土状。													
						Dg					深度120.80m：シーム。傾斜75度。両者とも傾斜35度の密着した節理を見かけ1cm程度逆断層的にずらす。						155			40.0		0.0	泥水10	3
					灰黄	Cg	Ⅳg		γ		深度121.18～121.32m：変質帯。上盤21度，下盤75～90度。灰白色礫混じり固結粘土状。	CL'												
						Dg	Ⅴg				深度121.45m：シーム。傾斜85度。幅3～5mmの明桃色粘土状。													
						Cg					深度121.85m：シーム。傾斜73度。幅1～3mmの灰白色固結粘土状。傾斜45度の密着した節理を見かけ0.5～1.0cm逆断層的にずらす。													
					にぶい橙	Dg	Ⅳg				深度122.75～122.92m：変質帯。上盤48度，下盤67度。幅9～16cm，明灰色シルト混じり砂礫状。													
					にぶい黄橙						花崗斑岩，上位との境界傾斜67度。													
						Dg	Ⅴg	cg			深度126.04～126.27m：変質帯。上盤30度，下盤65度。径1cm以下の細片状，網目状に粘土細脈。													
130											アプライト，上盤傾斜33度。													
					にぶい黄橙	Dg	Ⅳg				深度127.21～127.48m：幅約15cm，灰黄色シルト混じり固結砂・礫状。													
	-37.00	122.98																						
				花崗斑岩																				
	-40.24	126.56																						
				アプライト																				
	-44.02	130.73																						
				花崗斑岩																				
	-46.36	133.31																						
				アプライト																				

コア採取率 ―△―（%）　最大コア長 ―○― cm　RQD ―┐― [%]

原位置試験（孔内水平載荷）　室内試験　（標準貫入試験）試験　（N値～深度）

83／ケーシング　165　ダブルコアチューブ／ダイヤビット

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
140	-52.28	139.84		アプライト	にぶい黄橙	Dg	Ⅳg	cg	γ	3	深度128.56～128.58m：変質帯。上盤42度，下盤30度。固結砂状。 深度129.25～129.30m：変質帯。上盤38度，下盤32度。固結砂状。 深度129.76～129.79m：変質帯。下盤29度，固結砂状。 花崗斑岩，上位との境界漸移的。 深度132.07～132.18m：変質帯。上盤42度，下盤35度。暗黄灰色砂礫状。 深度132.25m：シーム。傾斜31度。幅1～3mmの灰オリーブ色固結シルト状。 深度132.52～132.62m：変質帯。上盤52度，下盤25度。砂礫状。 アプライト，上位との境界漸移的。 深度133.31～133.33m：幅約16mm，灰白色シルト混じり固結砂礫状。 深度133.43m：シーム。傾斜40度。幅0～3mm，灰白色シルト質砂状。 深度133.59～133.76m：変質帯。下盤85度，固結砂礫状。 深度135.00～138.45m：亀裂多く，コアは岩片～短柱状をなす。 深度138.03～138.45m：変質帯。上盤6度，下盤50度。砂・礫状。 深度138.22～139.60m：比較的節理少なく，柱状コア主体。 深度139.60～140.46m：変質帯。上盤52度，下盤68度。節理発達し，砂状化。 花崗斑岩，上位との境界不明瞭。 深度139.84～154.83m：花崗斑岩。 花崗斑岩は褐色化，変質が強い。 径3～5mmの石英，長石及び黒雲母の斑晶を5～30%程度含み，石基は径0.1～0.2mm程度で黒雲母を含む。 深度143.11～143.28m：変質帯。上盤56度，下盤36度。固結砂礫状。 深度144.35～144.37m：破砕帯(Hc)。上盤47度，下盤59度，幅20mm，固結黄褐色砂混じりシルト状。古い破砕帯。 深度144.35～155.33m：変質帯。上盤破砕帯，下盤39度。岩片状。 深度146.04～146.96m：全体に傾斜40～60度の節理が1～3cm間隔で発達し，コアは岩片状を主体とする。 アプライト，上位，下位との境界漸移的。 深度150.00～151.51m：傾斜40～65度の節理が5～6cm以下の間隔で密集し，岩片～細片状を呈する。 深度152.95～153.86m：部分的に変質により砂・礫状を呈するが，一般に節理が少なく，短柱～柱状をなす。 アプライト，上位との境界傾斜10～20度。 深度154.83～187.52m：アプライト。 アプライトは深度159.15mまで褐色化するが，これ以深，褐色化していない。 アプライトの石基は径0.2mm程度で組織はほぼ均質である。斑晶の量は非常に少ない。 深度155.33～156.95m：比較的節理少なく，短柱～柱状をなす。 深度156.97～162.43m：変質帯。上盤87度，下盤65度。 傾斜30～50度および85度程度の節理が発達し，砂質シルト状～岩片状を呈する。 深度159.31～159.39m：変質帯。幅32mm，黄灰色砂質シルト状。 深度159.39m：シーム。傾斜39度。幅5～8mmの黒灰色シルト状。 花崗斑岩，上位，下位との境界不明瞭。 深度162.57m：シーム。傾斜63度。幅2～3mm，暗灰色礫混じり砂状。 深度164.52～165.06m：変質帯。上盤52度，下盤55度。砂礫状。 深度165.60～165.61m：シーム。上盤59度，下盤56度。幅5～8mmの暗灰色礫混じりシルト状。 深度165.61～170.14m：変質帯。上盤56度，下盤50度。全体に固結砂状を呈する。酸化し明黄褐色を帯びる。 深度169.72m：シーム。傾斜55度。幅1～3mm，灰色シルト状。 深度169.74m：シーム。傾斜56度。幅2mm，灰色シルト状。	CL'				12／23 140.50	161			35.0		0.0	泥水6	0
	-58.97	147.22			明褐灰	Cg	Ⅲg			2		CM'												
	-59.79	148.13		アプライト	灰褐	Dg	Ⅳg	bg		3		CL'												
150				花崗斑岩	明褐灰	Cg				2		CM'					183					0.0	泥水7	0
						Dg		cg		3		CL'				12／25 150.70					165			
	-65.86	154.83		アプライト	浅黄	Cg	Ⅲg			2		CM'	[CL]				179	83／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	25.0		0.0	泥水8	0
	-70.41	159.85			にぶい橙	Dg	Ⅳg			3		CL'				12／26 160.10								
160	-71.89	161.48		花崗斑岩	明褐灰	Cg	Ⅲg	cg		2		CM'					191					0.0	泥水7	0
				アプライト					α	3		CL'				1／8 166.30				35.0	175			
						Dg	Ⅱg			4		D'					175					0.0	泥水10	0
170					灰黄	Cg	Ⅳg			2		CM'												

No.17(5/6)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
180				アプライト	灰黄褐 (ポチリーフ) 灰黄褐	Cg Dg Cg	Ⅳg Ⅴg Ⅳg Ⅱg Ⅲg Ⅱg Ⅲg	ag cg ag	α	2 3 2	深度171.35～172.20m：変質帯。上盤66度，下盤47度。傾斜60度，90度および20度程度の節理が密集し，径1～3cm程度の岩片状コアをなす。 深度173.18～175.00m：節理少なく岩片も比較的新鮮。	CM' CL' CM'	[CL]			1/9 173.60	175	83／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	35.0	175	0.0	泥水10	0
					褐灰	Cg	Ⅳg Ⅱg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅲg Ⅲ

ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNo.

ボーリング名	No.18	調査位置				北　緯	
発注機関				調査期間		東　経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	+ 7.03 m	角度	180° 上 90° 下0° 30°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 59.8°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘削長	175.00 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
			盛土	黄褐						盛土。礫混じり砂。						600	165／ケーシング	ダブルコアチューブ／メタルビット	35.0	60	0.0	0	0
										盛土。砂混じり礫，径20～30mmの礫主体。					2/2 2.00								
				褐						盛土。礫混じりシルト質砂。													
				にぶい黄						盛土。シルト質砂。						207			40.0				
										盛土。礫混じりシルト質砂。少量の砂岩礫あり。											0.0	泥水10	0
	-0.16	8.30																					
			玉石混り砂礫	灰黄褐						径1～6cm，最大径9cmの花崗斑岩，アプライトを含む。基質は粗粒砂～細礫。							140／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	30.0	100	0.0	泥水5	5
	-1.41	9.75													2/3 9.60								
10	-1.85	10.25	砂							粗粒砂，上方細粒化。													
			砂礫	にぶい黄						径1～3cm，最大径8cmの花崗斑岩，アプライト角礫を含む。基質はシルト混じり粗粒砂。						97							
	-3.04	11.63																					
	-3.32	11.95	シルト混り砂	灰黄褐						径1cm以下の細礫を含む。													
	-3.50	12.16	砂							径0.5～2cm，最大径30cmのアプライト，花崗斑岩角礫を含む。礫は新鮮岩主体，一部風化。													
			礫混りシルト質砂												2/5 13.00						0.0	泥水5	5
	-4.52	13.34																					
			シルト混り砂							径1cm以下の礫を含む。						73							
	-5.08	13.98	砂礫																				
	-5.24	14.17	高有機質土	褐灰						径1～3cmの花崗斑岩，アプライト角礫主体。基質は粗粒砂。					2/6 14.70								
	-5.35	14.30	有機質砂	黒褐						腐植土，繊維質。幅2～3cm程度の腐植土を挟む。木片，炭質物を多く含む。													
	-6.43	15.54																					
			砂	褐灰						中～粗粒砂，一部細礫を含む。炭質物を含み，一部木片あり。						87							
	-7.12	16.34																					
			有機質砂							腐植土，細粒砂，中～粗粒砂の互層状。													
	-7.73	17.04																					
			礫混り砂	灰白						径1cm以下，最大径4cmの亜角礫を含む中粒砂。													
	-8.39	17.81																					
	-8.77	18.25	砂							径0.5cm程度の石英粒を含む。													
			砂礫	明褐						径2～5cm，最大径14cmの亜角礫を含む。基質は粗粒砂。													
	-9.73	19.35																					
20			花崗斑岩	明褐灰	Eg	VIg	dg	ε	2	深度19.35～65.70m：花崗斑岩。径3～5mmの石英，長石，黒雲母の斑晶を1～3%程度含み，石基は径0.1mm以下である。深度20.00～21.29m：強風化岩。原岩構造不明瞭。アプライト，上位との境界傾斜57度。	D'	[D]											
	-11.03	20.85																					
			アプライト	にぶい黄橙	Dg	IIIg / IVg	cg	δ			CL'												
					Eg	VIg	dg	ε			D'												
				にぶい黄	Dg	IIIg / IIg / IIIg / IVg	cg	δ		深度23.02～24.68m：全体に強風化を受け黄褐色を帯びる。節理に沿ってシルトを挟む。	CL'	[CL]				114							
				にぶい橙	Cg	IIg / IIIg / IIg		γ			CM'												
					Dg / Eg	IVg / VIg	cg	δ / ε		深度26.53～28.18m：強く風化し軟質。一部土砂状。	CL' / D'	[D]				105							

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
30	-16.40	27.05	アプライト	花崗斑岩	にぶい黄橙	Eg	VIg	cg	ε		深度28.18～29.61m：風化しているが，柱状コアをなす。節理に沿って黒褐色酸化マンガンを挟む。	D'	[D]			2/13 29.50	105	115／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	35.0	100	0.0	泥水5	5
						Dg Eg	IVg VIg	dg																
						Dg	IVg	cg	δ			CL'												
	-19.30	30.40				Eg	VIg	dg	ε		アプライト，上位との境界不明瞭。													
				アプライト		Dg Eg			δ		深度30.34～33.00m：強風化し軟質。節理の多くは密着し，やや不明瞭。	D'												
						Dg	IVg		γ															
						Eg	VIg		δ															
						Dg	IVg					CL'					130							
					にぶい橙	Eg	VIg				深度33.00m以深，強い風化を受けているが，弱風化のところもあり。	D'												
						Dg Eg	IIIg VIg			2														
					にぶい黄橙	Dg	IVg				深度35.14～35.16m：傾斜58～61度。幅5～8mm。黒褐色固結状シルトを挟む。	CL'				2/14 36.00							
							IIIg	cg																
					明褐灰	Eg	IVg																	
						Cg	IIIg					CM'												
						Cg	IVg				深度37.73m以深，柱状コアをなすが，強風化し，やや軟質。節理に沿って褐色を帯びる。													
							IIIg																	
							IVg				深度38.50～38.65m：石英の斑晶多い。													
							IIIg																	
						Dg	IVg					CL'					89	95／ケーシング						
					にぶい橙																			
40	-29.69	42.40				Eg	VIg	dg	ε	3	深度41.90～42.41m：変質帯。上盤66度，下盤48度。砂状化。	D'				2/15 42.50							
				花崗斑岩	明褐灰	Dg	IVg	cg	δ		深度41.97～42.00m：流入粘土を挟む。上盤61度，下盤62度。幅15～18mm，黄褐色砂混じりシルト状。花崗斑岩，上位との境界不明瞭。													
						Eg																		
	-32.39	45.52			灰白		IIIg				アプライト，下位との境界傾斜33度。深度45.52～53.30m：アプライト。石基は径0.1mm以下である。深度45.50m：風化軟質化の下限。深度45.90～46.75m：幅5cm程度のペグマタイト脈を挟む。		[CL]				98			35.0	100	0.0	泥水5	0
							IVg		γ															
							IIIg																	
							IVg																	
							IIIg																	
							IVg																	
						Cg	IIIg	bg	γ	2		CL'				2/16 48.20								
					明褐灰	Dg	IVg	cg	γ								80							
						Cg	IIIg									2/19 49.40								
							IVg																	
50						Cg	IVg				深度50.09m：シーム。傾斜55度。幅2～3mm，黒褐色シルト状。深度50.19m：シーム。傾斜43度。幅1～5mm，黒褐色シルト状。													
						Dg																		
					にぶい黄橙	Cg	IIIg	cg									85							
						Cg	IVg																	
	-39.13	53.30				Dg					花崗斑岩，上位との境界不明瞭。深度53.30～65.70m：花崗斑岩。斑晶は径0.3～0.5cmの石英主体で散在程度。石基は径0.1～0.5mm。深度54.69～58.10m：変質帯。上盤40度，下盤47度。珪化変質し，硬質。一部脱色し灰白色を帯びる。													
							IIIg																	
						Cg	IVg	bg	γ	3		CM'				2/20 55.20		76				0.0	泥水5	5
					褐灰		IIIg																	
						Dg	IIg																	
				花崗斑岩			IIIg																	
					にぶい橙	Cg	IVg	cg																
							IIIg																	
							IVg										108							
							IIIg																	
							IVg																	
					灰白	Dg	IIIg				深度59.40～60.14m：変質をうけ，脱色している。	CL'												
					にぶい黄橙	Cg	IVg			2														
						Cg	IIIg																	
							IVg																	
60					灰黄	Cg	IIg	bg			深度62.44～63.36m：珪化変質帯。岩片は硬質。	CM'	[CM]											

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

（標準貫入試験）試験　（N値～深度 0 10 20 30 40 50）

原位置試験（孔内水平載荷）　室内試験

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
				花崗斑岩	明褐灰	Cg	Ⅳg Ⅲg Ⅲg Ⅳg	bg cg bg	γ	2		CM'				2/21 64.00	108					0.0	泥水5	5
	-49.87	65.70			にぶい黄橙 オリーブ褐	Eg Dg	Ⅵg Ⅲg Ⅳg	cg		3	深度64.98m：シーム。傾斜68度，幅1mm，黒褐色粘土状。 深度64.98～65.55m：変質帯。上盤68度，下盤62度。節理密集部，一部礫状。 深度65.04m：シーム。傾斜67度。幅1～1.5mm，暗褐～黄褐色シルト状。 深度65.27m：シーム。傾斜64度。幅1mm，暗褐色シルト状。 アプライト，上位との境界不明瞭。 深度65.70～104.70m:アプライト。厚さ2.0～3.5m程度の花崗斑岩を挟む。 アプライトの石基は0.1mm以下であり，斑晶が非常に少ない。	CL'													
70				アプライト	灰白	Cg	Ⅲg Ⅰg Ⅱg Ⅲg	bg				CM'					104							
						Bg	Ⅱg Ⅲg																	
					褐灰	Cg	Ⅱg Ⅳg Ⅲg				深度70.00～75.00m:変質による溶脱部と珪化部とが0.5～1.0m単位で出現。													
					灰黄褐	Dg	Ⅳg	cg				CL'												
					灰白	Cg	Ⅳg Ⅲg	bg				CM'				2/22 72.00								
						Cg	Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg	cg				CL'												
						Cg	Ⅲg Ⅰg	bg				CM'												
					にぶい褐	Cg	Ⅳg Ⅱg Ⅳg					CL'					111							
					灰黄褐		Ⅰg	cg		2	深度76.30～78.45m：全体に酸化マンガンで汚染され，黒色斑状を呈する。													
							Ⅲg					CM'										0.0	泥水5	0
					にぶい褐	Cg	Ⅳg Ⅰg Ⅳg Ⅲg									2/23 79.40								
80	-62.25	80.00										CL'					95							
				花崗斑岩	にぶい黄橙		Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅲg Ⅰg		γ		深度80.00～82.73m：珪化変質をうけ硬質。 花崗斑岩，上位下位との境界不明瞭。		[CM]			2/24 81.30		76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	35.0	100			
							Ⅲg Ⅰg	bg			深度82.73～87.00m：全体に酸化マンガンで汚染され。黒褐色を帯びる。						98							
	-65.11	83.30			にぶい黄褐	Dg Cg	Ⅳg Ⅰg					CM'												
					暗褐																			
				アプライト	灰白・黒		Ⅳg Ⅰg			3	深度87.00～90.18m：変質帯。下盤46度，酸化マンガン濃集部と白色変質部が斑状模様を示す。					2/26 88.00								
						Dg Cg Dg	Ⅲg Ⅰg Ⅴg				深度89.04～89.21m：変質帯。上盤60度，下盤66度。0.3～1.5cm間隔で節理密集。													
90						Cg	Ⅱg Ⅰg	cg			深度90.18～91.65m:溶脱し岩質脆い。													
					灰黄褐	Dg Cg	Ⅲg Ⅳg Ⅲg			2		CL'					64					0.0	泥水5	3
	-73.21	92.65				Eg	Ⅴg Ⅰg			3	深度92.14～92.18m：破砕帯(Hc)。上盤53度，下盤56度。幅2～15mm，灰白色砂質シルト状。 深度92.18～92.60m：変質帯。上盤56度，下盤80度。節理密集部，粘土を挟む。 花崗斑岩，上位との境界漸移的。 深度93.17～93.24m：幅3～15mm，暗褐灰色シルト混じり砂・礫状。													
				花崗斑岩	明褐灰		Ⅲg Ⅰg Ⅱg	bg				CM'				2/27 94.00					0.0	泥水5	2
						Cg	Ⅳg Ⅱg																	
	-76.19	96.10		アプライト	灰褐		Ⅳg			2	アプライト，上位下位との境界不明瞭。 深度96.55～98.07m：珪化変質帯。	CL'					91				0.0	泥水5	0
	-77.19	97.25		花崗斑岩	にぶい黄褐 にぶい黄褐		Ⅰg	cg				CM'												
						Dg Cg	Ⅳg Ⅱg				深度98.07～99.45m：比較的節理多く，柱状，一部岩片状コア。													

コア採取率 ―△―（%） 最大コア長 ―○― cm RQD ―┐― [%]

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
100	-79.57	100.00		花崗斑岩 アプライト	にぶい黄橙 にぶい橙 にぶい黄橙 灰褐	Cg	Ⅱg Ⅲg Ⅰg Ⅱg Ⅳg	cg bg	γ		深度100.35～103.05m：珪化変質帯。アプライト，上位との境界漸移的，下位との境界傾斜28度。	CM'				2/28 100.40	91							
	-80.87	101.50		花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	Ⅱg Ⅳg	cg			深度101.50～104.60m：全体に褐色を帯び，節理に沿って黒褐色を帯びる。 深度103.10～103.50m：弱い溶脱部。低角度の節理密集し，岩片状。	CL'									0.0	泥水5	0
	-82.65	103.55		アプライト	にぶい橙		Ⅱg Ⅳg				アプライト，上位との境界漸移的，下位との境界傾斜20～30度。						89							
	-83.64	104.70		花崗斑岩	にぶい橙 灰褐 灰白 灰褐	Cg	Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅲg Ⅱg Ⅱg	bg			深度104.70～136.20m：花崗斑岩。径2～5mm程度の石英，長石及び黒雲母の斑晶を5～20%程度含み，石基は径0.1mm以下である。 深度105.45～110.60m：弱い珪化変質を受け，岩片は硬質。 深度107.50～110.60m：新鮮岩。節理少なく柱～長柱状コア。					3/1 108.60								
110					灰黄褐 にぶい褐 灰黄褐 灰褐		Ⅱg Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅳg		2		深度110.68m：シーム。傾斜64度。幅3～5mm，暗褐灰色シルト状。 深度113.72m以深，節理多く短柱～岩片状コア。節理に沿って黒褐色を帯びる。 深度115.00～117.55m：珪化変質を受け硬質。	[CM]					109				0.0	泥水5	3
					灰黄褐		Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅱg Ⅳg	cg bg				CL'				3/2 117.10		76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	35.0	100		
120					灰黄褐		Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg	bg			深度118.88m：シーム。傾斜73度。幅2～4mm，浅黄色砂混じりシルト状。 深度119.90～136.20m:花崗斑岩。斑晶は径3～5mm程度。散在程度で，部分的に密集。基質は径0.1mm以下で流理有り。	CM'					101						
					にぶい黄橙 にぶい黄橙	Eg Dg Cg	Ⅵg Ⅳg Ⅱg	dg cg bg	3		深度122.16～122.18m：破砕帯(Hj)。上盤32度，下盤66度。幅25mm以上，暗灰色砂・礫状。 深度122.18～122.35m：破砕帯(Hj)。上盤66度，下盤41度。礫・砂混じりシルト，シルト混じり礫状。 深度122.35～122.60m：変質帯。上盤41度，下盤68度。幅25mm，砂状部を伴う。	CL'				3/3 124.20							
	-102.31	126.25		アプライト			Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg		γ		深度125.92～129.53m：傾斜30～50度の節理が多く発達。短柱～岩片状コア主体。 アプライト，上位下位との境界不明瞭。	CM'	[CL]								0.0	泥水5	0
	-103.26	127.35		花崗斑岩	灰黄褐	Cg		cg	2			CL'					102							
130					にぶい黄橙 明褐灰 にぶい黄褐		Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅳg	bg cg bg			深度129.53～131.46m：節理少なく，柱～短柱状コア主体。 深度131.46～133.34m：非常に節理が多く，岩片状コア主体。 深度134.47m：傾斜73度の節理面に幅10mm程度の石英脈を挟む。	CM' CL' CM'	[CM]			3/5 130.50	123							

コア採取率 ☆（%） 最大コア長 cm RQD [%]

（標準貫入試験）試験 （N値～深度 0 10 20 30 40 50）

原位置試験（孔内水平載荷） 室内試験

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
	110.92	136.20		花崗斑岩	にぶい黄褐	Cg	Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅰg	bg cg bg	γ	2	深度135.62m：シーム。傾斜52度，幅0.1mm。傾斜63度の節理を見かけ0.2～0.3cm正断層的にずらす。 アプライト，上位との境界傾斜10～20度。 深度136.20～150.50m:アプライト。 石基は径0.1mm以下である。						123							
				アプライト	にぶい褐	Dg Cg	Ⅵg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅲg Ⅳg	cg bg		3	深度137.81m：シーム。傾斜67度。幅0.2～5mm，明灰色シルト状。 深度137.81～138.13m：変質帯。上盤67度，下盤75度。節理密集部，一部砂状。 深度138.13m：シーム。傾斜75度。幅1mm，灰白～褐色シルト状。 深度139.63m：シーム。傾斜74度，幅0.2mmの暗灰色シルト状。傾斜50度の節理を見かけ0.5cm正断層的にずらす。	CM'	[CM]			3/6 40.10		76						
140					明赤灰	Cg	Ⅳg Ⅴg Ⅳg Ⅳg Ⅳg	bg cg bg cg		2	深度141.55～142.29m：節理多く，節理に沿って砂～細礫状をなす。	CL' CM'					113							
					にぶい黄橙	Cg	Ⅳg Ⅲg				深度144.91m：シーム。傾斜77度。幅5～9mm，暗褐色礫混じり砂状。	CL' CM'												
150	123.31	150.50			にぶい黄	Dg Eg	Ⅳg Ⅴg Ⅵg	cg dg	γ	3	深度147.07～150.50m：変質帯，上盤38度，下盤62度，砂，砂礫状。 深度147.43m：シーム。傾斜77度。幅1～3mm，明桃色シルト状。 深度148.30～148.68m：破砕帯(Hj)。上盤80度，下盤45度。シルト混じり礫状。 深度148.73～148.76m：破砕帯(Hc)。上盤65度，下盤90度。桃白色礫混じりシルト状，暗褐色シルト状。 深度149.22m：シーム。傾斜80度。幅5mm，暗褐色シルト状。 花崗斑岩，上位との境界不明瞭。 深度150.50～175.00m：花崗斑岩。 一部に厚さ2.7mのアプライトを挟む。 花崗斑岩は，径2～4mmの石英，長石及び径1mmの黒雲母の斑晶を1～5%程度含み，石基は径0.1mm以下である。所により斑晶は密集する。	CL' D' CL'				3/7 48.00	68	76／セメンティング						
				花崗斑岩	にぶい黄褐 灰褐	Dg Cg Dg Cg Dg Cg

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験) 試験 (N)値	(N値～深度 0 10 20 30 40 50)	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
-144.52		175.00		花崗斑岩	灰白	Cg	Ⅳg Ⅱg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅳg Ⅲg Ⅳg Ⅳg	bg cg bg	β	2		0 50 100 5 (0) 14 (14) 9 (0) 9 (0)	CM'	[CM]						3/14 173.80 3/15 175.00	102 120	76	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	35.0	100	0.0	泥水 5	0

ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNo.	

ボーリング名	No.19	調査位置						北　緯	
発注機関				調査期間				東　経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	+ 14.21 m	角度	180° 上 90° 下0° 20°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 240°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機 / ハンマー落下用具
総掘削長	170.00 m								エンジン / ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
				盛土	灰色 黄褐						深度0.30～3.59m：盛土。礫混じりシルト質砂で植物片を含む。					140／ケーシング	ダブルコアチューブ／メタルビット	30.0	50	0.0	泥水5	0
	10.84	3.59		花崗斑岩	橙	Dg Cg Dg	Ⅲg Ⅴg Ⅳg Ⅴg	cg γ	γ	2	深度3.59～68.15m:花崗斑岩。径10mm程度の石英，長石及び黒雲母の斑晶を1～3%程度含み，石基は径0.1mm程度である。深度3.59～6.00m：柱状・短柱状部分と節理密集部の繰り返し。	CL'			116				0.0	泥水5	5
					にぶい褐	Cg	Ⅳg				深度6.00～6.44m：変質帯。下盤65度，半固結砂～細礫状。			12/4 5.20		115／ケーシング					
					明黄褐	Dg	Ⅵg Ⅳg			3	深度6.62～6.90m：変質帯。上盤50度，下盤15度。やや軟質。								0.0	泥水5	0
					にぶい橙	Cg	Ⅲg Ⅳg			2	深度6.90～9.46m：柱状コアをなすが，変質をうけ，酸化マンガンを斑状に含む。やや軟質で密着性節理多い。	CM'			105						
					明黄褐	Dg	Ⅲg Ⅳg Ⅵg Ⅲg		δ γ	3 2	深度9.46～10.12m：変質帯。下盤25度，半固結砂～細礫状。原岩組織不明瞭。下盤付近に幅15mmの褐色粘土挟む。	CL'										
					にぶい黄褐 明黄褐	Cg Eg	Ⅳg Ⅵg		δ	3	深度11.52～11.96m：変質帯。上盤50度，下盤57度。全体に黄褐色を呈し，礫混じり固結シルト質砂状。節理に灰白色シルトを挟む。原岩組織不明瞭。			12/5 12.00							
					にぶい黄橙 灰褐	Dg Cg	Ⅲg Ⅳg		γ	2	上盤付近に幅5～10mmの灰白色粘土、深度11.68mに幅20mmの灰白色粘土挟む。		[CL]									
					灰黄	Eg	Ⅴg Ⅵg		δ	3 4	深度14.23～17.49m：変質帯。網目状を呈し，細礫～角礫状。深度14.73～14.86m：破砕帯(Hc)。上盤28度，下盤27度。幅130mm，褐色粘土と灰白色粘土の互層状。	D'			90							
					にぶい黄橙	Dg	Ⅴg			3		CL'		12/6 16.20		95／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	35.0	100	0.0	泥水5	5
					灰白 にぶい黄橙	Eg	Ⅵg	dg		4	深度17.49～17.94m：破砕帯(Hb)。上盤35度。砂質シルト状，褐色粘土を礫状に挟む。深度17.94～18.17m：破砕帯(Hc)。下盤39度。灰白色粘土状。深度18.17～18.20m：破砕帯(Hc)。上盤39度，下盤36度。幅23mmの褐色粘土。深度18.20～18.35m：破砕帯(Hc)。上盤36度，下盤58度。黄灰と褐色粘土の互層状。下盤に幅2mmの褐色粘土を挟む。	D'										
					にぶい褐	Dg Cg	Ⅳg	cg	γ	2	深度18.35～19.70m：破砕帯(Hb)。傾斜は26～75度，30～50度程度が主体。全体に黄橙色細礫混じり砂質シルト状。褐色粘土を縞状に挟む。				118							
					にぶい黄橙	Dg Eg	Ⅴg Ⅵg	dg	δ	3 4	深度19.25m:幅2mmの暗灰色粘土，深度19.31m:幅3mmの褐色粘土を挟む。深度19.70～21.46m：変質・破砕弱くなり，原岩明瞭。	CL'										
					にぶい黄橙	Dg Eg	Ⅴg Ⅵg			3 4	深度21.46～23.70m：変質帯。上盤35度，下盤58度。礫混じりシルト質砂状をなす。礫径3～5cm程度の原岩が残る網目状構造をなす。深度22.44～22.46m：破砕帯(Hc)。上盤46度，下盤49度。幅20mmの黄灰・褐色粘土互層状。深度23.70～24.03m：破砕帯(Hb)。上盤58度，下盤32度。やや締まったシルト質砂状。深度24.03～24.67m：変質帯。やや締まったシルト質砂状。深度24.67～25.50m：破砕帯(Hb)。上盤19度，下盤38度。やや締まった黄橙色シルト質砂状。原岩不明瞭。	D'	[D]	12/7 26.40	126						

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

No.19(1/5)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)／測定月日	（N）値	掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（kN・MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
30				花崗斑岩	にぶい褐	Eg	VIg	dg	δ	4	深度25.50～29.26m：破砕帯(Hj)。上盤38度，下盤34度。礫混じりシルト質砂状。網目状に褐色シルトを挟む。													
						Dg	Vg	cg	γ	3														
						Eg	VIg	dg	δ	4	深度29.26～29.50m：破砕帯(Hb)。上盤34度，下盤55度。褐色粘土を挟む灰白色砂質シルト状。 深度29.50～31.30m：破砕帯(Hj)。上盤55度，下盤18度。礫混じりシルト質砂状。深度30.53m，幅5mm褐色粘土状。 深度31.30～31.71m：破砕帯(Hb)。上盤18度，下盤25度。黄橙色砂質シルト状～シルト質砂状。 深度31.71～31.75m：破砕帯(Hc)。上盤25度，下盤20度。幅45mmの灰色と褐色のシルトの互層状。 深度31.75～32.04m：破砕帯(Hb)。上盤20度，下盤16度。砂質シルト状～シルト質砂状。 深度32.32～35.11m：破砕帯(Hb)。上盤29度，下盤59度。にぶい黄色を呈する砂質シルト状。石英粒子が多く残る。 深度32.49m，幅15mmの褐色シルト、深度34.13m幅3～5mmの灰白色シルトを挟む。 深度35.11～35.14m：破砕帯(Hc)。上盤59度，下盤66度。幅15～18mmの褐色粘土状。 深度35.14～35.33m：変質帯。傾斜50～66度。浅黄色と黒褐色を帯びた半固結シルト状。 深度35.33～36.25m：変質帯。上盤50度，下盤40度。原岩を礫状に残し，網目状に褐色・灰白色シルト～粘土を挟む。 深度36.25～38.85m：変質帯。上盤40度，下盤53度。角礫～細礫状，シームを挟む。 深度37.72m：シーム。傾斜50度，幅1mmの褐色粘土状。 深度38.06m：シーム。傾斜55度。幅2mmの褐色粘土状。 深度38.85m：シーム。傾斜53度。幅0.5mmの灰白色粘土状。 深度38.85～40.62m：黄褐色を呈する変質の弱い花崗斑岩。含礫固結砂状を呈する。 深度41.53～43.49m：細礫～角礫状コア。一部変質を受け砂状をなし，節理に沿って黒褐色化が進む。	D'	[D]			12／8 35.40	126	95／ケーシング	ダブルコアチューブ／ダイヤビット	35.0					
					にぶい黄橙																			
					にぶい黄																			
					浅黄																			
					にぶい黄	Dg	Vg			3										30.0				
40					黄褐												117			40.0		0.0	泥水5	5
					灰黄褐	Cg	IVg																	
						Dg	Vg																	
						Cg										12／11 42.80		76						
	-26.66	43.49				Dg																		
				アプライト	にぶい黄橙	Cg	IVg				アプライト，上位との境界不明瞭。節理の発達したアプライト。角礫～細礫状。全体に褐色化し，一部黄橙色を呈する。 深度43.60～43.75m：ペグマタイトを挟む。 深度45.00～45.55m：高角度な節理あり。白色鉱物を挟む。 深度45.55～47.31m：全体に弱く変質をうけ，やや軟質化。 深度46.50～47.00m：高角度な節理あり。節理に沿って幅10～15mm変質する。													
						Dg	Vg										90				100			
						Cg	IVg				深度47.31～48.53m：短柱～角礫状を呈し，節理に沿って褐色化著しく，一部砂～細礫状をなす。													
	-31.39	48.53		花崗斑岩							花崗斑岩，上位との境界不明瞭，下位との境界傾斜77度。													
	-32.46	49.67		アプライト	にぶい橙			cg	γ	2	深度49.67～53.70m：角礫状をなし，節理に沿って白色鉱物を挟む。	CL'	[CL]			12／13 50.15		76／セメンティング		35.0				
50							Vg																	
							IVg				深度53.70～55.77m：黒褐色化し，やや変質を受けている。						103							
					にぶい黄橙		Vg				深度54.52～55.77m：高角度な節理多く，一部細礫状をなす。													
					にぶい褐		IVg				深度55.49～55.56m：破砕帯(Hc)。上盤75度，下盤79度。幅15mmの緑灰～灰白色シルト状。 深度55.77～56.56m：短柱状コアをなす。											0.0	泥水5	0
					にぶい黄橙	Dg	Vg				深度56.56～61.65m：細礫～角礫状コア。節理に沿って砂～土砂状部を挟む。					12／14 57.20								
																	107							
																12／15 58.80		76						
60						Cg					深度59.25～59.50m：土砂状コア，基質に細砂～シルトを挟む。						110							
					灰黄褐		IVg									12／16 61.00						0.0	泥水5	5
	-43.50	61.41		花崗斑岩	明褐						花崗斑岩，上位との境界傾斜30度。 深度61.41～68.15m:花崗斑岩。 径2～10mmの石英及び径1～3mmの長石，黒雲母の斑晶を1～3%程度含み，石基は径0.1mm程度。						104							
					褐灰			bg			深度61.65～63.50m：短柱状。節理に沿って褐色，黒褐色化進む。	CM'												

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　R Q D [%]

（標準貫入試験）試験　（N値～深度）　原位置試験（孔内水平載荷）　室内試験